

官報

號外

昭和八年一月二十六日

○第六十四回 衆議院議事速記録第六號

昭和八年一月二十五日(水曜日)

午後一時十九分開議

議事日程 第五號

昭和八年一月二十五日

午後一時開議

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑

(前會ノ續)

第一 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新
營費ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第二 昭和八年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一讀會

(政府提出)

第三 大阪帝國大學工學部設置ニ付帝
國大學特別會計及官立大學特別會計

ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第四 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉

第五 鐵道敷設法中改正法律案(政府
提出)

第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉

○議長(秋田清君) 諸君、諸般ノ報告ヲ致
サセマス

(書記官朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

陸海派遣軍ニ對スル感謝決議案

提出者

久原房之助君 青木 精一君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

田邊 七六君 熊谷 巖君

坂本 一角君

(以上一月二十四日提出)

一昨二十四日齋藤內閣總理大臣ヨリ左ノ通
發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大藏書記官 荒川 昌二

第六十四回帝國議會大藏省所管事務政府
委員被仰付

商工省工務局長 竹内 可吉

商工省鑛山局長 福田 庸雄

商工省貿易局長 寺尾 進

第六十四回帝國議會商工省所管事務政府
委員被仰付

一昨二十四日衆議院規則第十五條但書ニ依
リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

八 福田關次郎君

一五 內藤 正剛君

二二 佐藤 與一君

三九 愛知縣第一區
選出議員

四〇 廣瀬 德藏君

四三 竹田 儀一君

二二九 三尾 邦三君

二九七 清瀬規矩雄君

一昨二十四日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル
常任委員左ノ如シ

第九部選出豫算委員 中村 繼男君

第九部選出豫算委員 岸 衛君

第七部選出請願委員 田中祐四郎君

一昨二十四日第二部選出決算委員橫山一格
君死去セラレタリ

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、
只今久原房之助君、依孫一君、中野正剛
君、安部磯雄君外五十一名ヨリ各派所屬議
員ノ贊成ヲ以テ、陸海派遣軍ニ對スル感謝
決議案及國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感
謝決議案ヲ提出セラレマシタ、此際議事日
程ヲ變更シテ逐次兩案ヲ議題ト爲スニ御異
議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

提出者

中村 嘉壽君 竹澤 太一君

提出者

林 平馬君 岡田喜久治君

提出者

林 平馬君

提出者

林 平馬君

提出者

林 平馬君

提出者

林 平馬君

提出者

林 平馬君

提出者

林 平馬君

提出者

昭和八年一月二十六日
第三種郵便物認可

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、政府ハ此日程變更ニ同意セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、先ツ陸海派遣軍ニ對スル感謝決議案ヲ議題ト致シマス

陸海派遣軍ニ對スル感謝決議案(久原房之助君外五十四名提出)

陸海派遣軍ニ對スル感謝決議

衆議院ハ我ガ陸海軍派遣將兵カ久シキニ互リ滿洲ノ治安維持及在支居留民ノ保護ニ任シ刻苦精勵克ク其ノ職務ニ盡瘁スルノ努力ヲ多シ茲ニ院議ヲ以テ重ネテ感謝ノ意ヲ表ス

○議長(秋田清君) 茲ニ決議案ヲ朗讀致シマス

陸海派遣軍ニ對スル感謝決議

衆議院ハ我ガ陸海軍派遣將兵カ久シキニ互リ滿洲ノ治安維持及在支居留民ノ保護ニ任シ刻苦精勵克ク其ノ職務ニ盡瘁スルノ努力ヲ多シ茲ニ院議ヲ以テ重ネテ感謝ノ意ヲ表ス

右決議ス

(拍手起ル)

本決議案ハ昨年ノ臨時議會即チ第六十一回並ニ第六十三回議會ニ於テ、全會一致ヲ以テ可決セラレタルモノト、全然同一趣旨デアリマシテ、正ニ國民ノ總意ヲ體シ之ヲ表現スルモノデアリマスカラ、特ニ趣旨辯明ヲ要セザルモノト存ジマス、隨テ其通告モアリマセヌ、茲ニ直チニ採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(議員起立)

○議長(秋田清君) 起立議員、本案ハ全會一致ヲ以テ可決セラレマシタ

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 次ニ國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝決議案、之ヲ議題ト致シマス

國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝決議

案(久原房之助君外五十四名提出)

國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝決議案

衆議院ハ國際聯盟會議ニ於ケル帝國代表ノ努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表シ併セテ東洋永遠ノ平和ヲ確立スル爲帝國ノ既定方針ヲ貫徹セラレムコトヲ望ム

右決議ス

○議長(秋田清君) 茲ニ決議案ヲ朗讀致シマス

國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝決議案

衆議院ハ國際聯盟會議ニ於ケル帝國代表ノ努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表シ併セテ東洋永遠ノ平和ヲ確立スル爲帝國ノ既定方針ヲ貫徹セラレムコトヲ望ム

右決議ス

(拍手起ル)

本案ニ付テ一言致シマス、國際聯盟會議ニ於テ帝國全權ガ非常ナル努力ヲ拂ハレツ、アリマスルコトハ、中外ノ齊シク認ムル所デアリマス、此際之ニ對シ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ、帝國ノ主張貫徹ニ向テ更ニ邁進ヲ望ムベク激勵致シマスルコトハ、寔ニ必要ノ時務ト存ジマス

抑、滿洲問題ニ對スル帝國ノ主張ハ、東洋永遠ノ平和ヲ確立スル爲メ、萬已ムラ得ザルモノデアリマスニ拘ラズ、帝國ノ誠意ガ未ダ以テ十分列國ノ間ニ諒解セラル、ニ至ラザルコトハ、誠ニ遺憾ニ堪ヘザル所デアリマス、隨テ我ガ全權ノ苦心努力ノ容易ナラザルコトハ申ス迄モアリマセヌ、之ニ對シ我ガ國民ハ舉テ感謝措ク能ハザルモノデアリマス、尙ホ聯盟會議ニ於ケル帝國ノ主張ハ、曩ニ本院ガ全會一致ヲ以テ滿洲國承認ヲ決議シタルト同様ノ精神ニ於テ、全國民ノ熱烈ナル要求ニ基クモノデアリマシテ、所謂國民ノ總意茲ニ存スルモノデアリマス(拍手)故ニ此意味ヲ明ニ致シマシテ、我ガ全權ガ帝國ノ既定方針ヲ貫徹ス

ベク、一層努力奮闘セラレンコトヲ希望シテ已マザルモノデアリマス(拍手)是ヨリ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(議員起立)

○議長(秋田清君) 起立議員、本案ハ全會一致ヲ以テ可決セラレマシタ

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 此際陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、順次之ヲ許シマス——荒木陸軍大臣

(國務大臣荒木貞夫君登壇)

○國務大臣(荒木貞夫君) 只今ハ重ネテ院議ヲ以テマシテ、在滿並ニ在支出動ノ將兵ニ對シテ、極メテ懇切ニシテ熱意ノアル御慰問ト、激勵ノ辭ヲ戴キマシテ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、陸軍職ニ出動ノ將兵ニ代リマシテ、茲ニ深甚ナル謝意ヲ致シマス(拍手)

昨年滿洲國承認セラレマシテ、日滿兩國ノ國交ガ新ニ樹テラレマシタ以來、在滿ノ將兵ハ此精神ヲ體シマシテ、極東ノ平和ヲ確立、殊ニ滿洲ノ治安促進ニ對シマシテ、寡兵ヲ以テ飢寒ニ耐ヘ、今日其任務ニ專念ヲ致シテ居リマス、北滿方面ハ幸ニ致シマシテ、茲ニ略、其平定ヲ見マシテ、熱河ヲ除クノ外、各方面共ニ只今集團兵匪ヲ悉ク平定ヲ致シマシタルコトヲ、茲ニ御報告ヲ申上ゲマス、又在支方面ノ各將兵ハ、ソレノ任務ニ從ヒマシテ、各奉公ニ專念ヲ致シテ居リマス、只今戴キマシタ決議ハ、漏レナク各方面ノ出動部隊並ニ一般ニ傳達ヲ致シマシテ、茲ニ我ガ國民總意ノアル御後援ノ下ニ、舉國一致ノ意思ヲ十分ニ表明ヲ致シマシテ、以テ今後益々奮勵努力、上陸下ニ對シ奉ル御奉公ニ遺算ナク、尙ホ一般國民ノ御期待ニ副フヤウニ努力奮勵ヲ致サセマス、茲ニ謹ンデ御禮ヲ申上ゲマス(拍手)

○議長(秋田清君) 大角海軍大臣

(國務大臣大角岑生君登壇)

○國務大臣(大角岑生君) 衆議院ハ只今滿場一致、院議ヲ以テ、重ネテ滿洲並ニ在支各方面ノ警備任務ニ任ジテ居リマスル海軍將兵一同ニ對シ、御鄭重ナル御慰問ノ御言葉ヲ賜ハリマシテ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、速ニ是ガ傳達ノ手續ヲ致シマス、茲ニ帝國海軍ヲ代表シ、謹ンデ感謝ノ誠意ヲ表シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 内田外務大臣

(國務大臣伯爵内田康哉君登壇)

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 國際聯盟會議ニ於ケル我ガ代表ニ對シマシテ、只今本院ニ於テ滿場一致ヲ以テ洵ニ鄭重ナル院議ヲ可決セラレマシタルコトハ、政府ニ於キマシテモ實ニ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、右ノ趣キハ直チニ電報ヲ以テ我ガ代表ニ傳達致シマスデゴザリマス、御承知ノ如ク聯盟會議モ只今最モ重要ナル時機ニ際會シテ居リマス折柄デモゴザリマスルカラ、我ガ代表ハ此院議ニ接シテ必ズ感激措ク能ハザルモノガアリマスト存ジマス(拍手)必ズヤ十分ノ努力ヲ盡シテ、諸君ノ御期待ニ背カヌヤウニ努メルデアアラウト信ジマス、以テ益、我ガ帝國方針ノ貫徹ニ邁進スルコトヲ私ハ信ジテ疑ヒマセヌ、茲ニ謹ンデ御禮ヲ、御挨拶ヲ申上ゲマス(拍手)

○議長(秋田清君) 是ヨリ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ繼續致シマス、通告順ニ依テ發言ヲ許シマス——木暮武太夫君

國務大臣ノ演說ニ對スル質疑(前會ノ續)

(木暮武太夫君登壇)

○木暮武太夫君 我ガ財界ノ狀況ヲ概觀致シマスルノニ、昨年末カラ本年ノ初メニ掛ケマシテハ、貿易關係及一部ノ特殊ノ工業デハアリマスルガ、格段ノ活躍ヲ見セテ、金解禁以來長イ間暗澹、陰慘ナル場裡ニア、タ所ノ一般經濟界ニ對シマシテ、回復ノ曙光ヲ認メシメテ、而シテ何トカ將來ハナルノデハナカラウカト云フヤウナ氣分デ越年

セシメマシタコトハ、金再禁止以來高橋大蔵大臣ノ御苦心ノ賜ナリトシテ、國民ノ一人トシテ感謝ノ言葉ヲ申上ゲル者デゴザイマス(拍手)併ナガラ昨年未カラ本年ニ掛ケマシテノ經濟界ガ、一部ニ於テ活躍ヲ呈シタト云フコトハ、全ク一部ニ止マルノデアリマス、經濟界全般ノ活躍、延テハ我が國民生活ノ安定ト云フモノハ、蓋シ今後ニ全部俟タナレバナラヌモノデアルト、私共ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)中小商工業者ノ大部分ノ狀態、我ガ國民ノ半バ以上ヲ占ムル所ノ農村ノ狀態ヲ振返ラテ見ルナラバ、全クマダ疲弊困憊ノ底ニ呻吟致シテ居、テ、吾々ガ絶叫シテ非常時議會ヲ玆ニ開キマシタ所ノ、根本ノ理由デアアル非常時經濟苦惱ノ狀態ト云フモノハ、全ク解消セラレズシテ今後ニ殘テ居ルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)即チ私ガ玆ニ重ネテ後進ノ一人トシテ、高橋大蔵大臣ノ御高教ヲ仰ギタイトシテ、經濟問題ニ付テ些カ質問ヲ試ミタイト思ヒマス理由ハ、玆ニ外ナラナイノデアリマス

私ハ主トシテ先頃日本銀行ガ行ヒマシタ所謂通貨調節、近頃ノ言葉デ謂フ「オーブ・マーケット・オペレーション」トカ言、テ居リマスルガ、此通貨調節ト云フコトハ非常時議會以來舉國一致ノ支援ノ下ニ、我國ニ行ハレテ居リマスル所ノ非常時經濟匡救ノ根本精神ト相副ハザルモノアリヤト云フ疑ノノ下ニ御伺ヲ致シタイトデアリマス(拍手)過日大蔵大臣ハ大口君ノ質問ニ御答ニナリマシタ中ニモ、日本銀行ガ手持有價證券ノ賣却、或ハ買入ヲ爲シタリ、利子歩合ノ上下ニ依、テ通貨ノ調節ヲシテ、一國金融市場ノ統制ヲ圖ルト云フコトハ、中央銀行トシテ當然爲スベキ所ノ重要ナル職能ノ一ツデアルト云フコトヲ仰セラレタ、御尤デアリマス、是ハ金融論ノ一節ヲモ讀シタ者ハ何人モ承認スル所ノ原則論デアリマス、併シ問題ハ時ト程度ニ依、テ玆ニ議論ガ

生ズルモノ、ヤウニ私共ハ信ズルノデアリマス、(拍手)日本銀行ガ今回三億圓ニ近イ二億六七千万圓ノ手持有價證券ヲ處分致シマシテ、通貨ノ收縮ヲ致シマシタ主ナル理由トシテ世間ニモ傳ヘラレ、日本銀行當局ノ發表スル所ニ依リマス、所謂「インフレーション」ノ弊害、物價暴騰ニ依ル國民大衆ノ生活ヲ脅威スルト云フコトヲ防グ、或ハ爲替ノ低落ヲ防グ、或ハ又異常ニ膨脹シ過ギハセヌカト思ハレル兌換券ノ收縮ヲ目的トスルカ云フヤウナコトガ擧ゲラレテ居ルノデアリマス

私ハ先ツ物價ガ果シテ日本銀行ノ出動ヲ必要トスル程度ニ騰テ居ルモノデアリマスカ、ドウカト云フコトヲ數字ヲ以テ檢討シテ見タイト思フノデアリマス、日本銀行自ラノ調査ニ依ル東京卸賣物價ノ指數ヲ見マシテモ、金再禁止以前、昭和六年十一月ト昨年ノ十二月ト比較シテ見マスト、僅ニ卸賣物價ニ於キマシテ二割五分ノ上昇デアリマス、卸賣物價ハ二割五分ノ上昇ヲ致シマシタケレドモガ、國民大衆ノ生活ニ直接ニ影響ヲ及ボスベキモノト考ヘラレル所ノ小賣物價ハ然ラバドウデアアルカト云フナラバ、同ジク日本銀行ガ調査シタモノニ依、テ見ルト、昭和六年十一月ト昨年ノ十二月ト比較致シマスト、此騰リ方ハ少イノデアリマス、即チ昭和六年十一月ニ一三〇、二デアタモノガ、昭和七年十二月ニハ一四六、即チ一割二分強ノ昂進ニシカ過ギナイノデアリマス、其中デモ燃料トカ、燈火トカ云フヤウナ生活ニ缺クベカラザル所ノモノハ、金再禁止前ニハ一七五デアタモノガ、昨年ノ十二月ニハ一七〇ト云フ風ニ、寧ろ五點ノ小賣物價ニ於テ減少ヲ示シテ居ルト云フコトガ統計ニ明ニ分テ居ルノデアリマス、而モ一番大衆生活ニ影響ヲ及ボス食料品ノ總テヲ調べテ見マスト、其中デ十八品、例ヘバ外國米ノ如キ、或ハ鹽ノ如キ、或ハ豚デアルトカ、牛肉デアルトカ、

鶏デアルトカ云フヤウナ肉類、或ハ鶏卵デアルトカ云フヤウナモノハ騰ラナイカ、或ハ寧ろ低落致シタモノガ、十八品ノ多キニ今日及ンデ居ルノデアリマス、而モ統計ニ依、テ國內商品ト貿易品ノ騰リ方ヲ、一昨年ノ十一月ト昨年ノ十一月ト調べテ見マスト、國內商品ハ一昨年ノ十一月ニ比シテ、昨年ノ十一月ハ少シモ騰ッテ居リマセヌ、貿易品ニ於テ三割ノ騰リヲ見セテ居リマス、或ハ又原料ト申シマセウカ、生産材ト申シマセウカ、是デモ金再禁止前ト昨年ノ十一月ヲ較ベテ見マスト、消費材ノ方ハ二割一分ノ騰リニ過ギナイ、原料並ニ生産材ノ方ハ四割六分ノ騰リニナッテ居リマス、是等ノ細カイ物價ニ現ハレタル所ノ數字ヲ考ヘテ參リマスト、一部ノ「インフレーション」ノ弊害ノミヲ誇大強調スル所ノ人達ガ言フ如ク、大衆ノ生活ヲ脅威壓迫スル程度ニ、昨年暮ニ於テハ我ガ物價ノ上昇ハ甚シクナカッタモノデアルト云フコトハ、數字ガ明ニ説明致シテ居ルノデアリマス(拍手)而モ農村カラ都會ニ供給スル所ノ品物ヲ、十種類バカリ物價指數ニ依、テ取上ゲテ見、又都會カラ農村ノ方ニ供給スル所ノ品物ヲ十種類バカリ取上ゲテ見マシテ、是亦金再禁止前、即チ一昨年ノ十一月ト昨年ノ十一月ト間ノ騰リ方ヲ調べテ見マスト、農村カラ都會ノ方ニ供給スル品物ハ一割八分ノ騰リニ過ギナイニ、農村ガ購入スル方ノ品物ハ三割ノ騰リデアルト云フ玆ニ開キヲ見セテ居リマシテ、決シテ昨年ノ暮ニ於ケル所ノ經濟界ハ、或ル人達ガ言フ通り「インフレーション」景氣ト云フモノヲ滿喫スルヤウナ狀態デハ斷ジテナカッタ、即チ所謂爲替景氣ガ出タ程度デアッテ、決シテ通貨膨脹ニ因ル所ノ物價ノ騰貴ニ依ル恩惠ト云フモノガ生産者ニ及バナイト云フコトハ、統計ニ依、テ私ハ事實デアルト思フノデアリマス(拍手)

次ニ兌換券ノ狀態ハドウデアッタカト云フコトヲ調べテ見マスト、御承知ノ通りニ昨年ノ年末三十日ニ於キマシテ、十四億八千七百萬圓ト云フ巨額ガ出タヤウニアリマス(拍手)十五億ニハ達シナイノデアリマス、高橋大蔵大臣ノ御英斷ニ依、テ、我ガ兌換銀行券條例ヲ改正致シマシタ所ノ結果ト致シマシテ、所謂限外發行ト云フモノガ出マシタノハ、昨年カラ本年ニ掛ケマシテ、即チ昨年ノ十二月二十八日カラ本年ノ一月三日迄ニ掛ケテ僅ニ一週間、其間正月ノ休ミガ三日アルカラ、事實ノ上ニ於テ日本銀行券ガ兌換券條例ノ所謂限外發行ヲ見タト云フノハ、僅ニ四日ニシカ過ギナイ、決シテ通貨ガ膨脹シ過ギタト云フ風ニハ私共ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、其後ノ經過ハ御覽ノ通りニ、十一億圓臺デ以テ終始致シテ居リマス、十一億圓臺ト云フ兌換券ノ數量ハ抑、何デアリマスカ、金再禁止以前ノ昭和六年ノ十一月ノ平均高ガ、日本銀行兌換券ハ僅ニ十一億デアッタ、金再禁止前ノ一昨年ノ十一月ノ平均ガ十一億圓臺デアッタモノガ物價ガ幾分カ騰貴致シタト云フコトヲ一般ニ認メラレテ居ル今日、同ジヤウナ十一億圓臺ノ通貨ヲ以チマシテ、大蔵大臣ノ常ニ仰セラル、所ノ産業ニ必要ナル、正常ナル取引ニ必要ナル兌換券ノ數デアラウトハ、私共ハ考ヘラレナイノデアリマス(拍手)物價ガソレダケ騰ッテ居レバ、兌換券ニ於キマシテモ、一割ナリ二割ナリノ之ニ追隨シタ所ノ増加ガナケレバ、産業ニ追隨スル所ノ正常ノ取引ニ必要ナル兌換券ノ數トハ、私共ハ申上ゲラレナイト思フノデアリマス(拍手)能ク昨年ノ暮カラ本年ニ掛ケテノ株式ノ上昇ヲ以テ、金ガ餘ッタカラ之ヲ思惑ニ使ヒ、投機ニ使ッタト云フヤウナ非難ガ盛ニ唱ヘラレテ居リマス、併ナガラ株式ノ上昇ニ依、テ、一部ノ人ガ利益ヲ得テ之ヲ散逸スルト云フ所ノ弊害ガアルト共ニ、株式ノ昨年ノ五十億圓ノ値上リト

(議長退席、副議長著席)

次ニ兌換券ノ狀態ハドウデアッタカト云フコトヲ調べテ見マスト、御承知ノ通りニ昨年ノ年末三十日ニ於キマシテ、十四億八千七百萬圓ト云フ巨額ガ出タヤウニアリマス(拍手)十五億ニハ達シナイノデアリマス、高橋大蔵大臣ノ御英斷ニ依、テ、我ガ兌換銀行券條例ヲ改正致シマシタ所ノ結果ト致シマシテ、所謂限外發行ト云フモノガ出マシタノハ、昨年カラ本年ニ掛ケマシテ、即チ昨年ノ十二月二十八日カラ本年ノ一月三日迄ニ掛ケテ僅ニ一週間、其間正月ノ休ミガ三日アルカラ、事實ノ上ニ於テ日本銀行券ガ兌換券條例ノ所謂限外發行ヲ見タト云フノハ、僅ニ四日ニシカ過ギナイ、決シテ通貨ガ膨脹シ過ギタト云フ風ニハ私共ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、其後ノ經過ハ御覽ノ通りニ、十一億圓臺デ以テ終始致シテ居リマス、十一億圓臺ト云フ兌換券ノ數量ハ抑、何デアリマスカ、金再禁止以前ノ昭和六年ノ十一月ノ平均高ガ、日本銀行兌換券ハ僅ニ十一億デアッタ、金再禁止前ノ一昨年ノ十一月ノ平均ガ十一億圓臺デアッタモノガ物價ガ幾分カ騰貴致シタト云フコトヲ一般ニ認メラレテ居ル今日、同ジヤウナ十一億圓臺ノ通貨ヲ以チマシテ、大蔵大臣ノ常ニ仰セラル、所ノ産業ニ必要ナル、正常ナル取引ニ必要ナル兌換券ノ數デアラウトハ、私共ハ考ヘラレナイノデアリマス(拍手)物價ガソレダケ騰ッテ居レバ、兌換券ニ於キマシテモ、一割ナリ二割ナリノ之ニ追隨シタ所ノ増加ガナケレバ、産業ニ追隨スル所ノ正常ノ取引ニ必要ナル兌換券ノ數トハ、私共ハ申上ゲラレナイト思フノデアリマス(拍手)能ク昨年ノ暮カラ本年ニ掛ケテノ株式ノ上昇ヲ以テ、金ガ餘ッタカラ之ヲ思惑ニ使ヒ、投機ニ使ッタト云フヤウナ非難ガ盛ニ唱ヘラレテ居リマス、併ナガラ株式ノ上昇ニ依、テ、一部ノ人ガ利益ヲ得テ之ヲ散逸スルト云フ所ノ弊害ガアルト共ニ、株式ノ昨年ノ五十億圓ノ値上リト

云フモノガ、多年ノ痛デアツタ所ノ日本ノ睡眠銀行、或ハ開店休業銀行ヲシテ再ビ生カシメタト云フ所ノ利益モ、私共ハ忘レテハナルマイト思フ(拍手)、若シ彼ノ株式ノ上昇ガナカッタラバ、恐クハ昨年ノ春以來引續イタ所ノ金融界ノ梗塞ト云フモノガ、年末ニ於テハ更ニ甚シキモノガアツタノデハナカラウカト云フコトヲ、私共ハ竊ニ今日考ヘテ居ルノデアリマス

斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マスルト、今私が申上ゲマシタヤウナ物價ノ僅カナ上リ工合ニ依ツテ、直チニ日本銀行ガ出動シテハ三億圓ニ近キ所ノ通貨ヲ縮少スルト云フヤウナコトハ、是ハ所謂兌換券ヲ産業ノ必要ノ程度ニ保タセナケレバナラヌト云フヤウナ意味カラ申シテモ、其時ト程度ヲ得タモノデアルカドウカト云フコトニ付テ、私ハ多大ノ疑ナキヲ得ナイノデアリマス(拍手)此點ヲ一ツ十分ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ私が茲ニ事更メテ申上ゲル迄モナク、今ヤ「デフレ」シヨシ「非ラ」悟タ所ノ世界何レノ國ニ於キマシテモ、自分ノ國ノ産業ヲ發達サセル爲ニハ、程度ノ差コソアレ、總テ膨脹政策ニ依ツテ其解決ノ途ヲ求メヤウト致シテ居ルノデアリマス、我帝國ニ於キマシテモ、金解禁デアルトカ、緊縮デアルトカ、消費節約デアルトカ、金利ヲ高クスルトカ、或ハ物價ヲ低メルト云フヤウナ「デフレ」シヨシ「非ラ」悟タ所ノ政治ニ依リマシテハ、世界不況ニ直面致シテ居ル日本經濟ノ建設ニ對シテハ全然其力ナキモノト云フコトハ、恐クハ朝野一致シタ所ノ意見デアラウト私ハ考ヘテ居ル(ヒヤ)「拍手」即チ感情ニ因ハレタ所ノ少數ノ人、頑冥固陋ナル一派ハマダ「デフレ」シヨシ「非ラ」悟タ所ノ夢ヲ見テ居リマスケレドモ、大部分ノ人ト云フモノハ、モウ虛心坦懷ニ考ヘレバ「デフレ」シヨシ「非ラ」悟タモノデアルト思フノデアリマス、即チ語ヲ換ヘテ申シマスルナラ

バ、關稅ヲ高メル、金再禁止ヲスル、爲替ヲ低落セシメル、通貨ヲ膨脹シテ圓滿ニ流通セシメル、由テ以テ不當ニ下ゲラレタ所ノ、人ノ勤勞ノ結晶デアル所ノ物ノ値段ト云フモノヲ採算點ニ維持致シマシテ、産業ノ前途ニ光明ト希望ヲ與ヘテ、失業者ヲ就業セシメル、或ハ又國內ノ産業ヲ盛ニセシメル、或ハ數年來續イタ所ノ貨幣價值ノ上昇ノ爲ニ、混亂其極度ニ達シタ所ノ債權債務ノ關係ヲ茲ニ再調整セシメルト云フヤウナ事ガ、是ガ非常時議會以來ノ非常時經濟巨救ノ根本政策デアラウト私ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)今ヤ我國ニ於テ、此言葉ガ惡イカ知レマセヌケレドモ、高物價政策、膨脹政策ト云フコトニ依ツテ、採算點ヲ維持スルヤウニ物價ヲ或ル程度高メテ、産業界ノ前途ニ光明ヲ與ヘヨウト云フ、此大方針ニ基キマシテ、著々現内閣ガ、高橋大藏大臣ノ御指導ノ下ニ仕事ヲ始メマシテ、漸ク昨年ノ暮カラ芽ガ出掛タト云フヤウナ狀態ニナツテ居タノデアリマス、此時ニ方々テ官民共ニ努ムベキコトハ、此漸ク出タ所ノ芽ヲ育成スルト云フコトニ力メナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ル(拍手)然ルニ卒然トシテ、僅カナ物價ノ値上リニ驚キ、僅カナ通貨ノ増發ニ驚イテ、二億六七千万圓ノ手持價證券ト云フモノヲ賣拂フテ、市中ノ遊資ヲ吸收致シマスルト云フヤウナコトハ、議會開會劈頭ニ於キマシテ高橋大藏大臣ノ御演說ノ中ニ、此際ハ増稅ヲスベキデナイト云フ立派ナ御意見ノ中ニエツタ御言葉ヲ藉リテ申シマスナラバ、經濟界ガ回復ノ緒ニ就イタ時ニ斯ノ如キ事ヲスルコトハ、全ク萌芽ヲ剪除スルノ愚ニ等シト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス(ヒヤ)「拍手」今日世間デハ、ドウシテモ通貨ヲ膨脹シテ、サウシテ貨幣價值ヲ低落サシテ、或ル程度ノ物價ノ維持ヲ圖ルコトニ依ツテ、日本ノ經濟界ノ更生ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコ

トノ理窟モ、事實モ能ク御分リニナツテ居リナガラ、唯感情ニ因ハレテ失敗シタ所ノ過去ノ通貨收縮ノ夢ヲ見テ居ルヤウナ人ガアル、日本銀行ノ幹部ノ人達ガサウデナケレバ幸デアルト私ハ思フノデアリマス、井上財政ノ補佐役トシテ、井上サンノ計畫シタ以上ニ其缺點ヲ増長セシメタト云フヤウナ、非難サレ被ツテ居ル所ノ日本銀行ノ幹部ノ人達デモ、一タビ今ノ内閣ノ下ニ於テ高橋大藏大臣ノ下ニ於キマシテハ、志ヲ改メテ吳レテ、此芽ヲ育成スル態度ニ出ルコトガ、私ハ國家ニ忠ナル所以デアルヤウニ考ヘルノデアリマス(拍手)今日大局カラ觀察致シマスナラバ、一番ノ問題デアル所ノ、日本ノ財界ヲ混亂シテ居ル所ノ債權債務ノ關係ト申シマセウカ、債務關係ノ不均衡其他ノ不均衡ヲ改メ、訂正スルト云フコトノ爲ニハ、昭和三年度程度ノ物價ヲ維持スルコトガ、蓋シ必要デアラウト云フノガ大體論デアラウト私ハ考ヘル(拍手)然ルニ偶、物價ガ昭和五年ノ上半期ニ達シタノミデ、直チニ日本銀行ガ出動シテ、サウシテ漸ク芽生ヘ掛ケタ所ノ木ノ芽ヲ摘ムヤウナ態度ト云フモノハ、私共カラ見レバ實ニ不可解千萬デアル(拍手)此所謂經濟難打開ノ方針ト云フモノハ、臨時議會以來我黨ガ彙ニ提案シテ、皆様方一般ノ御賛成ヲ得マシテ、議會ノ決議トナツテ、サウシテ茲ニ議會ガ開カレテ、サウシテ非常時經濟巨救ノ最高政策ト云フモノガ行ハレテ居リマスノニ、只今申上ゲマシタヤウナヤリ方ハ、非常時經濟巨救ノ根本精神ト違フコトガ甚シイデハナイカト云フヤウナ感ジテ私ハ懷タノデアリマス、此點ヲ一ツ率直ニ御高教ヲ賜ハランコトヲ御願致スノデアリマス

次ニ同ジク此問題ニ付テ御願ヲ致シマスコトハ、日本銀行ガ此間ノ通貨調節ヲアリマシタ爲ニ、所謂市中銀行ニ融通サレタ機運デアリタ預金利下防シタト云フヤウナ點ニ付テ御伺ヲ致シタイノデアリマス、銀行預金ノ利下ト云フコトハ、略、確定シテ、唯其時期ダケガ違サレテ居タト云フヤウナ狀態デ、昨年ノ暮ヲ越年シタノデアリマス、然ルニ日本銀行ノ出動ニ依リマシテ、昨年ノ暮、日本銀行ニ於ケル一般預金ガ二億六千万ノ多キニ及ンデ居タモノガ、忽チ此遊資ト云フモノガ雲散霧消シテシマツテ、今年ノ正月十四日ニハ七千五百萬圓臺ニ落チテシマツタ、二億六千万圓遊シテ居タ金ガ、日本銀行ノ通貨調節ニ依ツテ、今年ノ正月十四日ニハ七千五百萬圓ニナツテシマツタ、一大激減ト云フモノガ、市中銀行ヲシテ色色ノ口實ヲ茲ニ作ラセテ、結局ニ於テ既ニ決定シテ居タ所ノ、預金ノ利下ト云フモノヲ阻止シタコトニナル、春秋ノ筆法ヲ以テ致シマスナラバ、預金利下ノ機運ガアツタモノヲ、之ヲ一掃シテシマツタモノハ日本銀行ノ通貨調節デアルト申上ゲテモ私ハ差支ナイト思フ(拍手)兌換銀行券條例改正及郵便貯金ノ利下ゲト云フヤウナコトヲ御勇斷ナサツテ、常ニ議會ニ於ケル御議論ノ中ニモ、資本ニ對スル報酬ト云フモノハ、勤勞ニ對スル報酬ヨリ低クナケレバナラヌト云ツテ、英國ノ例ヲ御舉ゲニナツテ、サウシテ成ベク金利ヲ下ゲテ行クコトガ日本ノ産業界ノ爲ニ宜シト云フ低金利政策ヲ御唱道下スツタ所ノ高橋大藏大臣ノ御意見トシテ、私ハ此點ガ非常ニ扞格ノアルヤウニ考ヘルノデアリマス(拍手)ドウゾ此點ニ付テ率直ニ御教ヲ願ヒタイノデアリマス

最後ニ御伺ヒ致シタイコトハ、所謂此通貨ノ調節ニ依ツテ機運ガ醸成サレ、略、決定致シテ居タ所ノ、預金ノ利下ゲト云フモノガ延バサレタト云フコトガ、引續キ新タニ發行スル所ノ公債ノ利率ニ關係シ、或ハ公債兌換ニ對シテ非常ナル障礙ヲ爲スモノデアナカラウカト云フコトヲ私ハ御伺ヒ致シタイノデアリマス、惟フニ今後ニ於キマシテ、日本ノ財政ガ背負フ公債ノ高ト云フ

モノガ益、多クナルコトハ、是ハ議論ノ外
デアリマス、私共ハ或ル一派ノ人々ノヤウ
ニ公債ノ本質ニ顧ミテ、公債其モノハ惡イ
ト云フヤウナ議論ハ致サナイ、外國債ハイ
ザ知ラズ、内國債、所謂國內ニ於ケル富ノ
分配ノ更正作用ヲ爲ス公債ヲ、唯無暗ニ恐
レル必要ハナイト思フ、唯財政技術上カラ
見テ、收支ノ均衡ヲドウトカシナクチャナ
ラヌト云フヤウナ問題ガ殘テ居ルノデア
リマスガ此種エテ行ク所ノ公債ヲ背負フ所
ノ財政ノ將來ヲドウスルカト云フコトニ付
テ、川崎君ノ如クニ増稅ヲ要スト云フ御議
論ナラバ別デアリマス、併シ私共ノヤウ
ニ、今日増稅ハ爲スベキ時期ニアラズト云
フコトニ致シマスルナラバ、何ガ其引當デ
アルカト申シマスルナラバ、公債ノ低利借
換トカ、或ハ又通貨膨脹ニ依テ來ル所ノ經
濟界ノ繁榮、國民所得ノ増加ヲ引當ニシタ
所ノ國庫歲入ノ増加ト云フモノヨリ外ニハ
私ハアルマイト思フ、斯ウ云フコトヲ考ヘ
テ參リマシテ、日本ノ國債ガ昨年ノ暮六十
五億圓ヲ突破スルヤウナ勢ヒ、恐ラク昭和
八年ノ末ニ於キマシテハ八十億ニナラウト
云フヤウナ時ニ、一分デモ一分五厘デモ、安
ク借換ヘガ出來、募集ガ出來ルト云フコト
ハ、國民經濟ノ負擔ヲ少クシ、日本ノ財政ノ信
用ヲ博スルニ非常ニ大切ナコトデアラウト
私ハ考ヘル(拍手)能ク一部ノ方ハ、借換ヘ
等ハ簡單ニ出來ルモノデナイト仰セラレマス
ケレドモ、或ハ新シイ公債ニ對シテ其用途
ヲ擴張スルトカ、或ハ舊イ公債ヲ固執致シ
テ居ルモノニ對シテ課稅スルカト云フヤ
ウナ、非常時ノ經濟ニ對スル態度サハ決リマ
シタナラバ、要スルニ問題ハ徹底シタ通貨
膨脹ヲシテ、市中金利ト云フモノヲ徹底
ニ下ゲテ、金ヲ貫テモ外ニ有利ニ利殖ス
ルノ途無キヤウニスルコトガ、是ガ低利ノ
公債ニ借換ヘシムル所ノ根本ノ政策デアラ
ウト思フ、即チ我ガ國債六十五億トシテ、
一分ニ致シマシタ所デ六十五萬圓、八十

億圓ニナレバ八千萬圓ノ國家ニ對スル利益
ガアル、國家財政ノ世界ニ對スル信用
ノ恢復ノ途ガ此處ニアルヤウニ私共ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、曩ニ英吉利ガ澤山ノ
金額、二十億幾ラト云フヤウナ五分利戰時
公債ヲ、三分五厘利ノ借換ニ成功致シマシ
テ、英國財政史上バカリデハナク、世界
ノ財政史上稀ニ見ル所ノ大成功ナリト云ハ
レタ所以ノモノハ何處ニ在ルカト云ヘバ、
所謂低利借換ニ依テ、日本ノ金ニシテ三億
一千一百万圓ト云フ、財政上ノ負擔ヲ輕減
シタト云フコトニアルデアリマセヌカ、
是ハ何ニ依テ斯ウ云フコトガ出來ルカ、即
チ英蘭銀行ノ金利ガ二分ニ迄下テ居ルト
云フ理由ニ依テ出來ルノデアリマス、日本
ノヤウニ四分七厘四毛五糸ト云フヤウナ英
吉利、佛蘭西、亞米利加等ニ較ベテハ勿論
問題デハナクテ、伊太利ヤ獨逸ノヤウナ所
カラ見テモ金利ガ高イ、日本ヨリ高イ國ハ
恐ラク世界中、波蘭トカ、奧地利位デヤナイ
カト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ二分利ダカ
ラ、斯ウ云フヤウナコトガ英吉利アタリデ
モ出來タノデアリマス、何時迄モ四分七厘
四毛五糸ト云フヤウナ、高イ日銀ノ金利ヲ
中心ニ考ヘテ居タルノデハ、中々大藏大臣ガ
初メノ日ニオ言ヒニナッタヤウニ、國債低利
借換ニ依テ、日本ノ財政ノ信用ヲ段々高
メ、收支ノ均衡ヲ圖ラウト云フコトニ對シ
テ、是ハ一大障害デアルト私ハ考ヘルノデ
アリマス、此點ニ付テモ一ツ御説明ヲ願ヒ
タイト思フノデアリマス

最後ニ爲替ノ事ニ付テ一言ダケ私ハ御意
見ヲ伺フデ置キタイト思フノデアリマスガ、
爲替ノ事ニ付テハ、何レ問題ガ提案サレマシ
タ時ニ、詳細ニ適當ナル機會ヲ見テ御同致
シタイト思フノデアリマス、金再禁止ヲヤ
テ、膨脹政策ヲヤリマシタナラバ、爲替ノ
低落スルト云フコトハ是ハ當然デアッテ、
當然ドコロデハナイ、爲替ノ低落ガアッテ
カラ、昨年ノヤウナ未曾有ノ輸出ノ大好景
氣ト云フコトヲ招來シタモノデアリマス、
即チ綿絲綿布ニ致シマシテモ、英國ノ墨ヲ凌
駕セント致シテ居ルトカ、或ハ日本初メテ
ノ人絹ガ五割三分モ外國ニ輸出ガ増加シタ
ト云フコトモ、全ク爲替ノ低落ト云フヤウ
ナコトニ依テ、是ガ招來セラレタコト
ハ、恐ラク御議論ガアルマイト思フ、爲替
ガ安定スルト云フコトハ、勿論安定ノナキ
ヨリモ宜イデアリマセウケレドモ、爲替ノ
安定ト云フコトガ、安定ノナキヨリモ宜
イト云フコトハ、一ニ懸テ其安定點ガ何
處ニ在ルカト云フコトニ、私ハ問題ガア
ルダラウト思フ(拍手)如何ニ爲替デモ、高
イ所デ安定シタノナラバ、ソレハ輸出貿易
ニ對スル所ノ脅威ノヤウニ私共ハ考ヘル
ノデアリマス、今日御承知ノ通りニ、世
界ノ何處ノ國デモ、大體ニ於テ程度ノ
違ヒハアリマスケレドモ「インフレーション」
シ「ラ」執テ、サウシテ段々其國ノ貨幣
價值ガ低下スルト云フヤウナ實狀ニナッ
テ居リマス、今日ノ新聞ナドヲ拜見致シマシ
テモ、亞米利加ノ弗ガ低下ノ危險ガナイト
ハ斷言ハ出來ナイ、「フラン」ニ於テモ矢張
低下ノ危險ガナイトハ斷言ハ出來マセヌ、
磅ノ如キハ、常ニ動搖ノアルコトハモウ論
ヲ俟タナイ所デアリマスガ、斯ノ如ク相手
ノ國ノ貨幣價值ガ動キ易イヤウナ今日ノ狀
態、而モ日本ノ爲替「ダンピング」ニ對スル
所ノ高關稅障壁ニ依テ、日本ノ輸出工業ヲ
壓迫シヨウト云フヤウナ時ニナッテ參リマ
スルト、高橋大藏大臣ガ前々議會以來常ニ
仰セラレテ居リマスル如クニ、爲替ヲ日本
ダケデ安定シタ所デ、相手ノ値打ガ違テ來
ルノデハドウモ仕樣ガナイデハナイカト云
フヤウナ、所謂自由放任論ト云フモノ、價
值ガ今日ノヤウニ、相手國ノ貨幣價值ノ動
キガ分ラヌ時ニ於キマシテハ、時ニ値打ガ
出テ居ルヤウニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリ
マス、斯ウ云フ時ニ當テ、折角爲替低落ニ
依テ日本ノ經濟界ガ幾分デモ活躍ノ端緒

ヲ見出シタト云フ時ニ、世論傳フルガ如ク
ニ、徹底ニ爲替ノ釘付ヲスルガ如キ目的
デアルヤウニ解セラレルヤウナ輸入管理ヤ
貿易管理ニマデ進ムヤウナ、徹底シタヤリ
方ヲシテ行クト云フコトハ、果シテ日本ノ
國民經濟、輸出經濟ノ爲ニ宜イカドウカト
云フコトニ付テハ、餘程私ハ疑問ガアルヤ
ウニ今日考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ付
テハ一ツ今マデノ高橋大藏大臣ノ御意見ガ、
二十二弗ノ時ニハ自由放任ガ宜イガ、二十
弗ニナレバドウシテモ釘付ケニシナクレバ
ナラヌト云フ御意見ニ御變リニナリマシタ
點ニ付テ、一ツ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト
思フノデアリマス、以上ヲ以チマシテ私ノ
質問ヲ終リマス(拍手)

○議長(秋田清君) 高橋大藏大臣
(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 本暮サンノ御尋
ハ、第一ガ昨年ノ十二月末ニ於テ、日本銀
行ガ其所有シタル所ノ證券ヲ市中銀行ニ賣
タト云フコトハ、折角物事ガ一事物ガ恢
復ニ向テ來タ場合ニ於テ、今將ニ物價ナド
ノ上ラントスルモノヲ無理ニ抑ヘタルデア
ル、ソレナラバ豫テ私ガ言ウタ所ノ通貨ノ
膨脹、統制アル所ノ膨脹ハ、商工業者ノ必
要ナ資金ニ不自由ヲサセナイヤウニスル、
法ニ於テハ投機思惑ニ於テ其金ガ濫用サレ
ヌヤウニスルノダ、斯ウ云フ趣旨ヲ述ベテ
置イタルデアリマスガ、ソレニ反スルガ如
キ御感想ヲ以テノ御尋デアリマス、一々日
本銀行ノ日々ノ報道ニ對シテ大藏省ガ指圖
スル譯ニ行カヌコトハ申スマデモナイ話デ
アリマス、併シ大體政府ノ金融ニ付テノ定
メタル政策ハ、十分ニ日本銀行ノ當局者ニ
ハ申含メテアルノデアリマス、日本銀行ガ
昨年ノ十二月ニ市中銀行ニ有價證券ヲ賣
タノモ、必ズ其政府ノ政策ニ順應シタ手
段ヲ執ツタモノト私ハ信ジテ居ルノデアリ
マス、此通貨ノ膨脹ト云フコトハ、唯通貨
ノ殖エルバカリヲ見テ、世ノ中ノ物價其

他ノ勢ヲ見ヌ譯ニ行カナイ、併セテ金融
界ニ於ケル、乃至財界ニ於ケル信用ヲモ
始終考ヘネバナラヌ問題デアリノデアリ
マス、金融出再禁止以來、何ガ一番著シク
變テカト申セバ、先刻木暮サンモ御述ベ
ニナリマシタ通り、我國ノ有價證券ガ五十
億ノ値上リヲシタト仰シヤイマシタガ、尙
ホ之ヲ株式ト債券トヲ併セ考ヘテ見マス
云フト、此禁止以來一箇年ニ於テ有價證
券ノ、即チ株式ト債券トノ値上リハ六十五
億圓以上ニ達シテ居ルノデアリマス、而シ
テ昨年ノ十二月一日ト、此一月ト較ベテ
見マシテ、僅ニ二箇月ノ間ニ更ニ十八億圓ノ
値上リヲシタノデアリマス、而シテ地方ト
都會ノ取引所ノ金ノ出入リ、有價證券ノ
出入リナドノ實際ヲ調ベテ見マス云フ
ト、地方カラハ金ヲ其取扱フ專門ノ機關ニ
送テ來テ、何デモ宜イカラ買テ呉レロ、
成行デ、何デモ宜イカラ株券ナリ債券ナリ
買テ呉レロ、買フ人ガ何ヲ買タラ宜イカ
ラ云フ其物ヲ指定モセズニ、唯取扱ノ機關ニ
委セテ、其處ヘ送金ヲシテ買取ル、却テ都
會ノ人ヨリハ地方ノ人ニサウ云フ註文ヲス
ルコトガ非常ニ殖エタノデアアル、是ハドウ
云フ譯デサウナッテ來タノカト申シマス、
一ツニハ全國ニ於テ、六年ノ末カラ七年ノ
半バ頃マデニアッタヤウナ、此不安ノ妖雲
ガ散ジタノデアリマス、財界ニ對シテ皆有
シテ居ル所ノ不安ノ妖雲ガ散ジタノデアリ
マス、隨テ信用ノ恢復ガソコニ現レテ來
タノデアリマス、有價證券ガ高クナッテ爲
ニ、地方ノ債務者ハ銀行カラ擔保ノ増シヲ
請求セラレルコトモナクナリ、銀行モ之ニ
向ッテ頭金ヲ入レト云フ督促ヲモスル必
要ガナクナリ、却テ債務者ニハ有價證券等
ノ價上リノ爲ニ、更ニ借入レル餘裕ヲ生ジ
タヤウナモノデアリマス、ソコヘ持ッテ行
テ、爲替ハ何處マデ下ルカ知レヌ、今日通
貨ヲ持ッテ居ル者ハドシナ損ヲスルカモ知
レヌ、物ニ通貨ヲ換ヘルガ宜イト云フヤウ

ナ宣傳ノ隨分行ハレタノデアリマス、經濟
ノコトニ餘リ知識經驗ヲ深ク有ッテ居ラス
所ノ一般ノ國民ハ、或ハサウデアラウカト
云フコトヲ思ウタノガ、詰リ此有價證券ノ
騰貴ト云フコトニ於テ現レテ居ル、然ラバ
一方ニ於テハ眞ノ商工業者ノ間ノ取引ハ
ドウデアッタカ、是ハ矢張此手形交換所ノ
成績ヲ見マシテモ、亦貨物ノ動キヲ見マシ
テモ、亦生活ノ困難ガ漸次ナクナッテ來マ
シタノモ、失業率ノ減ッテ來マシタノモ、
サウ云フコトカラ見マシタナラバ、洵ニ健
全ナル發達ヲ爲サントシテ居ルコトガ其處
ニ現レテ居ルノデス、木暮サンノ仰シヤル
通り、唯物價ガサウ高クナラヌノニ、日本
銀行ガ市中ノ銀行ノ手許ニ遊ンデ居ル金ヲ
引上ゲタト云フコトハ宜シクナイト云フコ
トニナリマスケレドモ、物價バカリヲ見レ
バサウモ言ヘマセウガ、物價ハ矢張相當順
序良ク、秩序アルヤウナ騰貴ヲ今日通ッテ
居ル、私ノ此財政ノ演說ノ中ニモ申上ゲタ
ル通り、今日ノ景氣ノ恢復ハ全般トハ決シ
テ認メラレマセヌ、或ル局部ノ工業、或ル
部分ノ商賣、事業ト云フモノニ、先以テ景
氣ノ恢復ガ現レテ居ル、眞ノ財界ノ建直リ
ハ私ノ演說ニ於テ申シマシタ通り、國民ノ
過半數ガ從事シテ居ル所ノ、此農村ノ消費
力ガ本當ニ増シテ來ナケレバ、日本全體ノ
經濟界ガ恢復シタトハ言ハレナイノデアリ
マスカラ、ソレハ今後ニ在ルト云フコトハ
演說中ニ申上ゲテ置イタ、日本銀行ガ昨年
ノ十二月ニ於テ二億何千萬圓カノ證券ヲ餘
裕ノアル銀行ニ渡シテ、其預金ヲ回收シ、
日本銀行ノ兌換回收ニ充テタト云フコト
ハ、決シテ物價ノ高キヲ恐レテ爲シタ處置
デハナイノデアリマス、餘リニ投機ノ方面
ニ人心ガ趨リ過ギテ居ル、僅カ一箇月ノ
間ニ一十二月ト一月トノ間ニ既ニ六十
五億ノ騰貴ヲ見タ有價證券ガ、更ニ十八
億ノ騰貴ヲ見タト云フヤウナ狀態デア
ル、實際ハ今ノ、地方カラ金ヲ送ッテ、買

フ物ノ指圖ニモセズニ、唯何デモ宜イカラ
買ッテ呉レロ、買ッテモノヲ地方ヘ送ル、地
方デ金融ガ付ク、之ヲ拾テ、置イタナラバ
再ビ地方民ハ投機思惑ノ爲ニ非常ナ蹣跚ヲ
生ジ、損害ヲ生ズルコトハ明デアアル、左様
ナ方ニ金ガ行ケバ則チ是ハ「インフレーション」
ノ害ヲ見ルコトニナルノデアリマス、
其害ヲ除カンガ爲メ、又見ナイヤウニスル
爲ニ、此通貨ノ統制ト云フコトニ主トシテ
重キヲ置イテ居ルノデアアル(拍手)而シテ此
經濟界ノ物價騰落ニ關シテ、如何ニ是ガ堅實
ナモノデアアルカ否ヤト云フコトハ、單ニ兌
換券ノ發行高ノミニ依ッテ判斷セラレナ
イヤウニ致シタイ、之ニ伴ウテ信用ガドノ
位恢復サレテ來テ居ルカ、其信用モ兌換券
モ餘リ過度ニ恢復スレバ害ヲ生ズル、此處
ガムヅカシイ所デス、日本銀行——中央銀
行ノ重要ナル職能ハ此處ニ在ル、常ニ都會
地方ノ此金融界ニ於テノ脈ヲ執ルコト、名醫
ガ病人ニ對スルガ如クセネバナラヌト云フコ
トヲ固ク申付ケテアルノデアリマス(拍手)
ソレカラ今一ツハ畢竟日本銀行ガ十二月
ニ證券ヲ市場ニ出シタ爲ニ、折角預金利子
ノ引下ノ機運ノアッタモノガ、是ガ逆轉シ
テ止マッテ、斯ウ云フコトデアリマス、此
預金利子ト云フモノハ御承知ノ通り我國ノ
銀行ノ間ニ於テハ、大銀行アリ、中流ノ銀
行アリ、小銀行ガアル、中々之ヲ今一概ニ
統制シテ行クト云フコトハ困難デアアル、東
京ト大阪トハ又銀行營業者ノ心理狀態モ多
少違フ所モアル、此違フモノヲ一致セシメ
テ行ハントスルノデアリマスルカラ、一度
ヤ二度ノ會合デ之ノ纏ッタコトハ、是マデ
殆ド無イノデアアル、併ナガラ勢ガドウシ
テモ事實ニ於テ金利ガ下レバ、銀行トシテ
ハ預金ニ對スル利息ヲ下ゲテ營業シテ行ク
ヨリ外ニ途ハナイ、預金利子ヲ下ゲルト同
時ニ自分ノ經營ノ費用ヲモ儉約シテ行クヨ
リ外ニ、自分ノ生活シテ行ク途ハナイノデ
スカラシテ、是ハ何モサウ心配セズトモ、

世間一般ノ財界ノ恢復ニ向ッテ、金利ノ引
下ガルベキ時機ナラ、是ハドウシテモ勢ヒ
下ガルモノデアアル、無理ニ斯ウ云フコトハ
出來ナイ、ト云フモノハ、大中小ノ銀行皆
其狀態ヲ異ニスル、或ル地方ニ於テハマダ
金利ノ高イノヲ地方民ガソレ程ニ氣ニシ
ナイ、都會ノ銀行ハ五ニ競爭スルモノガ多
イカラシテ、之レヲ一方デ以テ高クスレバ、
安イ所ニアッタ預金ハ皆高イ所ニ動イテ行
クト云フノガ今日ノ勢デアアル、サウ云フ五
ニ預金爭奪ノ弊害ヲ生ズルコトノナイヤウ
ニシテ、サウシテ協調シテ、金融界ノ統制ヲ
圖ラウト云フノデアリマスルカラ、新聞ヤ
ナンカニ一時噂ニ上ルコトヲ、本當ノモノ
ト思ッテ考ヘルノハ、往々間違ヲ生ズル因
ニナリマス
是デ大體日本銀行ノコトニ付テハ御答シ
タ積リデスガ、尙ホ其外ニ國債借替ノコト
ガアリマシタ、是ハ一寸私ノ聽損ヒカモ知
レヌガ、國債借替ハ國ノ信用ガ恢復シナケ
レバナラヌ、ソレハ外國ノ目指シテ言ハレ
タノカトモ思ハレタ、マダ——只今ノ所デ
ハ、我國デハ此上外債ヲ起スト云フ必要モ
ナカラウシ、又外債ヲ起サントシテモ應ズ
ル者モ殆ドナカラウト思フ(低金利政策ノ
徹底ダト呼フ者アリ)、然ラバ外債デハナ
イ、內國債——私ハ如何ニモ此低金利政策
ノ效果ガ存外早ク實現シタト今日思ッテ居
位デアリマス、既ニ五分ノ公債ヲ發行スルノ
ニ、ツイ先達マデハドウデアリマス、九十
六圓、九十五圓ト云フ發行價格デ、五分デ、
ソレモ頭下ゲテ厭々引受ケラレルト云フ
ヤウナ風デアッタ、ソレガ今日如何デス、
一應日本銀行ニ於テ引受ケシムル、四分半
デ既ニ二度ヤッテ居ル、發行價格ハ五分
餘リ變ラヌ、或ハ少シ上ニナッテ居ルカモ
知レヌ、是ハ低金利政策ノ結果デアリマセ
ウ、私ハ如何ニモ效果ノ現レガ早カッタ
ト思ッテ居ル、今後益、此低金利政策ガ實
現シテ進ンデ參リマスレバ、或ハ四分半ド

コロヂヤナイ、四分ニモ、三分五厘ニモ借替ガ出来ルヤウニナラナケレバナラヌ、ソレハ今無理ニハ出来ナイ、經濟界ノコトハ法律ヲ改メテ明日カラ效力ヲ持タセルト云フヤウナ譯ニハ行カナイ、實際デス、ダカラソレハ少シ氣長ニ御考ニナツタラ宜シ

ソレカラ今一ツハ爲替ノ問題、此爲替ノ問題ニ付テ、ドウモ新聞ナドカラ御推定ニナツタカ知ラスケレドモ、私ハ未ダ曾テ爲替相場ガ是ヨリ下ツチヤナラヌ、是デ維持シナケレバナラヌト云フコトヲ口外シタコトハ一度モナイ、又其考ガナイカラ口外スル管ガナイ、二十弗ヨリ下ツチヤイカスト私ガ言ウテ之ヲ支ヘルナシテ、以テノ外デアアル、ソナ事ハ考ヘテ居ラス、ソレダカラ是ハ何カ御推測ノ間違デアアル、是ハ新聞ノ種デアラウト思フ、然ラバ爲替相場ハドウスルノカ、斯ウ云フ問題ニナリマセウ、實ハ爲替相場ト云フモノハ度々申ス通り、日本一國デ爲替相場ヲ定メヨウトシタツテ出来ナイ、是ハ言ハストモ分テ居ル、今日爲替相場ヲ或ル程度ノ所デヤント動カヌヤウニ安定シロト云フ御註文ハ、暖簾ニ向ッテ腕押シヤスルノト同ジコトデアアル、如何ニモサウデヤアリマセヌカ、何ヲ今日列國ガ心配シテ居ルカ、爲替相場ヲ安定シテ、貿易ヲ自由ニシヨウト云フノガ、彼等ノ最モ重キヲ置イテ、頭ヲ悩マシテ居ル所デヤアリマセヌカ、中々此解決ガ出来ナイニ、獨リ日本ノ爲替相場ダケヲ動カヌヤウニシロ、幾ラヨリ下ラヌヤウニシロト云フノハ、ソレハ一寸無理ナ註文デアアルト私ハ考ヘ

○副議長(植原悦二郎君) 朴春琴君(朴春琴君登壇)
○朴春琴君 此登壇ノ出来マシタコトヲ、不肖私ノ光榮ト思フ次第デアリマス、私ハ内務大臣、外務大臣、拓務大臣、陸軍大臣ニ質問シタイト思フノデアリマス、其

質問ノ前ニ、今回朴泳孝侯爵ガ勅選議員ニナラレマシタ事ハ、國家ノ爲ニ、亦内鮮一家ノ爲ニ洵ニ感謝ニ堪ヘマセヌ、之ニ依テ現内閣ノ總理大臣首メ各大臣ノ方々、貴衆兩院議員ノ方々ニ、厚ク御禮ヲ申上ゲル次第デアリマス(拍手)

私ハ第一ニ、參政權問題ニ付テ内務大臣ニ承リタイト思フノデアリマスガ、先ヅ其前ニ各黨ノ總裁ノ方々ガ黨ノ大會ニ於キマシテ、我國ノ人口ハ七千万云々ト云フコトヲ再々言ッテ居ルノデアリマスガ、私ハ此言ハレル方々ガ別段惡意ガアツテ言フノデハナイトハ思ヒマスケレドモ、先ヅ我ガ人口七千万云々ト云フコトヲ言ハレル時、此新附二千万ノ立場カラ考ヘレバ、何ダカ除外サレタヤウナ氣持ガシテ仕樣ガナイノデアリマス(拍手)是ハ言フ人ハ惡意デハアリマセヌケレドモ、先ヅ此言フコト、其事ニ依ッテ此二千万ノ方々ガ淋シ氣持ト、ソレカラ併合二十有餘年間デモ、内地ノ方々ガ吾々二千万人ニ對シテ、日本國民トマダ認メテナイカト云フ心持ヲ與ヘルト云フコトハ、國家ノ爲ニ大不利益ト私ハ思フノデアリマス(拍手)

ソコデ私ハ無理ナ要求ヤスルノデハナクシテ、皆サン御承知ノ通り二十有餘年前ノ併合當時、畏多クモ明治大帝陛下ハ二千万人ハ一視同仁デアアルト云フコトヲ仰セラレテアルノデアリマスカラ、日本國民トシテ此權利義務ヲ明ニスルノガ、即チ日本國民ノ義務ト思フガ故ニ、内務大臣ニ私ハ此要求ヲシタイノデアリマス、併シ今日ノ朴泳孝侯爵ニ勅選議員ノ椅子ヲ與ヘラレタコトモ、恐ラク齋藤總理大臣ハ内鮮融和ノ爲ニ與ヘラレタノデハナイト私ハ思フノデアリマス、日本國民トシテ與ヘラレタノデハナイカト思フノデアリマス(拍手)ソレナラバ今マデ何故ニ朝鮮ニ參政權ヲ與ヘテナイカ、吾々ハ又此植民地云々ト云フヤウナコトモチヨイノ聞イテ居リマス、内地ノ

反對スル所謂不良分子ノ何人カノ方々ガ、植民地ト言ウテモ不逞ト言ウテモ何トモ思ハナイケレドモ、少クトモ此私共日本人ニナツタコトヲ所謂誇トシテ居ル人ノ立場カラ言ヘバ、植民地ト言ハレルコトハ非常ニ氣ニ喰ハナイノデアリマス(拍手)

ソコデ此參政權ハ十數年前カラ朝鮮ノ有力ナル方々ガ内地ノ議會ニ陳情モシ、又各大臣ノ方々ヲ訪問シテ、諒解ヲ求メテ居タノデアリマス、然ルニ今日迄マダ朝鮮ニ參政權ヲ與ヘナイト云フコトハドウ云フ譯デアリマスガ、同ジ日本國民デアアルカラ、當然此兵役ノ義務モ持タセ、又參政權モ與ヘル、ソコデ鮮人諸君カラヤッバ、義務モ果シテ貰ハナクテハナラヌ、ソコデ初メテ同一ノ國民デアアル、然ルニ今日マデ參政權ヲ與ヘナイト云フ理由ガ何處ニアルカト云フコトヲ、内務大臣ニ承リタイト思フノデアリマス

ソレカラ外務大臣デアリマス、外務大臣ハ滿鐵ノ總裁ノ時、所謂滿鐵總裁トシテ推稱セラレタ方デアリマスガ、滿鐵ノ使用人ヲ私ガ昨年調べテ見ルト云フト、内地人ハ二万二千人現在使ッテ居ルノデアリマス、内地人ハ二万二千人使ッテモ、五万人使ッテモ何モ文句ハアリマセヌ、併シ支那人ハ一万二千人使ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ鮮人ハタツタ三十人シカ使ッテ居ラナイノデアリマス、而モ其三十人ノ人ハ殆ド小使ノヤウニ使ッテ居ル、ソコデ日本ノ移民トカ、滿蒙ハ生命線デアアルト云フコトヲ現外務大臣ハ考ヘテ居ルノカ居ナイノカ、又今日在滿鮮人ハ百万ヲ突破致シテ居ルノデアリマスガ、此頃匪賊ノ爲ニ非常ニ困難ガ續イテ居ルノデアリマス、此匪賊ト困苦ト聞ッテ居ル時ニ、ヨク邦人何人ト云フコトヲ内地ノ新聞ニ書イテ居ルノデアリマス、其邦人何人ト云フヤウナコトガ出テ居ル處ニハ、例ヘバ邦人ガ十人居レバ、必ズ鮮人ハ其處ニ三四十人、五六十人私ハ居ルト思ヒ

マス、所ガソレヲ一向言ハナイ、此滿洲事變勃發ニ對シテ、鮮人ハ非常ナ期待モ希望モ持ッテ居タ次第デアリマス、所ガ此頃斯ウ見テ居ルト云フト、マルキリ邪魔者ノヤウナ取扱ヤスルト云フコトガアルラシイノデス、ソレカラ中ニハ滿蒙觀察ニ行クト云フ時デモ、殆ド朝鮮ハ忘レテシマツテ、素通リスルト云フ人ガ多イノデアリマス、何シロ在滿鮮人百万ニハ滿洲國家ノ方々モ餘リ重キヲ置カナイノデアリマス、殊ニ重キヲ置クト云フコトヨリ、却テ邪魔者ノヤウニ思ッテ居ル、又近來或人カラ聞ク所ニ依リマス、滿鐵ガ鮮人ガ一ツ滿洲ニ入ラナイヤウニ計畫シヨウデヤナイカト云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、果シテ事實デアラナラバ、是ハ國家ニ對スル重大問題ト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ在滿ノ百有餘萬ノ此新附ノ方々ヲ、本當ニ日本國民ト外務大臣ハ見テ居ルカ居ナイカ、併シ日本國民ト見テ居ルナラバ、ソレニ對スル保護——徹底的ニ保護救済スルト云フ案ガアルカナイカト云フコトヲ、私ハ外務大臣ニ承リタイト思フノデアリマス、尙ホ外務大臣ハ此百万ヲ突破シテ居ル鮮人ハ、是ハ即チ日本國民デアアルト云フコトヲ、ハッキリ滿洲國家ニ對シテ今度認識セシムルト云フコトヲ私ハ必要ト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ陸軍大臣デアリマス、陸軍大臣ニ對シテハ、十數年前カラ、我國ノ國防止朝鮮ニ二箇師團位増設ト云フコトガ、屢々朝鮮カラ陳情ガ來テ居タノデアリマス、其當時ハ、朝鮮ニ於ケル所謂内地人ガ、師團増設問題ト云フコトヲ内地ニ運動ニ來テ居リマシタケレドモ、又或ル鮮人ノ方々ハ、或ハ反對シタ方モアリマシタ、所ガ今日ハ段々鮮人モ其意味合ノコトガ解リマシテ、今日ハ二千万人ガ所謂講義テ、我が國防止朝鮮ニ師團ヲ増設シテ貰ヒタイト云フ陳情書ガ、昨年私ハ出タト思フノデアリマス、是ハ人口カラ割出シテモ、我が

國防上カラ考ヘルニシテモ、當然ニ箇師團位増設スル場所デアルト私ハ見テ居リマス、中ニモ此師團増設問題ガ若シモ今度決定サヘスレバ、或ハ朝鮮ノ方カラ、敷地ハ無論寄附スル、若干補助モスルト云フヤウナ問題ガ、屢々陸軍大臣ニ陳情ガ出テ居ル筈デアリマス、之ニ依ッテ陸軍大臣ハ、國防上朝鮮ニ師團ヲ増設スル意思アリヤナイヤト云フコトヲ承リタイト思フノデアリマス

モウ一ツハ拓務大臣デアリマス、拓務大臣ハ濱口内閣ノ時ニ朝鮮ノ自治制ヲ與ヘタ筈ト私ハ思フノデアリマス、今迄ハ官選デアッタノデアリマスガ、其後齋藤總督ガ今度二度目ニ行ッテ時ニ、官選ニシテハ相成ラヌ、是非民選ニシナクテハイカヌト云フ譯デ、濱口内閣ノ時ニ民選ニスルト云フコトデ自治制ヲ與ヘタ譯デアリマス、然ルニ面ト、或ハ府ト今日ハ自治制ヲ與ヘテ居リマスケレドモ、マダ道制ハ行ッテ居ナイト云フコトハ、ドウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ承リタイト思フノデアリマス

モウ一ツハ此頃拓務省ニ依ッテ滿蒙移住民ヲ盛ニ獎勵シテ居ルノデアリマス、或ハ武裝移民ト云ヒマスガ、集團移民ト云ヒマスガ、何ト云フヤウナ移民ヲヤッテ居リマスガ、此内地ノ移民ヲ獎勵シテ居ルコトハ、拓務大臣ハ成功スルモノト思フノデアアルカ、ナイカト云フコトヲ承リタイト思フノデアリマス、私ハ六十二臨時議會ニ於キマシテ、無論滿洲ハ我國ノ生命線デアアルカラ、内地人ガ行クト云フコトハ、是ハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアアル、併シ行クニハ總テ順序ガアルト云フコトヲ私ハ申シマシタ、所ガ今日ノ内地人ノ所謂生活程度ト、滿洲人ノ生活程度ヲ吾々ガ考ヘテ見ルト云フト、今日ノヤウニ幾ラ國家ガ費用ヲ掛ケテモ、此氣候ノ良イ處ニ生レタ日本人ニ、僅カ三十五錢ヤ三十錢位ヲ貰フテ、朝六時カラ晚ノ六時マデ働イテ居ル者ト、現在拓務

大臣ガ移民ヲ獎勵シテ居ル方々ト、肩ヲ並ベテ鋤、鐵ヲ持ッテ開拓ヲスルト云フヤウナコトハ、私ハ當然不可能デヤナイカト思フノデアリマス、併シソレニハ適當ナ所謂我が新日本國民、即チ百有餘萬ノ人ガ、昨年モ申上デマシタ通りニ、既ニ初ハ五百万石、或ハ粟ヤ黍ヤ、其他ノ雜穀五百万石、合セテ一千万石モ得ラレタ我ガ新國民ガ彼處ニ居ルノデアリマス、此人達ノ手ニ依ッテ滿蒙ヲ開拓シテ、帝國ノ農場ヲ滿蒙ニ作ルト云フコトヲ、拓務大臣ニモウ少シ私ハ考ヘテ貰ハナクテハナラヌト思フノデアリマス(拍手)而シテ全ク日本ノ國カラ補助ナシニ彼等ガ自發的ニ行ッテ、彼ノ張作霖或ハ張學良等ノ惡政ノ下デ有ユル侮辱、有ユル迫害ヲ受ケテ、年々數百ノ人間ガ虐殺ヲ受ケツ、滿蒙ノ天地ヲ開拓シテ居ル此新日本國民ヲ、今日國家ガ徹底的ノ保護ヲスルト云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、然ルニ今日或ハ外務省デアアルカ、拓務省デアアルカ、軍部ノ方々ハ淡白デアアルカラ、匪賊討伐ノ爲ニソシナコトヲ忘レテ居ルカモ知レナイガ、先ヅ邪魔者ノヤウナ取扱ヲスルト云フヤウナ氣分ヲ與ヘルト云フコトハ、私ハ國家ノ爲ニ是ハ大不利益ト思フノデアリマス(拍手)

又今後滿蒙ノ所謂外交問題ナリ、滿蒙ニ對スル今後ノ日本ノ政策ニ鑑ミテ、私ハ一ツ歷代總督ノコトヲ申上デテ參考トシタイト思フノデアリマス、大體五代總督デアリマスガ、第一番伊藤博文統監時代、或ハ寺内閣齋藤總理大臣ガ總督時代、或ハ山梨總督、宇垣總督ノ此五代總督カラ私共考ヘル時ハ、寺内總督ノ當時ハ所謂武斷政治デアアル、其當時ハ寺内自身ハソシナコトハナカッタカモ知レナイケレドモ、寺内總督ヲ利用シテ、地方ノ小役人、或ハ又内地カラ行ッテ居ル所謂無賴漢、此方々ニ依ッテ殆ド二千万人ノ人心ガ恟々トシタノデアリマス、

ソコデ此位抑ヘ付ケテ置クナラバ、モウ又向ヒハ出來ナイダラウト云フコトデ先ヅ安心シテ居ラタノデアリマス、然ルニ大正八年ノ萬歲騷動ガ起ッタノデアリマス、此大正八年ノ萬歲騷動ト云フコトハ、全島民衆、之ヲヤッタ譯デアリマス、既ニ此武斷政治デ抑ヘルダケ抑ヘテ置イタカラ、モウ又向ヒガ出來ナイダラウト云フヤウニ安心シテ居ラタ所ガ、大正八年ノ所謂萬歲騷動ト云フモノガ起ッタノデアリマス、ソコデ武斷政治デハイケナイ、憲兵制度ヲ變ヘテ、サウシテ文化政治ヲ布クガ宜イト云フコトデ、現内閣總理大臣ガ朝鮮總督トシテ行ッテ譯デアリマス、其後八年間所謂文化總督トシテ、現内閣總理大臣ハ所謂名總督トシテ居ラタ譯デアリマス、併シ其齋藤總督ガ今度山梨總督トナリマシテカラハ、アレハドウ云フ譯カ知ラナイケレドモ、非常ニ又朝鮮ノ人心ハ穩カデハナカッタノデアリマス、ソレト云フノハ私ハ段々聞イテ見ルト、山梨自身ハ惡クナイケレドモ、山梨ニ附イテ居ル人ガ餘リ朝鮮ニ於ケル利權ヲ漁ル爲ニ、山梨ト云フ人ノ評判ガ非常ニ惡クナッタ、ソコデ再び又齋藤總督ガ行ッテ譯デアリマス、ソコデ又齋藤總督ノ獨特ノ濃厚ヲ以テ幾分人心ハ柔イデ來タガ、併シ寺内總督當時ノ所謂武斷政治ノ弊ガ今マデアアルノデアリマス、ソレデアアルカラシテ結局今日ノ宇垣總督モ、所謂山梨サンノ跡ヲ片付ケルベク現在ヤッテ居ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云ッタヤウナコトガアリマスシ、尙ホ私ヲシテ忌憚ナク言ハシムレバ、今日滿洲國家ニ對シテハ餘リ内地人ノ役人ガ出シヤバリ過ギテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、或ル滿洲人ガ言フニハ、君達ハ能ク考ヘテ呉レ、今ハ總テ日本人ガア、云フコトヲ言ウテ居ルケレドモ、先ヅ朝鮮ト同ジヤウニ、滿蒙ノコトヲ考ヘテ居ルカモ知レ

ナイト云フコトヲ、既ニ私ハ二三ノ有力者カラ聞イテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今日ノ所謂滿洲役人ニ對シテ、餘リ日本人ガ出シヤバリ過ギルデヤナイカト吾々ハ思フノデアリマス、此滿洲國家ノ役人モ、鮮人ハ殆ド數ヘルニ足ラナイ位シカ入ッテ居ナイト私ハ記憶シテ居リマス、併シ數ノ上カラ言ウテモ相當ニ此人等ヲ入レテ、所謂滿蒙開拓ヲサセナケレバナラヌノニ、是モ亦今日實現シテ居ナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレカラ間島地方ニ於キマシテハ、八割ト云フ位ノ鮮人農民ガ居ルノデアリマス、此間島ハアレハ鮮人ニ依ッテ、鮮人ノ自治ヲ布クト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマスケレドモ、是モ今日マデマダ實現シテ居ナイノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ、相手ノ人ノ感情ヲ害シテ、サウシテ國家ノ爲メヲ圖ルト云フコトハ當然不可能デアアル、此間京都ニ在ル我が同胞ガ、非常ニ日本ノ國家主義ト云ヒマスガ——ソレヲ理解シテ内鮮融和ノ上カラ内地人ヲ家内ニ貰ッタ、サウシテ子供ガ今日十五六歳ニナッテ居ルノデアリマスガ、其子供ガ小サイ時學校へ行ッテ時分ニ、或ル學校ノ友達、アレハ植民地人デアアル、朝鮮人ダト云フコトヲ度々言ウテ居ッタサウデス、ソコデ其子供ハ自分ノ家ニ歸リマシテ言フノニ、「オ父チヤン、今日學校へ行クト云フト、オ友達ガ私ニ向ッテアレハ植民地ノ人デアアル、アレハ朝鮮人デアアルト友達ガ言ッテ居リマシタガ、私ハ本當ハ何處ノ人デアリマスカ、オ父チヤン、ソレヲハッキリ言ウテ下サイ」斯ウ言ウテオ父チヤンヲ責メタサウデス、所ガ其オ父チヤンハ其一言ヲ子供カラ聽クト、涙ヲボロ／＼ト流シテ、朝鮮ニ歸ッタト云フコトヲ聞キマシタ、ソコデ之ニ依ッテ吾々ガ考ヘマスノニ、其子供ノ言フコトヲ聽イタ親ノ氣分ニナッテ見ルト云フト、何トモ云ヘナイヤウナ氣持ガスルノデアリマス、ソコデ此無邪氣ナ子供ガ斯ノ如キ事

ソコデ此位抑ヘ付ケテ置クナラバ、モウ又向ヒハ出來ナイダラウト云フコトデ先ヅ安心シテ居ラタノデアリマス、然ルニ大正八年ノ萬歲騷動ガ起ッタノデアリマス、此大正八年ノ萬歲騷動ト云フコトハ、全島民衆、之ヲヤッタ譯デアリマス、既ニ此武斷政治デ抑ヘルダケ抑ヘテ置イタカラ、モウ又向ヒガ出來ナイダラウト云フヤウニ安心シテ居ラタ所ガ、大正八年ノ所謂萬歲騷動ト云フモノガ起ッタノデアリマス、ソコデ武斷政治デハイケナイ、憲兵制度ヲ變ヘテ、サウシテ文化政治ヲ布クガ宜イト云フコトデ、現内閣總理大臣ガ朝鮮總督トシテ行ッテ譯デアリマス、其後八年間所謂文化總督トシテ、現内閣總理大臣ハ所謂名總督トシテ居ラタ譯デアリマス、併シ其齋藤總督ガ今度山梨總督トナリマシテカラハ、アレハドウ云フ譯カ知ラナイケレドモ、非常ニ又朝鮮ノ人心ハ穩カデハナカッタノデアリマス、ソレト云フノハ私ハ段々聞イテ見ルト、山梨自身ハ惡クナイケレドモ、山梨ニ附イテ居ル人ガ餘リ朝鮮ニ於ケル利權ヲ漁ル爲ニ、山梨ト云フ人ノ評判ガ非常ニ惡クナッタ、ソコデ再び又齋藤總督ガ行ッテ譯デアリマス、ソコデ又齋藤總督ノ獨特ノ濃厚ヲ以テ幾分人心ハ柔イデ來タガ、併シ寺内總督當時ノ所謂武斷政治ノ弊ガ今マデアアルノデアリマス、ソレデアアルカラシテ結局今日ノ宇垣總督モ、所謂山梨サンノ跡ヲ片付ケルベク現在ヤッテ居ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云ッタヤウナコトガアリマスシ、尙ホ私ヲシテ忌憚ナク言ハシムレバ、今日滿洲國家ニ對シテハ餘リ内地人ノ役人ガ出シヤバリ過ギテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、或ル滿洲人ガ言フニハ、君達ハ能ク考ヘテ呉レ、今ハ總テ日本人ガア、云フコトヲ言ウテ居ルケレドモ、先ヅ朝鮮ト同ジヤウニ、滿蒙ノコトヲ考ヘテ居ルカモ知レ

ヲ言フコトハ、結局今日迄ノ政治ノ
缺陷カラ來タノデハナイカト私共ハ思フ
デアリマス、要スルニ朝鮮人モ日本國民デ
アル、日本國民デアル以上ハ、之ニ參政權
ヲ與ヘルコトガ出來ルカ、出來ナイカト云
フコトヲ內務大臣ハハッキリ御答ヲ願ヒタ
イト思フデアリマス、ソレカラ外務大臣
ハ滿洲ニ於ケル朝鮮人百萬ト云フモノハ、
日本人デアルトシテ保護シテ載キタイト云
フコト、及今度滿洲國家ニ對スル強イ認識
ヲ與ヘルコト云フコトガ出來ルカ、出來ナイ
カト云フコトヲ承リタイ、又陸軍大臣ハ前
ニ申シタ通り、朝鮮ニ二個師團増設ガ出來
ルカ、出來ナイカト云フコトヲ併セテ御
答願ヒタイ、次ニ拓務大臣ハ、此前モ六十
二臨時議會ニ於テ私が質問シタ時ニ、大ニ
朝鮮ノ文化ヲ向上シナケレバイカヌト云フ
コトヲ言フテ居ラレマシタガ、今日朝鮮ニ於
ケル有ル方面ノ文化——教育デアラウ
ガ、産業デアラウガ、農業デアラウガ、總
テ是等ヲ徹底シニヤテ與レルカ、與レナイ
カト云フコト、ソレカラモウ一ツ拓務大
臣ニ伺ヒタイ事ハ、大體內鮮一家ノ實ヲ舉
ゲルト云フ上ニハ、少シデモ障礙物ガア
テハ、此內鮮一家ト云フコトノ實ハ舉ラナ
イト思フデアリマスカラ、先ヅ下關ト釜
山トニ於ケル關稅ヲ撤廢スルコトガ出來ル
カ出來ナイカ(拍手)是ハ當然朝鮮ハ九州デ
アルトカ、北海道ト同ジヤウニ、日本國內ノ
一部デアアルデアラカラ、關稅制度ヲ置イテ、
所謂金ヲ儲ケルト云フコトハ私ハ好マシク
ナイ事デアルト思フデアリマス(拍手)
此障礙物ガアツテハ、何時迄モオ前ハ朝鮮
人ダ、俺ハ日本人ダト云フ位ノコトハ當
然ダト思フデアリマス、ソレカラモウ
一ツハ、私ハ此間或ル政治家ノ方々ニ
聞キマシタ、オイ朴君、君、自分ハ朝鮮
ノ金百何十圓持テ居ルノダケレドモ、
是ハ内地ニ行テ使フコトガ出來ルカト、
斯ウ云フ、ソレハ釜山デ替ヘナクテハ内地

ヘ行テ使フコトハ出來ナイト申シマス、
ソシテ變ナコトハシナクテモ宜サ、ウナモ
ノダナト言フテ居リマシタ、サウ云フヤウ
ナ日本ノ金ハ世界ニ通テサウシテ朝鮮ニ
行テモ通ル、然ルニ朝鮮ノ札ダケガ内地
ヘ來ルナラバ、下關カ或ハ釜山デ之ヲ取
替ヘナケレバ、内地ヘ行テ通用ガ出來ナイ
ヤウナ不便ナコトニナツテ居ル、サウ云
フヤウナ組織ヲ設ケテ居ルナラバ、何時マ
デモ吾々ハ內鮮一家ノ氣持デ行ケナイト思
フデアリマス、斯ウ云フヤウナ障礙物ヲ
取除カナケレバ、吾々ハイカナイト云フ
デアアル、今日ハ此吾々大日本國民ハ亞細
亞民族ヲ支配シテ行カナクテハナラヌ、日
本國民トシテ私ハ先ヅ考ヘテ見マスルニ、
或ハ米穀統制案ノ如キモ、朝鮮米ガドウ
カ臺灣米ガドウトカ、日本米ガドウトカト
云フヤウナ、其様ナ僅カナコトニ御互ガ感
情的ニナツテ居テハ、當然內鮮一家、即チ
併合シタ氣分ト云フモノハ生レナイト云フ
コトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、デ
アルカラシテ、米穀統制案ノ如キモ、日本
ノ國內ノ朝鮮デアアルカラシテ、何モソナ
コトヲ新ニ改マツテヤラナクテモ宜サ、ウ
ナモノダト思フ、併シハ所謂委員會ニ於
テ段々朝鮮ニ對スル認識ガハツキリシテ、
大分緩メタト云フコトヲ聞キマシタ、朝鮮
ノ方々ニモ非常ニ喜ンデ居テ居ルデアリマ
ス、唯私ハ昨日非常ニ嬉シク感じタノハ、
政友會ノ東武ト云フ方ト私ハ記憶シテ居
リマスガ、此演壇ニ登テ、日本ノ九千萬國民
ガ苦ンデ居ルト云フコトヲ一言聞イタ時、私
ハ非常ニ喜ンデ居テ居ルデアリマス、今迄
ハ日本人ノ九千万人ト云フコトヲ、此演壇
デ言フタ人ハ恐ラクナイト私ハ思フデア
リマス、併シサウ云フヤウナコトデア
リマスカラ、今後此朝鮮統治ト云フコトハ實
ニ重大デアリマス、中々喉元通レバ熱サ忘
レルヤウナ政治デハ、私ハ國家ノ爲ニ不安

ニ堪ヘナイト思フデアリマス、デアアルカ
ラシテ、此滿洲ニ於ケル所謂朝鮮人ノ移民
ト云フコトハ、國家ニ對シテ大切デア
ルガ今後拓務大臣ガ進ンデヤツテ貰フコトガ出
來ルカ出來ナイカ、ソレカラ滿洲國家ニ對
スル所謂朝鮮人ノ役人モ澤山入レテ、サウ
シテ彼ノ土地ヲ開拓シテ行クト云フコトガ、
私ハ必要ト思フデアリマス、此點ニ於キ
マシテ權威アル各大臣ニ御答辯ヲ願ヘルナ
ラバ光榮ニ思フデアリマス(拍手)
(國務大臣男爵山本達雄君登壇)
○國務大臣(男爵山本達雄君) 只今朴春琴
君ノ御質問ニ付テ、內務大臣ノ所管ノ事デ
アリマスガ、是ハ實ハ拓務省ノ所管ニ相成
テ居リマスガ、併シ國務大臣トシテ御答
ラシテモ差支ナイコト、思ヒマス、是マデ
朝鮮人……(參政權ハ拓務省ノ議長)ト呼
フ者アリ(參政權ノ事ニ付キマシテハ、將
來ニ於テハ必ズ御質問ノ如キ參政權ヲ與
ラレルヤウナル時代モ來ルコト、考ヘテ居
リマス、併ナガラ目下ノ所ニ於テ土地、人
情及法律ナドノ點ニ於キマシテ色々違
ル點ガ多イノデゴザイマス、現ニ道制、邑
制、面制ト云フ如キ制度ヲ設ケラレマシ
テ居ルヤウナ次第デアリマスカラシテ、斯
ノ御希望ノ點ニ到ルコト、考ヘマスルガ、
今日ノ狀態ニ於キマシテハ參政權ヲ與
ヘルコトニ付テハ、大ニ考慮スベキ點ト存
ジテ居
リマス、之ヲ以テ御答ト致シマス(拍手)
(國務大臣伯爵內田康哉君登壇)
○國務大臣(伯爵內田康哉君) 只今朴サ
ンヨリ滿洲ニ於ケル朝鮮人ノ事ニ付テ色々御
質問ガアリマシタガ、滿洲ノ狀態ハ洵ニ
錯雜シテ居リマス、制度上ヨリ言ヒマシ
テモ、又地域カラ言フテモ色々アルノデア
リマスカラ、自ラ所管ガ異ナリマシケレ
ドモ、大體ノ御趣意ハ分クヤウデアリマ
スカラシテ、一應私カラ御答ヲ致シマスガ、
尙ホ拓務大臣、陸軍大臣ヨリ其所管ニ付テ

ハ御答ガアルダラウト思ヒマスル、御承知
ノ如ク滿洲ニ於テハ先ヅ第一ニ
我が租借地ガアル、ソレカラ鐵道線路
ニ沿ウテ所謂滿鐵ノ附屬地ガアリマス、又
一種違タ間島ト云フヤウナ特別ナ地域モ
アルノデアリマス、其他是等ノ地域以外ニ
滿洲ノ廣大ナル土地ニ於テ各方面ニ日本人
モ居レバ、朝鮮人モ居ル、日本人ト申ス
ハ語弊ガアリマス、今日デハモウ朝鮮人モ
無論日本人デアアルノデアリマス、サウ云
フ次第デ同ジ日本人、即チ內鮮兩方共ニ、管
轄ヲ異ニシテ居ルヤウナ次第デアリマス
(副議長退席、議長著席)
先刻私が先年滿鐵ニ居タト云フコトカ
ラシテ、滿鐵ノ使用人ノ事ニ付テ、内地人
ト鮮人トノ數ガ違フデヤナイカト云フヤ
ウ御質問ガアリマシタ、是ハ今日私ノ地位
デハ御答スル權限ガナイヤウデアリマス
ケレドモ、折角ノ御質問デアリマスカラ御
答ヲ致シマスガ、數ハ能ク存ジマセスケレ
ドモ、大抵言ハレマシタヤウニ非常ニ差ガ
アリマス、ケレドモ私ハ滿鐵總裁トシテ出來
ルダケ鮮人ヲ使フヤウニスルコトヲ、私ノ下
僚ニ命ジテ居テ居ルデアリマス、又滿鐵トシ
テモ出來ルダケハ朝鮮人ヲ採用シタイト云
フ考ハ、今デモ持ツテ居ルコト、思ヒマ
スケレドモ、是ハ中々實際ノ事ニ立入りマ
スト、希望ハアツテモ其通りニドウモ致
スルコトガアル、事務ノ敏捷等ヨリ、又ハ言
葉ノ關係等ヨリシテ、中々思フヤウニ鮮人
ニ向テ満足ヲ與ヘルコトガ出來兼ネテ居
ルヤウナ狀態デアリマスケレドモ、是ハ出
來得ル限リ多ク、鮮人ヲ使フヤウニシタイ
ト云フ私ハ考フ有テ居ル、又今ノ滿鐵當局
モサウ云フ考デアラウト思ヒマス、私ハ滿
洲ニ於ケル鮮人ノ働キニ對シテハ非常ニ敬
意ヲ表シテ居リマス、先年沿線各地ニ行
テモ、水田ハ殆ド鮮人ノ働キニ依テ出來
テ居
ル次第デアリマス、今日日滿ノ關係ガ改
善
セラレマシタコトヲ考ヘレバ、今後此水田

ノコトヤ何カデ、鮮人ノ發展ト云フモノハ非常ナモノデアラウト思ヒマスカラシテ、ドウシテモ滿洲ニ於ケル鮮人ノ地位ヲ高メ、内鮮人ノ區別ヲ出來得ル限リ撤去シ、五ニ感情ヲ融和セシメテ、同じ日本人デアルト云フ觀念ヲ養成スルコトハ、非常ニ必要ナコト、思フ、サウ云フ次第決シテ繼子扱ヲスルナント云フヤウナ考、即チ人種ノ差別ト云フヤウナ考ハ毛頭アリマセヌカラ、ドウカ鮮人ノ方ニ於テモサウ云フ僻ミノ見方ヲセズ矢張同じ日本人デアルト云フ考デ、五ニ融和ヲ圖ラレンコトヲ、私ハ鮮人出ノ日本人ニモ希望スル次第デアリマスソレカラ今後滿洲ノ役人ニモ鮮人ヲ使テ賞ヒタイト云フヤウナ御希望モアッタヤウデアリマスガ、是モ決シテ今日ハ朝鮮人デアリカラ使ハナイト云フヤウナ意思ハ毛頭アリマセヌ、外務省ノ關係ニ致シマシテモ、成ベク鮮人ヲ採用シタイト云フ考ヲ有テ居ル次第デアリマスケレドモ、先刻申シマシタ通りニ、實際トナッテハマダ中々サウ希望ヲ充ス譯ニ行キマセヌカラ、是モ漸次鮮人ノ方ニ於テ内地人ト共ニヤリ得ルヤウナ學問經驗等ガ出來レバ、其方ニ採用ガ出來ルヤウニナルデアラウト思ヒマス、之ヲ要シマスルニ、御質問ノ趣旨ハ人種差別的ノ繼子扱ヲシテハ困ル、何處マデモ鮮人ヲシテ、殊ニ滿洲ニ於ケルサウ云フ關係ガナイヤウニシタイト云フ御趣旨ニハ、私ハ全然同感デアリマシテ、サウ云フコトカラ、同人種デアルト云フ觀念ヲ抱カシメルヤウニシタイト云フ考ヲ有テ居ル次第デアリマス(拍手)

○國務大臣(荒木貞夫君) 只今朴君ノ御質問ノ朝鮮増設師團ノ問題ハ、一般國防上ノ計畫並ニ局地的ノ事情等ヲ按配斟酌スル必要ガアリマスノデ、之ニ依リ慎重審議ヲ致サナケレバナライノデ、只今ノ所何レナリトモ決定スル域ニ到達致シテ居リマセヌ、其他ノ問題ニ對シテハ畢竟スルニ内鮮兩民

族ノ意識的ノ疎隔ガ尙ホ存在シテ居ル所カラ起ルコト、存ジマスガ、之ニ付キマシテハ既ニ兩朴君ガ貴衆兩院ニ席ヲ置カレテ參政ノ實ヲ擧ゲテ居ラレル、又皇族殿下トシテ李王殿下ヲ上ニ載イテ居リマス、ノミナラズ内鮮合邦ノ其精神ニ顧ミマシテ、茲ニ滿洲ニ在留ノ百萬人鮮人同胞ニ對シテハ、吾人ノ所謂日本人同胞ヨリモ、ヨリ以上ノ力ヲ致シテ、共ニ内鮮合邦ノ精神ヲ發揮シテ居ル、又ソレハ必要デアルト考ヘテ居リマスノデ、今後出來得ル限リ速ニ一苟モ日本ニ生ヲ享ケ國民トナリマシタ以上、吾人ノ祖先モ或ハ朝鮮ノ方モアリ、或ハ支那人ノ方モアルノデアリマスカラ、國民トナリマシテ共ニ茲ニ速ニ一體ニナリマシテ、只今朴君カラ御話ノ如クニ、ドウカ速ニ極東ノ平和及亞細亞民族ノ使命ヲ果スヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、此精神ニ依リマシテ十分御諒承ガ出來ルコト、存ジテ居リマス(拍手)

○國務大臣(永井柳太郎君) 朴君參君ノ私ニ對スル御質問ノ第一ハ、道會ニ關スルコトデアッタト思ヒマス、御承知ノ通りニ數年前朝鮮ノ地方自治確立ニ關シマスル新制令ガ出タノデアリマスガ、其中道制ニ關シモノ、實施ガマダ行ハレテ居ラナイノデゴザイマス、道會ヲ開設致シマシテ道制ヲ實施スルコト云フコトハ、非常ニ必要デアルト存ジマシテ、近ク之ヲ實施スル目的デ、目下其準備ヲ急イデ居ル次第ゴザイマス

第二ハ滿洲ニ在任シテ居ル鮮人ノ保護ニ關スルコトデアリマスガ、滿洲ニ在任シテ居リマスル鮮人ノ保護ニ關シマシテハ、政府ハ全力ヲ盡シテ居ルコト申サデモ差支ナイ程、努力致シテ居ルノデゴザイマス、只今外務大臣モ御話ニナッタンデゴザイマスガ、在滿鮮人ガ不幸ニシテ賊賊ノ爲ニ襲撃サレ、折角勞作シタ其收穫物マデモ失フ、洵ニ悲慘ナ狀態ニアルコトヲ、出來ルダケ

救済致シタイト存ジマシテ、是ガ爲ニハ外務省ノ關係ハ別ト致シマシテ、拓務省關係ダケデモ少カラザル經費ヲ支出致シテ居リマス、現ニ昨年度ニ於キマシテハ、在滿鮮人ノ救済ノ爲ニ約百四十萬圓支出サレテ居タノデアリマスガ、今年度ニ於キマシテハ特ニ警備費並ニ救済費トシテ約八十五萬圓ヲ増額致シマスルノミナラズ、特ニ安全農村ノ計畫ヲ樹テマシテ、滿洲ニ在任シテ居ル朝鮮人ガ匪賊ノ迫害カラ免レテ、安全ニ生活シ得ルヤウニ、特殊ノ農村ヲ建設シタイト云フ計畫ヲ樹テマシタ、其爲ニモ全力ヲ盡シテ居ル次第デアリマス、第三ニハ内地ト朝鮮トノ間ニ於ケル關稅ノ障礙ヲ撤廢シテ、自由ニ交通シ得ルヤウニシナイカト云フ御質問デアリマシタガ、此御趣旨ハ現ニ實行致シテ居ルノデアリマシテ、朴君モ御存ジノ通り、朝鮮カラ内地ニ移入サル、物ハ、何等今日ハ特別ナル稅ヲ課セラレマセヌ、又内地カラ朝鮮ニ移出致シマスル物ニ對シテハ、今日ハ殆ンド特殊ナル課稅ハ大部分撤廢サレマシテ、僅ニ殘テ居リマスモノハ酒ト織物ダケデアリマス、此酒ト織物類ダケハ、一ツハ朝鮮ノ財政上ノ必要ノ爲メ、他ノ一ツハ朝鮮ニ於ケル産業ノ保護ノ意味デ殘テ居ルノデアリマスガ、大體ニ於テ其障礙ハ撤廢サレテ居ルノデアリマス、斯ノ如クニシテ政府ハ内地外地ヲ問ハズ、日本帝國ノ全領域ヲ通ジマシテ、一君萬民ノ大義ガ遺憾ナク徹底スルヤウニ努力致シテ居ルノデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 朴君宜シウゴザイマス

○議長(秋田清君) 朴君宜シウゴザイマス

○宮川一貫君 只今朴君ノ御質問ノ朝鮮増設師團ノ問題ハ、一般國防上ノ計畫並ニ局地的ノ事情等ヲ按配斟酌スル必要ガアリマスノデ、之ニ依リ慎重審議ヲ致サナケレバナライノデ、只今ノ所何レナリトモ決定スル域ニ到達致シテ居リマセヌ、其他ノ問題ニ對シテハ畢竟スルニ内鮮兩民

ノ間ハント欲スル所ヲ御質問致シタイト思フノデアリマス、支那ニ對スル我國ノ對策ト申シマスモノハ、今マデ色々ナル方針ガアッタノデアアルヤウニ思ハレテ居リマシタガ、支那人ガ我が日本國民ヲ排斥スルコト、及ビ支那土匪ガ人類ニ非常ナル災害ヲ與ヘルト云フコト、其ニツノコトハ世界ノ如何ナル國民モ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、我國ノ最モ生命線トセラレテ居リマスル滿蒙ノ天地ニ於キマシテハ滿洲國ガ獨立致シマシテ、我國ハ之ヲ承認致シマシタ、而シテ今日マデ我が日本ガ非常ニ困難ヲ致シテ居ル所ノモノハ何デアルカ、一面ニ於キマシテハ國際聯盟ノ洵ニ認識不正ナル態度デアル(拍手) 一面ニ於キマシテハ滿洲國ニ於ケル土匪ノ非常ナル猖獗ヲ極メテ居ルト云フコトガ、即チ滿洲ノ治安ヲ妨害シ、滿洲ノ通商貿易ヲ妨ゲテ、而シテ滿洲國產業ノ發達ニ非常ナル損害ヲ爲シテ居ルト云フコトハ、吾々ハ洵ニ遺憾ニ思フテ居ルノデアル(拍手) 我國モ滿洲國ノ治安ノ爲ニハ非常ナル多大ノ犧牲ヲ拂ウテ居ル、人命或ハ金錢ニ於ケル大ナル犧牲ニ依ッテ治安ノ維持ニ當ッテ居ラル、ト云フコトハ、吾々國民ト致シマシテハ洵ニ多ト致シテ居ル所デアリマス、今日ハ滿洲國ノ治安ノ維持ノ立ツト云フコトガ先決問題デアル、只今殘テ居ル所ノモノハ、滿洲ノ北部ニ於テハ大部分ノ治安ガ維持セラレテ居ルト云フコトデアリマスガ、南部ニ於ケル山海關地方ニ於ケル治安ト云フモノハ、洵ニマダ危險デアル、私ガ今日陸軍大臣及外務大臣ニ御質問致シタイト思フ所ノモノハ、滿洲治安ノ中デモ山海關、殊ニ熱河、此治安ヲ如何ニシテ維持スルカ、此土匪ヲ如何ニシテ討伐スルカ、而シテ其結果ガ如何ナル結果ヲ生出スモノデアルカト云フコトニ付テノ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス

私ハ一昨年滿洲事變ノ起リマシテ以來、滿洲ニ參リマシタ、我が忠勇武烈

ノ間ハント欲スル所ヲ御質問致シタイト思フノデアリマス、支那ニ對スル我國ノ對策ト申シマスモノハ、今マデ色々ナル方針ガアッタノデアアルヤウニ思ハレテ居リマシタガ、支那人ガ我が日本國民ヲ排斥スルコト、及ビ支那土匪ガ人類ニ非常ナル災害ヲ與ヘルト云フコト、其ニツノコトハ世界ノ如何ナル國民モ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、我國ノ最モ生命線トセラレテ居リマスル滿蒙ノ天地ニ於キマシテハ滿洲國ガ獨立致シマシテ、我國ハ之ヲ承認致シマシタ、而シテ今日マデ我が日本ガ非常ニ困難ヲ致シテ居ル所ノモノハ何デアルカ、一面ニ於キマシテハ國際聯盟ノ洵ニ認識不正ナル態度デアル(拍手) 一面ニ於キマシテハ滿洲國ニ於ケル土匪ノ非常ナル猖獗ヲ極メテ居ルト云フコトガ、即チ滿洲ノ治安ヲ妨害シ、滿洲ノ通商貿易ヲ妨ゲテ、而シテ滿洲國產業ノ發達ニ非常ナル損害ヲ爲シテ居ルト云フコトハ、吾々ハ洵ニ遺憾ニ思フテ居ルノデアル(拍手) 我國モ滿洲國ノ治安ノ爲ニハ非常ナル多大ノ犧牲ヲ拂ウテ居ル、人命或ハ金錢ニ於ケル大ナル犧牲ニ依ッテ治安ノ維持ニ當ッテ居ラル、ト云フコトハ、吾々國民ト致シマシテハ洵ニ多ト致シテ居ル所デアリマス、今日ハ滿洲國ノ治安ノ維持ノ立ツト云フコトガ先決問題デアル、只今殘テ居ル所ノモノハ、滿洲ノ北部ニ於テハ大部分ノ治安ガ維持セラレテ居ルト云フコトデアリマスガ、南部ニ於ケル山海關地方ニ於ケル治安ト云フモノハ、洵ニマダ危險デアル、私ガ今日陸軍大臣及外務大臣ニ御質問致シタイト思フ所ノモノハ、滿洲治安ノ中デモ山海關、殊ニ熱河、此治安ヲ如何ニシテ維持スルカ、此土匪ヲ如何ニシテ討伐スルカ、而シテ其結果ガ如何ナル結果ヲ生出スモノデアルカト云フコトニ付テノ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス

私ハ一昨年滿洲事變ノ起リマシテ以來、滿洲ニ參リマシタ、我が忠勇武烈

ナル軍人ガ、アノ非常ナル、悲慘ナル奮闘ヲ致シテ居ラル、ノヲ目撃シテ、私ハ涙ナキ能ハザル一人デアッタノデアリマス、而シテ我が日本ノ政府ノ方針ノ誤リタマシ、我が軍隊ニ非常ナル損害ガ來テ居リマス、例ヘバ事件擴大セズト云ウテ幣原外務大臣ガ聯盟ニ電報ヲ打タレタ、其擴大セズト云フコトニコダハッテ、哈爾濱ニ於ケル我が同胞ガ非常ナル慘殺ヲセラレテ居ルデアリマス、何故ニ初メ哈爾濱マデ突進シテ行カナカッタノデアルカ、事件擴大ト云フコトガ非常ニ必要デアッタ、ソレヲ誤テ擴大セザルコトニ依リ、哈爾濱ノ我が同胞ハ非常ナル悲慘ナル状態ト相成ッタノデアリマス、又皆様ノ御存ジノ如キ嫩江ノ戰ノ如キモサウデアアル、私が丁度嫩江ニ參リマシタ時ニハ、二箇聯隊ノ兵ガ突進セラレテ居リマシタガ、日本ノ政府ノ命令ニ依ッテ、突進ヲ中止シテ四平街マデ後戻ッテ來タノデアリマス、ソレカラ一週間ノ後ニ又再ビ進撃セヨト云フコトデ、二箇聯隊ノ兵ガ進撃シマシタ、所ガ其一週間ノ餘日ノ間ニ馬占山ハ磐據ヲ築イテ戰ノ準備ヲシタ爲ニ、我が忠勇ナル軍隊ハ、二箇中隊殆ド全滅シタデアリマセヌカ、斯ノ如クニシテ事件ヲ擴大セズト云フヤウナ、我國ノ政策ヲ束縛スルヤウナ命令ヲ發セラレルト云フコトガ、日本ノ今日マデノ非常ナ不利益ヲ來シタル原因デアルト私ハ確ク信ジテ居ル、又張學良ガ錦州ニ數万ノ兵ヲ擁シテ、學良ノ政府ヲ拵ヘタコトガアリマシタガ、其時ニ日本ハドウシテモ滿洲ノ治安ヲ維持スルニハ、張學良ノ政府ヲ撃タナケレバナラヌト云フコトガ日本ノ主張デアッタ、然ルニ拘ラズ十一月二十三日ニ私が奉天ヲ出發致シテ來マス時ニ、日本ノ裝甲列車ガ南方ニ參リマシタ、其時ニ英國ノ公使トシテ、明日上海ニ上陸セントシテ居ル「ラムプソン」ガ、日本ノ裝甲列車ガ南方ニ參ルト云フコトハ、日本ハ錦州ヲ攻撃スル

意思アリト云フコトヲ張學良ニ通ジタ、而シテ其事ヲ又亞米利加國務長官「スチムソン」ノ耳ニ電報ヲ以テ入レタノデアリマス「スチムソン」ハ其翌日ノ二十四日ニ電報ヲ以テ、其當時ノ亞米利加大使「フォークス」氏ニ電報ヲ打ッテ、日本ハ錦州ヲ撃ツ意思アリヤ否ヤト云フコトヲ問ハシメタノデアアル、幣原外務大臣ハ其時ニ明ニ其意思ナシト云フコトヲ言ハレタ、而モ軍隊ハ二十七日マデ南方ニ進ンダノデ、亞米利加ノ「スチムソン」國務長官ハ忽チニシテ其事ヲ知ッテ、サウシテ我が日本ニ對シテ聲明書ヲ發表シタ、日本ハ錦州ヲ撃ツ意思アリ、世界ノ力ニ依ッテ之ヲ抑ヘナケレバナラヌト云フヤウナ、寔ニ不都合ナル聲明ヲ發シタコトハ皆様御存ジノ通りデアアルデアリマス又山海關ノ事件ガ起ッタノハ本年ノ一月一日デアアル、一月一日ノ午後九時ニ手榴彈ヲ投ジタト云フコトガ初メトナリマシテ、其翌日ノ午前十一時ニ日支兩軍ガ衝突致シテ居リマス、抑、北清事變ノ時ノ議定書ト云フモノハ、明ニ今日マデ殘ッテ居ルデアリマス、ソレニ依レバ、支那ノ軍隊ハ北京ヨリ山海關マデハ、其鐵道ノ沿線ニ駐屯スルコトハ出來ヌト云フコトガ、ハッキリ議定書ニ殘ッテ居リマス、ソレニ拘ラズ支那ノ軍隊ガ居ル、支那ノ軍隊ガ山海關ニ屯シテ居ルデアアル、即チ國際德義ヲ蹂躪致シテ居ルト云フコトヲ斷言致シテモ憚ラヌノデアアル、其支那ノ兵ト日本ノ兵トノ衝突デアアル、而モ支那ノ兵ガ手榴彈ヲ投ゲ、發砲致シテ居ルト云フヤウナ、不都合ナ行動ヲ執ッテ居ルト云フコトヲ知ル時ニナリマス、我が日本ノ軍隊ノ行動ハ、明ナル是ハ正義ノ觀念ニ依ッテ動イテ居ルモノト言ハザルヲ得ナイノデアアル、而モ又張學良ノ兵ガ山海關ヲ越エテ熱河ニ侵入致シテ居ルト云フコトノ事實ハ、即チ外務省及陸軍省モ發表セラレテ居ル、サウ致シマスナラバ我が日本ガ明ニ承認シテ滿洲國ノ獨立ヲ是

認シテ居ル其國家ノ領土ノ内ニ、外國ノ軍隊ガ侵入スル時ニナッテ來マスナラバ、是ハ即チ領土權ノ侵害デアルト言ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)若シ之ヲ此儘ト致シテ置キマスナラバ、昨日及一昨日ノ如キハ、錦州ニ所謂土匪ガ、張學良ノ正規兵ガ襲ウテ來テ居ルデアアル、其外熱河ノ地方ニハ相當ノ軍隊ガ居ルデアリマス、熱河ハ洶ニ廣漠タル平野デアッテ、如何ニ自動車ヲ走ラセモ、中々討伐ガシ難イト私ハ思ヒマス、斯ノ如キ状態デアラナラバ、今後又繼續致シマシテ、學良ノ正規軍ガ熱河ヲ襲フ時ニナリマシテ、是カラ後ニ多大ノ費用ト、非常ナル尊イ犠牲ヲ拂ウテ、我國ガ熱河ヲ討伐スルト云フナラバ、ソレヨリモ寧ロ百尺竿頭ニ一歩ヲ進メテ、其根源デアアル所ノ北京ヲ圍イテ、張學良ノ死命ヲ制シ、我が日本ガ日支直接交渉ニ當ッタナラバ、私ハ完全ナル日支直接交渉ガ出來ルト確言シテ憚ラヌノデアアル(拍手)國際……

(發言スル者アリ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○宮川一貫君(續) 國際聯盟ハ洵ニ日本ニ對スルノ認識不足デアアル、國際聯盟ノ成立致シマシタ時ニハ、所謂歐洲大戰後ノ其現狀ニ止メテ、此儘ニ形勢ヲ止メテ行キタイ、所謂現狀維持デ行キタイト云フ所ノ大國ノ考ノ結果、國際聯盟ノ規約ガ出來タノデアリマス、其時ノ「ロイド・ジョージ」モ、或ハ「クレマンソー」モ、即チ戰後氣分ニ酔ウテ作ッタ所ノモノガ此國際聯盟デアリマス、ソレカラ後ニ我が日本ハ非常ナル努力ヲ致シテ居リマス、諸君モ外國ニ行カレタ方ハ御存ジデアリマセウ、英國ノ上院ニハ、佛蘭西ノ軍隊ヲ打破ッタ所ノ陸海軍ノ額ガ懸ッテ居ル、斯ノ如クシテ英佛ハ聯合シテ居ルデアリマス、我が日本ノ杉村君ノ如キハ、國際聯盟ノ中心ニ居リマシテ非常ナル斡旋ヲシテ、サウシテ國際聯盟ヲシテ世界正義ヲ實行スルコトニ努力奮闘致シテ居ルノデアル、我が日本ノ爲メノミナラズ、世界ノ爲ニ奮闘致シテ居ルノデアアル、斯ノ如ク奮闘致シテ居ル所ノ日本ニ對シテ、國際聯盟ノ態度ハドウデアアル、洵ニ驚クベキ認識不足デアアルデアリマス、其國際聯盟ガ今日マデ爲シタ所ノ行動ハドウデアアル、國際聯盟ガ今日マデ爲シタ世界ノ戰爭ニ對スル所ノ行動ハドウデアアル、皆サソノ御存ジノ如ク、希臘ノ「ゴルフ」島ヲ伊太利ノ軍隊ガ占領シタ時ニ、國際聯盟ノ問題ト相成リマシタ、所ガ其時ニハ國際聯盟ノ連中ハ、ドウモ伊太利ノ強イ意見ニ惑ハサレテ、到頭理事會ニモ其事ヲ持出サナイデ伊太利ノ勝手ナ侵略ノ行動ヲ是認シタノデアリマス、又佛蘭西ト獨逸ガ争フテ獨逸ガ賠償金ヲ拂ハナカッタ時ニ、佛蘭西ハ斷乎トシテ「ルール」河畔ヲ占領シタ、其時ニ國際聯盟ニ持出シマシタ所ガ、國際聯盟ハ之ヲ取上グル能ハズシテ、到頭其儘ニナッテ居リマス、亞細亞ニ於テモ其通りデアアル、英貨排斥ヲ支那ガシタ時ニモ、國際聯盟ニ持ッテ行ッタ所ガ、國際聯盟ハ之ヲ受付ケズシテ、英國ト支那トノ直接ノ交渉トナッテ、事ガ收ッテ居ルニ拘ラズ、國際聯盟ニ何等ノ利益ヲ得ル能ハズシテ、今日マデ奮闘努力シテ居ル我が日本ノ滿洲國ノ獨立ニ對スル其行動ニ向ッテ、國際聯盟理事會ニ引出シ、委員會ニ引出シ、到頭總會ニ引出シテ、サウシテ聯盟規約第十五條ノ規定ヲ常嵌メテ、日本ハ非常ニ罪惡ノ國デアアル、非常ニ國際德義ヲ蹂躪シタ國デアルト云フヤウナコトデ、將ニ警告セントスル状態ヲ私考ヘルト時ニ、國際聯盟ノ存在其モノハ、我が日本ノ爲ニハ非常ニ不利ナル立場ニナッテ居ルト私ハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス(其通り)ト呼ブ者アリ)斯ル状態デアッテ、他ノ國ガ「國際聯盟」大キナ國ガ侵略ノ行動ヲ取ッテモ宜イ、我が日本ハ之ヲ爲スコトガ出來ヌト云フコトハ、更ニ私ハナイト思フノデアリマスカラ、若シ此後引續イテ山海

關地方ニ於テ、サウ云フ風ニ日本ノ軍隊ニ對シ、日本ノ居留民ニ對シ、色々ノ亂暴狼籍ガアツタナラバ、我が日本ハ、軍部及外務省モ協力一致シテ、其根幹ヲ衝イテ、而シテ日支交渉ノ任ニ當ラレタナラバドウデアラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、外務大臣及陸軍大臣ノ御考ヲ私ハ承テ見タイト思フデアリマス

又私ハ滿洲國ノ今日ノ實情及將來ニ付テ、私ノ考ヘテ居ルコトヲ滿洲國ガ實行シ得ルヤ否ヤ、此事ニ付テ御尋致タイト思フノデアリマス、滿洲國ノ治安ノ維持ト云フモノハ、大分出來テ居ルト云フ話デアルノデアリマス、治安維持ノ出來ルト云フコトハ、滿洲國ノ國民ノ生命財産ノ安固、通商貿易ノ保障ト云フモノガ、之ニ依テ得ラレルモノデアリマス、滿洲國發達ノ前提ト致シマシテ、治安ノ維持ガ最モ大切ナモノデアルト云フコトハ言フヲ俟タナイノデアリマス、而シテ滿洲國ノ現在ノ狀態ハ、滿洲國ニ於ケル所ノ色々ナル物資、原料ヲ取ルコトガ第一デアアル、此原料ヲ取ツタ後ハ、此原料ニ依テ、生産品ヲ造ルト云フコトガ第二デアアルト思フデアリマス、今日ハ其生産品ヲ造ル點ニ於テハ、或ル所マデ進シテ居ルト云フ話デアルノデアリマス、而シテ私ハ第三ニ滿洲國ヲ守立テ、最モ完全ニセシメルニハ、滿洲國ニ於ケル生産品ヲ如何ニ處分スルカト云フコトガ重大ナル問題デアアルト私ハ思フデアリマス、今日世界ノ狀態カラ申シテモ生産過多ニ依テ各國ハ苦ンデ居ルノデアリマス、世界ノ不景氣ノ根幹デアアル所ノ歐羅巴ノ不景氣モ所謂生産過多デアアル、生産過多ノ爲ニ、或ハ英國ハ二百万、或ハ獨逸ハ三百万ノ失業業者ガアルノデアリマス、生産過多ト云フモノハ、吾等ノ生存ニ非常ナル脅威ヲ與ヘルモノデアルト云フコトハ疑ヲ容レヌノデアリマス、滿洲國ガ如何ナル品物ヲ生産致シマシテモ、之ヲ消化シ、其品物ヲ購買スル所ノ力

ノ何レニアルカト云フコトヲ見出サヌ時ニナリマス、滿洲國ノ前途ハ洵ニ危イモノデアルト私ハ言ハザルヲ得ヌノデアリマス、今ヤ日本ハ滿洲國ノ木材ニ依テ非常ナ禍ヲサレテ居ル、又滿洲國ノ石炭ニ依テ、我國ノ石炭業者ガ非常ナル脅威ヲ感ジテ居ル、滿洲國ノ鐵ニ依テ同ジク脅威ヲ感ジテ居ルノデアリマス、滿洲國ニ澤山ナ品物ノ出來テ來ルコトハ、日滿經濟統制ヨリ申シマスルト、洵ニ結構ノヤウデアリマスガ、兩方ニ競争ヲ感ジマシテ、遂ニ關稅政策ヲ以テ滿洲ノ品物ヲ拒絕シナケレバナラスト云フヤウナ狀態ニ立至ルノデアリマスカラ、滿洲國ノ生産品ヲ如何ナル所ニ之ヲ捌カト云フコトハ、我が日本ノ執ルベキ最モ重大ナル問題、現在ニ於ケル重大ナル政策デハナイカト思フデアリマス、

比律賓ノ獨立ニ對シテモ、亞細亞ノコトハ亞細亞ニ解決セヨト言フデ、亞米利加ハ比律賓ヲ獨立サシタヤウニ世間ハ言ウテ居ルガ、比律賓ノ獨立ニ對シテ、比律賓ノ議會ニ於テハ反對ヲ致シタノデアアル、何故反對スルカ、比律賓ト云フ國ハ亞米利加トノ間ニ自由貿易ヲ致シテ居、タノデアリマス、比律賓ノ砂糖、比律賓ノ麻比律賓ノ油ト云フモノハ、亞米利加ニハ無稅デ入、テ居、タ、此亞米利加ニ無稅デ入、タコトガ、亞米利加ハ非常ナル苦痛ヲ感ジタノデアリマス、又比律賓人ガ、彼ノ忍耐力ノ強イ、勞働力ノアル所ノ比律賓人ガ亞米利加ニ勞働ノ爲メ盛ニ入込ムコトガ、亞米利加人ハ非常ナル脅威ヲ感ジテ居、タノデアリマス、是ニ於テ亞米利加ハ比律賓ノ生産物亞米利加ニ輸出セナイヤウニ、關稅ヲ課ケテ之ヲ止メナケレバナラヌト云フ政策、亞米利加人ガ豫メテ思ウテ居、タノガ、今回ノ獨立ヲ許シタ所ノ重大ナル原因デアアルノデアリマス、比律賓人ハ自己ノ拵ヘタ砂糖、自己ノ拵ヘタ所ノ麻、之ヲ無稅デ亞米利加ニ入レルコトガ出來ナカッタナラバ、比律賓ノ

生産事業、將來ノ比律賓人ノ生活狀態ニ非常ナル脅威ヲ與ヘルト云フコトハ明ナル事實デアアルガ爲ニ、比律賓ノ議會ハ之ニ反對ヲ致シテ居ル形ガ見エルノデアリマス、其比律賓ノ生産物ノ所謂生産過多、是ハ亞細亞ニ明ニ殘サレテ居ルノデアリマス、滿洲ニ於ケル生産物ガ生産過多ニナリマスナラバ、是亦亞細亞ニ生産物ガ殘サレテ居ルノデアリマス、私ハ世界ノ大勢カラ申シマシテ、亞米利加ニハ一ツノ亞米利加經濟ノ統制ト云フモノガアルト思フデアリマス、又歐羅巴歐羅巴ニハ經濟ノ統制ト云フモノガアルノデアリマス、我が亞細亞ニハ明ニ我が日本ヲ中心ト致シテ居ル所ノ、亞細亞經濟ノ統制ヲ保ツ上カラ申シマスナラバ、比律賓ノ生産物、或ハ我が日本ノ生産物、或ハ印度三億ノ人々ニ平等ニ之ヲ配布シテ、其人々ノ購買力ヲ益、旺盛ニスルコト云フコトガ、日本ノ採ルベキ所ノ大ナル經濟政策デハナイカト思フデアリマス

斯ノ如ク觀スル時ニナリマス、滿洲ニ於ケル生産物ノ過多ト云フコトハ、非常ナル脅威ヲ感ズル、是ニ於テ露西亞ノ國境、所謂西伯利、或ハ外蒙古、其邊ノ國境ニ於ケル所ノ人々ハ、如何ナル今日狀態デアアルカ、露西亞ノ勢力ガ殆ド其人々ニ及ンデ居ル、露西亞ガ今日共產主義ヲ唱ヘテ居、私ハ有財產ヲ許サナイ、而シテ消費打切ト云フ明ナル札ヲ建テ、居ルノデアリマス、我が亞細亞ニ於ケル西伯利ノ政策ハ消費打切デアアルノデアリマス、又外蒙古ノ政策モ消費打切デアアルノデアリマス、我が日本及滿洲國ハ如何ニシテ消費ヲ盛ニスルカト云フ所、反對ノ政策ヲ有シテ居ルノデアリマス、此點ニ相成リマス、我が日本及滿洲國ハ協力シテ西伯利ニ於ケル、或ハ外蒙古ニ於ケル、或ハ北部支那ニ於ケル所ノ購買力ノ旺盛ニナルヤウニ努力シナケレバナラヌノデアリマス、奈何セン露西亞ノ

勢力ノ入、テ居ル間ハ、此購買力ヲ旺盛ニシテ、消費ノ力ヲ盛ニスルコト云フコトハ、洵ニ困難ナル狀態デアアルノデアリマスカラ、斯ノ如キ意味ニ於テ私ハ露西亞ノ政策ヲ我が日本ノ政策トガ、正反對ノ經濟政策ヲ有シテ居ル點ニ於キマシテモ、日露ノ關係ハ餘程考慮シナケレバナラヌ問題デハナイカト思フデアリマス、斯ノ如ク考ヘマシル時ニハ、日露不侵略條約、之ニ對シマシテモ相當我が日本ハ考慮シナケレバナラヌ、又明ニ日本國民ヲシテ斯ノ如キモノデアルト云フコトヲ、理解セシメナケレバナラヌ所ノ絕對ノ責任ガアルト、私ハ言ハザルヲ得ナイト思フデアリマス、私ガ總理大臣ニ問ハントスル所ハ、即チ滿洲ニ於ケル今日ノ狀態、滿洲ニ於ケル生産品ノ捌カセ場所、又亞細亞ニ於ケル所ノ我が日本ノ經濟統制、之ヲ如何ニシタナラバ此事ガ貫徹セラル、カト云フコトニ付テ、明快ナル御答ヲシテ戴キタイト思フデアリマス

山海關ニ於ケル所ノ私ノ質問ハ、是ハ外務大臣ハ政策上ヨリ申シマシテ、又陸軍大臣ハ軍事上ヨリ申シマシテ、此後尙且ツ斯ノ如キ騒動ガ續クナラバ、我が日本ハ斷乎トシテ北京マデ乘出シテ其根幹ヲ衝イテ、而シテ今ヤ將ニ明日上海ニ上陸スル——國際聯盟ノ使命ヲ帶ビテ來テ居ルカ否カ知リマセヌガ、英國ノ「ラムプソン」ノ如キハ、實ニ亂暴狼藉デアアル、張學良ト話合フシマシテ、我が日本ノ滿蒙ニ於ケル經營上ニ非常ナ障害ヲ與ヘタ「ラムプソン」及ビ佛蘭西ノ「ウキルデン」或ハ伊太利ノ「チアノ」其他亞米利加ノ「ジョンソン」ノ如キ人々ガ、皆北京ニ居ルノデアリマシテ、其人々ト協力致シマシテ我が日本ノ日支交渉ニ付テ、或ハ如何ナル妨害ヲ與ヘルカ、或ハ如何ナル其處ニ障壁ヲ設ケルカ、洵ニ困難ナ日支直接ノ交渉ガ目前ニ展開セラレントシテ居ルノデアリマスカラ、之ニ付テ外務大臣ハ如何ナル對策ガアルノデアアルカ、如何ナル方

針ヲ以テ此「ラムブソン」ヲ中心トセル所ノ
外交團ニ向テ當ラントセラル、ノデア
カ、斯ノ如キコトニ付テ簡單デ宜シウゴザ
イマスカラ、成ベク親切丁寧ニ御答辯ヲ願
ヒタイト思フノデアリマス（拍手）

（國務大臣子爵齋藤實君登壇）

○國務大臣（子爵齋藤實君） 滿洲ノ生産物
ニ付キマシテハ、滿洲國家ガ第一ニ考ヘナ
ケレバナラヌ問題デアリマスガ、我國ニ於
キマシテ只今政府ニ於テモ出來得ル限り援
助ヲ與ヘ、是ガ共存共榮ノ實ヲ擧ゲタイ
思ヒマシテ、ソレノ調査中デアリマス、
今茲ニ細カニ申上ゲル時機ニハマダ到達致
シテ居リマセヌガ、調査ノ濟ミ次第之ヲ明
ニスルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス次第
デアリマス

（國務大臣伯爵內田康哉君登壇）

○國務大臣（伯爵內田康哉君） 只今宮川君
ヨリ續々御話ガアリマシタガ、其御議論ナ
リ、御希望ナリノ點ハ私傾聴致シテ置キ
マスガ、御質問ノ點ガ甚ダハハキリ私ニ
ハ了解シ難ネマスカラ、或ハ是ヨリ御答ス
ルコトガ御質問ニピッタリ合ハヌカモ知レ
マセヌガ、其點ハドウカ御容赦ヲ願フテ
置キマス第一ニ滿洲ノ治安ノコトニ付テ
御質問デアリマシタガ、北方ノ方ハ治安ガ
維持サレタガ、山海關及錦州方面ニ於テ
甚ダ不安デアルト云フ御話ノヤウニ聽
取リマシタ、是ハ御説ノ通り北方ニ於
テハ色々馬占山初メ各團體ガアッテ、抗日
態度ヲ執リマシタケレドモ、是ハ殆ド今日
ニ於テハ掃蕩サレタ、一番最後ニハ蘇炳文
ガ長ク頑張リテ居リマシタケレドモ、是モ露
領ニ入リテシマッテ、先ヅ北方ノ方ハ安定シ
タト云フテモ差支アリマセヌ、唯錦州方面
ニ於テハ、學良側ニ於テ寧ろアノ方面ヲ
抗日ノ根據地トシテ居ルヤウナ嫌ガアルノ
デアリマスガ、此事ニ付テハ私ノ演説ニモ
申シマシタ通り、我方ニ於テハ十分ノ警告
ヲ先方ニ與ヘテ居リマス、此以上ニ錦州方面

ヲ攪亂シ、延イテ滿洲全體ニ其影響ヲ及ボ
スコトガアッテハ、其責任ハ支那側ニアリ
ト云フコトヲ屢々警告ヲ致シテ居ルヤウナ
次第デアリマス、又熱河省ニ支那側ノ兵ガ
入リテ居ルコトモ事實デアリマスケレドモ、
是ハ先方デハ滿洲自身ガ支那ノ領土デアリ、
熱河省ハ無論支那領デアルト云フ見地カラ
兵ヲ進メテ居ルノデス、是ガ所謂爭ノ我方
ト起リテ居ル譯デアッテ、事柄ノ發展ニ依
テハ如何ナル事態ニナラナイトモ限ラナイ
ノデアリマス、山海關方面ニ於キマシテハ、
先日不幸ニシテ支那兵ガ爆彈ヲ投ジタコト
ヨリシテ、一時兩軍ノ間ニ戰ヲ起シマシタ
ケレドモ、是ハ今日ハ平定致シテ居リマス、
山海關方面ノコトハ、地方的事件トシテ解
決スルコトニ進ミツ、アルノデアリマスカ
ラ、今日ニ於テハ左程此方面ノ治安ハ心配
スルニ及バナイコト、思ヒマス

ソレカラ聯盟ノコトニ付テ色々御批評ノ
御言葉ガアリマシタガ、聯盟ハ歐洲大戰ノ
結果我國モ十分ノ贊意ヲ表シテ參加シ、今
日マデ出來得ル限りノ努力ヲシテ居ル、洵
ニ世界平和ノ爲ニ重寶デアリマス故ニ、今
日聯盟ニ對シテ彼此レノ苦情ヲ持ツ考ハア
リマセヌガ唯此滿洲事件ニ付テ不幸ニシテ
見解ヲ異ニシ、我方ニ於テハ聯盟ノ認識ノ不
十分ヲ難ジテ居ル次第デアリマス、是ハ目下
「ジュネーヴ」ニ於テ交渉商議ヲシテ居ル次第
デアリマスカラ、是レ以上ニ私ハ述べマセヌ
ソレカラ尙ホ露西亞トノ不侵略條約ノコ
トニ付テ、御質問モアッタヤウデアリマ
スガ、御質問ノ御趣旨モ分リマセズ、此
事ニ付キマシテハ既ニ私ハ御答ヲ盡シテ
居ルコト、思ヒマスカラ論及致シマセヌ、
更ニ私ノ前任者ノ執リテ外交態度ナリ、或ハ
外國使臣「ラムブソン」公使ノ言動ヲ引證サ
レテ、彼此レノ御質問ガアリマシタケレド
モ、是等ニ付テハ私ノ位置トシテ、御答ヲ
スル限りデナイト思ヒマスカラ、左様御承
知ヲ願ヒタイ

（國務大臣荒木貞夫君登壇）

○國務大臣（荒木貞夫君） 只今宮川君ノ御
質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、滿洲ノ治安
問題ニ關シテ、殊ニ熱河ノ問題ニ付キマシ
テハ、是ハ滿洲國內ノ問題トシマシテ、御
説ノ通りニ日滿議定書ニ基イテ、是ガ治安
ノ回復ノ爲ニハ計畫モ立テ、居リマスルシ、
之ニ對スル實行方法モ研究ヲサレテ居リ
マス、唯是ハ滿洲國內ノ問題ト致シマシテ、
滿洲國內ノ治安維持ノ爲ニミ行動致スコ
トニナッテ居リマス、唯此行動ノ時期或ニ
方法ニ付キマシテハ、軍ノ行動ニ關シマス
ノデ、此處デ御答ヲ差控ヘキ置キタイト思
ヒマス

ソレカラ山海關問題ハ只今外務大臣カラ
御説明ガアリマシタ如クニ、地方的問題ト
致シマシテ、是ハ支那駐屯軍方面ニ於テ善
處セシムルコトニ致シテ居リマス、固ヨリ
山海關方面竝ニ張學良ノ問題ニ付キマシテ
ハ、只今モ御述ニナツタ通り、滿洲問題解
決ニ付テ重要ナル意義ヲ有シテ居ルノデア
リマスガ、尙ホ一般國際關係竝ニ對支那ノ
問題トシマシテ、極メテ重要性ヲ持ツテ居
リマスルノデ、此點ニ付キマシテハ、只今
ノ所山海關方面ノ問題ハ、地方的問題ト
シテ解決致スコトニシテ處理致シ
テ居リマス、併ナガラ若シ張學良
ニシテ反省セズ、尙ホ支那方面ノ
總テガ更ニ事件ヲ好シデ擴大ヲシ、日本ニ
對シテ行動ヲ執ルヤウナコトガアリマシタ
ナラバ、之ニ對スル用意ハ十分ニ致シテ居
リマスルガ、事日支ノ全面的問題ニナリマ
スルノデ、國策ノ嚮フ所ヲ定メマシテ、ソ
レニ對スル方策ニ隨ヒマシテ十分處置ヲ致
シタイト考ヘテ居リマス

（宮川一貫君登壇）

○宮川一貫君 只今總理大臣ノ御答辯ヲ承
リマシタ所、私ガ亞細亞政策ニ付テ如何ナ
ル御方針ヲ御執リニナルノデアルカ、亞細
亞經濟ノ協調、統制ト云フモノガ、吾々ノ

子孫ヲシテ將來幸福ニ生存セシムル所以デ
ナイカ、此方針ヲ御尋致シタ所、是カラ考
ヘナケレバナラヌト云フヤウナ、其方針ニ
付テ一國ノ總理大臣ガ私ノ質問ニ依テ、今
カラ考ヘナケレバナラヌト云フヤウナ怠慢
ナコトデハ、私ハ天下ノ政治ハ爲セヌト思
フノデアリマス、私ノ質問ノ趣旨ハ其方針
ヲ聽イタノデアリマス、私ハ不満足デア
ルト云フコトヲ申上ゲマス

外務大臣ニ對シテノ私ノ質問ハ、假定
的ノ質問デアッタノデアリマス、若シ今カラ
先キ尙且ツ山海關及熱河ニ於テ、外國ノ土地
ニ侵略ヲスルヤウナ行動ヲ執ル者ガアルナ
ラバ、其時ニハ外交ノ政策ト致シマシテ
モ、又ハ軍事行動ト致シマシテモ、北京マ
デ長驅シテ學良ノ死命ヲ制シテ、日支ノ交
渉ヲ始ムルノガ宜イノヂヤナイカト云フヤ
ウナ、假定的ノ御話ヲ致シタノデアリマス、
是ハ私ハ洵ニ大切ナル問題デアル、最モ必
要ナル問題デアル、滿洲國ノ將來ヲ考ヘル
點ニ於キマシテハ、最モ重要性ヲ帶ビテ居
ル問題デアルノデアル、假令ソレガ假定デ
アラウト何デアラウト、重要性ヲ帶ビテ居
ルノデアル、苟モ今日、日本ガ中心ト相成
リマシテ、亞細亞ニ於テ其統制ヲ保持シ
スルコトニナリマス、此事ヲ實行シナケ
レバ滿洲ノ治安ハ保タレマセヌ、滿洲ノ治
安ガ保タレマセヌト、滿洲ノ産業ノ發達、
將來ノ勃興ト云フコトハ期スルコトガ出來
ナイト云フコトハ明ナル事實デアル、之ニ
對シマシテ外交ノ政策トシテ、外務大臣ハ
假定ノ私ノ質問デアリマシタカラ、其要點
ヲ擧ミ得ラレナカッタノデ、私ノ満足スル
答辯ヲサレナカッタコトヲ私ハ遺憾ト思フ
ノデアリマス

陸軍大臣ハ私ノ假定ノ質問ニ對シマシテ
モ、尙且ツ熱河ノ情勢カラ御話サレマシテ、
愈、斯ノ如キ橫暴ナル行動ヲ執ルナラバト
云フ所ノ假定ノ狀態ニ於キマシテ、明ナル
我國ノ國策ヲ吾々ニ示シテ戴イタコトヲ私

ハ感謝スルノデアリマス、私ハ是デ質問ヲ打切リマス(拍手)

○議長(秋田清君) 池田秀雄君

(池田秀雄君登壇)

○池田秀雄君 昨ハ農村問題ニ關スル根幹ト信ジマス事ニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、今日農村問題ノ焦眉ノ問題ハ、言フ迄モナク負債ノ問題ト、ソレカラ米穀ノ二大問題デアルト信ズルノデゴザイマス、併シ此問題ニ付キマシテハ朝野ヲ擧ゲテ此事ニ苦心シ、又政府ニ於カレマシテモ近ク提案サレト云フヤウニ承テ居リマス、ソレデ私ハ此問題ニ付テハ之ヲ質問スルコトヲ避ケタイト思ヒマス、併ナガラ私ハ此機會ニ於テ米穀統制問題ニ付キマシテハ、米價基準ノ問題並ニ季節買上ノ問題等ニ付キマシテハ、吾々ハ大ナル疑問ヲ抱イテ居ルコトデアリマス、又年來是ハ研究ヲ致シテ居ルコトデアリマス、又年來マシガ、此點ニ付キマシテハ論及スルコトヲ避ケマス、尙又負債整理ノ金額等モ、新聞等ニ依テ承リマスレバ、不満足ノ點モアリマスケレドモ、是亦政府ノ御提案ヲ俟テ御質問ヲ試ミタイト思フノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、今日ハ農村振興ニ關スル基本ノ問題ト考ヘマスコトニ付キマシテ、二三ノコトヲ簡單ニ質問シテ見タイト思フノデゴザイマス、私ハ年來考ヘテ居リマスルガ、政府ノ産業ニ關スル豫算ハ何レニ重點ヲ置イテアルカ、亂々雜々トシテ私ハ其重點ヲ發見スルニ苦シムヤウニ思ヒマス、苟モ政策ヲ樹テマスル以上ハ、ドウシテモ其根幹ヲ定メ、其重點ト認ムル所ニ主力ヲ注イデ、サウシテ其事項ヲ擧グベキモノデハナイカト考ヘテ居リマス、例ヘバ今回ノ豫算ヲ拜見致シテモ、經濟更生部ノ豫算ノ如キ、三百万圓ノ少額ヲ以テ數多イ目ヲ列舉シテアリマスルガ、其目ヲ拜見致シマスレバ、何レモ結構ナル目デハゴザイマスルケレドモ、併ナガラ

ラ斯ノ如クカ分ケテハ、果シテ其事故ヲ擧ゲルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付キマシテ、多大ノ疑ヲ存シテ居ルノデゴザイマス

ソレデ私ハ是等ノ點ニ付キマシテ伺フテ見タイト思ヒマスル第一ノ點ハ、今日世間ノ識者ハ悉ク今日ノ農村振興ノ基礎ト云フモノハ、自力更生デアルヤウニ言フテ居リマスルガ、私モ是ハ同感デゴザイマス、然ラバ此政府ノ自力更生ノ點ニ付キマシテ、ドノ點ニ重點ヲ置イテ居ラレマスカ、其狙ヒ所ガ承テ見タイノデゴザイマス、私ハ是等ノ事ニ付キマシテ、政策ノ問題ヲ立テマスルコトニ付キマシテハ、ドウシテモ農村振興ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、今日農村ガ何故ニ疲弊シテ居ルカ、其原因ヲ根柢、其病根ニ向テ醫藥ヲ投ゼナケレバ根本ノ解決ハ出來ナイト思ヒマス、今日ハ言フマデモナク農村ハ疲弊シテ、サウシテ働イテモノノ食ヘナイト云フ狀況デゴザイマスルガ、然ラバ何故ニ此農村ガ疲弊シテ居リマスカト申シマスレバ、私ノ見ル所ヲ以テ致シマスレバ、第一ニハ經濟機構ノ大變動デゴザイマス、第二ニハ土地ノ不足デアリマス、第三ニハ都市農村ノ負擔ノ不均衡、此三點ガ最も重大ナル點デアルト思ヒマス(拍手)

經濟機構ノ變動トハドウ云フコトヲ申シマスルカト申シマスレバ、是ハ申スマデモナク資本主義ノ農村ニマデ進入セル壓迫、ソレト共ニ貨幣經濟ガ農村マデ普及致シマシテ、サウシテ今迄ノ自給經濟ガ破壊サレタト云フコトニアルト思フノデアリマス、然ラバ此資本主義ノ重壓ニ對シテ、ドウシテ此重壓ヲ排除スルカ、之ニ付キマシテ政府ハドウ云フ政策ヲ策定セテ居ラルカ、此點ニ付テ伺フテ見タイノデアリマス、今日資本主義ノ重壓ニ對シテハ、微力ナル農民ニ於キマシテハ、多數ノ力ヲ以テ之ニ當ルヨリ外アリマセヌ、組織ノ力ヲ以テ之ヲ

防グヨリ外アリマセヌ、是ハ何人デモ御首肯下サルコト、思ヒマスルガ此點ニ付キマシテ政府ニハドウ云フ對策ヲ有テ居ラレマスルカ、私ハ此點ニ付キマシテハ、幸ニ政府ハ眼前ニ此對策ヲ持合セテ居ラルベキ筈ダト思ヒマス、是ハ或ハ御氣付キニナッテ居ルデセウ、ナッテ居リマセウケレドモ、私ハ是ハ氣付イテ居ラレマシテモ、ソレニ付テ力ヲ用ヒラレルコトガ少イデヤナイカト思フテ居ルノデゴザイマス(拍手)然ラバ何ガ對策デアリマスルカト申シマスレバ、吾々ノ先覺者ガ三十年來此事ヲ豫見セラレマシテ、産業組合ヲ組織シテ居リマス、サウシテ今日ニ於キマシテハ一万四千ノ産業組合ガ出來テ居リ、三億萬圓ノ出資金ガアリ、十七億萬圓ノ運轉資金ガアルノデゴザイマス、斯ノ如ク産業組合ハ發達致シテ居リマスルガ、併ナガラ政府ノ豫算ヲ拜見致シマスレバ、此産業組合ノ助成費ト致シマシテ、七年度ニ於テハ僅ニ九萬圓、八年度ニ於テハ十一萬圓ト云フ少額ヲ見積ッテ居ラルカ、ヤウデゴザイマス、斯ノ如クニシテ果シテ此産業組合ト云フモノガ助成シ得ルカドウカ、此産業組合ヲ助成スルト云フコトハ如何ナル意味ヲ有スルカト申シマスレバ、是ハ今日ノ資本主義ニ對シ多數ガ——微力ナル多數ノ人ガ結束シ、組織ノ力ニ依テ資本主義ノ重壓ヲ防ギ、サウシテ中間搾取ヲ之ニ依テ防ギ、サウシテ又今日自給自足ハ破壊サレテ居リマスルガ、出來ルダケノ範圍ニ於テ自給自足ヲ還元シテ行クト云フコトガ、其重點ナケレバナラヌト思フノデス、然ルニ今日産業組合ハ御承知ノ通り、一万四千ノ多數ニ上ッテ居リマスルケレドモ、併ナガラ今日ドレダケノ働キヲ致シテ居リマスルカ、又其多數ハ多クハ不良組合ト云フコトデアリ、サウシテ此時局匡救ノ際ニ如キ、最も此産業組合ガ力ヲ有效ニ發揮シ得ベキ機關デアルニモ拘ラズ、之ニ依テ十分ノ働キ

ヲ爲シ得ナイ狀況ニアルト云フコトハ、實ニ遺憾ノ至リニ堪ヘマセヌ(拍手)此點ニ付キマシテ私ハ政府ニ於カレマシテハ、今日ノ産業組合ニ於ケル經費ヲ増加サレ、監督機關ヲ充實サレルコトガ又必要ナ事デアルト思フ、今日ニ於キマシテハ、中央ニ於テハ僅ニ三名ノ監督機關ヲ置キ、サウシテ一年ニ五十組合位ノ監督シカ出來ナイヤウニ承ッテ居リマス、ソレニ又今日ノ産業組合ハドウシテモ資本ガ不足シテ居リマス、資金ガ不足シテ居リマスルノミナラズ、金利ガ高過ギルノデゴザイマス、御承知ノ通り農家ニ取リマシテハ五分以上ノ利息ト云フモノハ、最早高利ト見ナケレバナラヌ、然ルニ今日ノ産業組合ニテハ、ドウシテモ五六分カラ一割見當デナケレバ貸スコトハ出來ナイ、故ニ私共ハドウシテモ政府ニ於カレマシテハ、此資金ヲ潤澤ニ供給スルコト云フ途ヲ開カレルコト、今一ツハ成ベク利息ヲ安クシテ貸スコト、助ケヲ成スト云フコト、尙又監督ノ設備ヲ十分ニシテ、不良組合ヲ驅逐シテ行クト云フコトガ、最も大切ナ事デハナイカト思フノデゴザイマス(拍手)

今日世間デハ統制經濟ト云フ聲ガ頻リニ高イノデゴザイマスルガ、併ナガラ此統制經濟ノ本家タル伊太利ノ如キ、或ハ「ソヴィエツト」ノ如キハ、何處ニ其基礎ヲ置イテ居ルカト申シマスレバ、御承知ノ通り「ソヴィエツト」ニ於テハ「コーペラチーヴ」即チ組合、伊太利ニ於テモ矢張組合ヲ以テ統制經濟ノ基礎ト爲シテ居ルノデアリ、我國ノ如キ向フ所ハ異ナルト雖モ、慧眼ナル政治家ハ矢張其行ク所ハ異ナルト雖モ、此産業組合ト云フ現在一万四千ノ組合ガアルノニ著眼シ、統制經濟ノ基礎ヲ此處ニ打立テルト云フコトガ最も捷徑デアリ、又最も有效ナ事ト信ジテ居リマス(拍手)此點ニ付キマシテ政府ノ御所見ヲ承テ見タイノデアリマス

第二ニハ私ハ今日我ガ農家ハ、御承知ノ通り五百五十萬戸アリテ、サウシテ其生産額ハ如何程デアルカト申シマスレバ世界大戰當時ノ好況時代ニ於テハ四十億圓デアリ、今日ハ物價下落等ノ結果二十億圓ニ下ッテ居リマスルガ、此五百五十萬戸ノ農家ガ、四十億乃至二十億ノ其生産品ノ處分ヲ如何ニシテ保障サレテ居ルカ、世間デハ農業程安全ナル仕事ハナイト云フヤウニ考ヘテ居リマスルケレドモ、私ノ見ル所ニ依リマスレバ、農業程最モ不安全ナル事業ハナイト思フノデアリマス(拍手)然ルニ、五百五十萬戸ノ人ガ二十億乃至四十億ノ生産物ヲ所謂一年一遍ノ大賭博ニ掛ケテ、何等之ヲ保障スル途ガナイト云フノハ慘メナル狀態デアル(拍手)之ニ付キマシテ私共ノ見ル所ニ依リマスレバ、一日モ早ク農村保險ノ制度ヲ樹立サレルコトガ、最モ望マシイコトデアルト信ジテ居ル(拍手)此點ニ付キマシテハ政府ニ於テモ既ニ前内閣時分カラ調査ヲシ、今モ其調査ヲ續ケテアルト云フコトデアリマスルガ、併シ果シテ今議會ニ提案スルコトガ出來ルノデアリマスルカ否ヤ、此點ニ付キマシテ御伺ヲ致シテ見タイト思ヒマス(拍手)

今日ノ農村疲弊ノ第二ノ原因ハ、先程申シマシタ通りニ、土地ノ不足デゴザイマス、御承知ノ通り我國ハ人口ガ多クテ、土地ガ不足デアリ、農家平均ノ耕作面積ハ僅ニ一町ニ足ラズ、香川縣ノ如キ、或ハ廣島縣ノ如キハ、僅ニ五段ニ過ギナイト云フ狀況デ、所謂五段百姓デゴザイマス、斯ノ如キ狀況ニアリマシテ、此農家ノ苦シムト云フノハ、是ハ餘儀ナイ次第ト思ヒマス、此對策ト致シマシテハ、ドウシテモ是ハ移植民ヲ獎勵スルカ、或ハ商工業ニ轉業スルト云フコトガ必要デゴザイマセウケレドモ、斯ノ如キコトハ直チニ實行スルコトハ出來マセヌ、故ニ我國ニ於キマシテハ、ドウシテモ遺憾ナガラ小農主義ヲ行クヨリ外ナカラウト思ヒマス、ソレデアリマスルカラ、私ハ今日所謂自作農創定ト云フコトハ、是ハ古カラヤッテ居リマスルケレドモ、併ナガラ此古イ仕事ガ最モ確實ナル仕事ト考ヘテ居ルノデゴザイマス、然ルニ今回ノ豫算ヲ拜見致シマスレバ、自作農創定ニ付キマシテハ、何等力ヲ入レテアル跡ヲ發見致シマセヌ(拍手)固ヨリ此三年來不況ノ結果自作農創定ガ困難ニ陥リタト云フコトモゴザイマスルケレドモ、併ナガラ今日ハ段段自作農ヲ獎勵シテ行クノ最モ好イ時機ニ到達シテ居ルヤウニ思フノデゴザイマス、尙又假令困難ナル事業デアリマセウトモ、此自作農創定ノ如キ國家百年ノ長計ニ屬スルヤウナコトハ、是ハ百難ヲ排シテモヤラナケレバナラヌト思ヒマスルガ、政府ハ此點ニ付キマシテドウ云フ考ヲ有テ居ラマスルカ、之ヲ承リタイノデアリマス、此土地ノ不足ニ付テ尙ホ一ツ根本對策ト考ヘマスノハ、今日ハ自作農創定ヲ致シタ所デ小作農ヲ防グト云フコトハ、ドウシテモ不可能ノコトデアリマス、數年來力ヲ盡シマシタケレドモ、三十六萬町歩ノ自作農創定ガ出來テ居ルダケニ過ギマセヌ、然ルニ御承知ノ通り今日ノ水田ノ如キハ三百萬町歩ノ中百七十萬町歩ハ小作地デアリ、其他ガ自作農ト云フ、狀況デアリ、故ニ今日ノ場合ドウシテモ此小作農ヲ安定セシムルコトガ、又國家ノ重大ナル義務デアルト信ズルノデゴザイマス(拍手)併ナガラ此小作農問題ハ先年數年ノ間ハ非常ニ喧シイ問題デゴザイマシタケレドモ、何ノ故カ近頃ハ小作農問題ハ下火ニナッテ居ルヤウナ觀ガアル、然ラバ小作農爭議ハ減タカト申シマスレバ、統計ノ示ス所ニ依リマスレバ、昭和二年ニ二千件デアッタモノガ、昭和六年ニハ三千件ト増加シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク小作農法制定ノ聲ハ微ニナッテ居リマスルケレドモ、小作爭議ハ殖エツ、アル、併シ私ハ斯ウ云

フ際コソ小作農法制定ノ急務ナル時デハナйка、何トナレバ此小作農法制定ト云フ如キコトハ、小作農ノ權利利益ヲ保護シナケレバナラヌ、中正ナル立法ヲシナケレバナラヌノデゴザイマス、然ルニ一方ノ方デ露々タル聲ヲ立て、居ル間ハ、中正ナル立法ハ中々出來ナイノデアリマス、ソレデ此小作農法ノ立法ニ當リマシテハ、今日ハ好機會デハナカラウカト信ジテ居ルノデアリマス(拍手)殊ニ多數ノ小作農ノ問題デゴザイマスカラ、此點ニ火ガ點キマスレバ、イツ何時天下ノ大問題ニナラヌトモ限ラヌノデゴザイマス、此小作農法ニ付テハ歷代ノ内閣ニ於テ幾度カ其案ヲ練リツ、アリ、最近ニ於テハ若槻內閣ニ於テモ其案ガ作ラレテアツタ密デゴザイマス、其立法ノ趣旨ハ我國ノ慣行ヲ基トシテ、地主ニモ小作農人ニモ公平ナル立法ヲスルト云フ建前ニナッテ居リタヤウニ承テ居リマス、私ハ政府ニ於テハ此案ハ能ク練レテ居ルコト考ヘマスカラ、一日モ早ク御提案ヲ願ヒタイノデゴザイマスガ、御提案ナサル意思ガアリマスカドウカ、之ヲ承テ見タイノデアリマス

第三ノ我ガ農村疲弊ノ原因ハ負擔ノ不均衡デアルト思ヒマス、併ナガラ此點ニ付テハ一昨ヨリ昨日ノ本會議ニ於テ清瀨君、東君等カラ既ニ御質問ガアリマシタカラ、私ハ之ニ付テハ質問致シマセヌ、唯財政當局者ニ對シテ深甚ナル御考慮ヲ拂ッテ戴キタイト云フコトヲ御願シテ置ク次第デゴザイマス、此農村問題ニ付キマシテハ尙ホ多數ノ問題ガゴザイマスルケレドモ、餘リ多クノ問題ニ觸レルコトヲ避ケタイガ、唯、看過スルコトノ出來ナイノ肥料問題デアリマス、此肥料問題ニ付キマシテモ既ニ昨ヨリ東君カラ御質問ニナリマシタカラ私ハ此點ハ伺ヒマセヌ、唯、此機會ニ於テ一ツ承テ見タイノハ、最近滿鐵會社ニ硫安ヲ十八萬噸計畫ヲシテアルヤウニ思ヒマス、是ハ最モ時宜ニ

適シタ計畫デアルト信ジマス、併ナガラ滿鐵會社ノ如キ國家的會社ナリト雖モ、從來ノ歷史ニ依レバ、動モスレバ營利會社本位ニ立歸ルコトガアリ勝チノコトデアアル、故ニ私ハ國家的ニ最モ必要ナル此肥料ノ製造ニ付テモ、政府ニ於ケレテハ滿鐵ニ對シテ將來ニ於テ營利會社ノ本職ヲ發掘スルコトナク、日本内地ニ於ケル農民ノ利益ヲ考ヘルヤウニ、何等力ヲ處置ヲ取テ置カレルコトガ必要ト思ヒマスガ、政府ニ於テハ此點ニ付テハ何等カノ御考ガアリマスカ、承テ置キタイノデアリマス

最後ニ私ハ農村振興ノ根本問題ハ、農村教育問題デアルト信ジマス、御承知ノ通り、今日ノ農村ノ教育ハ、都市ノ教育ト何等變テ居ルコトヲ發見致シマセヌ、是ハ國民教育デゴザイマスカラ、別ニ大シタ變リヤウガナイカモ分リマセヌケレドモ、併ナガラ之ニ付テ所謂統一ノ弊ガアルト共ニ、又當局者ノ考ニ依リ、方針ニ依リマシテハ、此點ニ於テ有效ナル手段ガ講ジ得ラル、筈ダト考ヘマス、御承知ノ通り、先程モ申上ゲマシタ通り、今日農村ノ疲弊セル最モ重大ナル原因ハ、經濟機構ノ大變動デアッテ、サウシテ此資本主義ガ侵入シ、貨幣經濟ガ普及シタル結果、今日マデノ農民ノヤウナ頭デハ、此ムヅカシイ世ノ中ニ立チ行ク術ヲ知ラナイノデゴザイマス、故ニドウシテモ此今日ノ農村ノ子弟ニハ、農村ニ適應スル教育ヲ授ケル必要ガアルト思フノデアリマス(拍手)殊ニ農業ノ經營、若クハ農業ノ經濟問題等ニ付テ十分ナ頭ヲ以テ、自ラ考ヘテ自ラ實行シ得ルダケノ子弟ヲ養成シテ置カナケレバナラヌト思フ(拍手)ソレニ付キマシテ、私共ハ此農村教育ガ何等都市ノ教育ト異ナル所ナク都市ニハ動モスレバ其事業ニ適切ナル商工子弟ノ補習學校ヲ設ケア居リマスニ拘ラズ、農村ノ補習學校ハ讀書算術ト云フヤウナ、元寺小屋式ノ教育ヲヤッテ居リマシテ、農村ノ經營ニ適切ナル

教育が缺ケテ居ルノデゴザイマス、此點ニ付キマシテ、教育當局者ハ何等カノ對策ヲ有テ居ラレマスルヤ否ヤ、此點ヲ伺ヒテ見タイノデゴザイマス、私ノ質問ハ是ダケデゴザイマス(拍手)

(國務大臣後藤文夫君登壇)

○國務大臣(後藤文夫君) 池田君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、第一ニ農村ノ自力更生ヲ考ヘルコトハ洵ニ適切ナルガ、如何ナル點ニ重點ヲ置イテ、自力更生ヲ實現セントスルノデアルカト云フ第一ノ御尋デアリマシタ、ソレニ付テ産業組合ト云フモノガ最モ力ヲ入レナケレバナラヌモノデハナイカ、之ニ關シテ政府ノ所見ハドウデアアルカト云フ御尋ノヤウデアリマス、農村ノ自力更生ノ要點ハ申スマデモアリマセヌ、農村ノ人達ガ其經濟ヲ組織的ニヤリ、計畫的ニヤリ、共同ノ力ヲ以テヤツテ、今日ノ變化シタ近代産業ノ時代ニ對應シテ、自分ノ經濟力ヲ出來ル限リ強メテ行クト云フコトニアルト思フノデアリマス、是ガ爲ニハ産業組合ノ如キ、農村ノ人達ノ經濟的共同ノ行爲ヲ發達セルコトガ最モ必要ナ中心問題ノ一ツデアリマス、産業組合ノ發達ニ付テハ從來政府ニ於キマシテモ力ヲ注イデ參テ居リマス、殊ニ今回ノ時局巨救ノ善後處置ノ一ツノ大キナ根幹トシテ産業組合ノ活躍、産業組合ノ振瀾改善ヲ圖リタイト計畫ラシタ譯デアリマス、曩ノ臨時議會ニ於キマシテ産業組合ノ改正ノ御協賛ヲ得、又信用組合ノ固定貸ノ流動化ノ爲ニ特別融資補償ノ方法ヲ設ケマシタコト、又産業組合ノ監督指導ニ付キマシテ相當ナル經費ヲ計上シマシタコト、殊ニ今回八年度ノ豫算ニ於キマシテモ、産業組合ノ監督指導ニ關スル職員

ノ經費ヲモ増額計上ヲ致シタヤウナ施設ハ、皆此趣旨カラ出テ居ルノデアリマス、唯自力更生ノ問題ハ勿論費用ガ要リマスケレドモ、費用ダケノ問題デアリマセヌ、農村ノ人達ガ自覺奮奮ヲシテ、此更生ヲ圖ラウトスル努力ニ第一ノ基礎ヲ置カナケレバナラヌノデアリマス、サウ云フ趣旨デ參テ居リマス

次ニ農業保險ハ今回ノ議會ニ提案スル考デアアルカドウカト云フ御尋デアリマシタ、農業保險ニ付テハ相當研究ガ進ンデ居リマス、農家ノ災害ヲ補償スル制度トシテ極メテ適切ナル方法デアアルト考ヘテ居リマス、唯相當ナ財政上ノ負擔ヲ國庫ニ負ハセナケレバナリマセヌ、旁、今回ノ議會ニ提案スルノ運ビニ至リマスルヤ否ヤ、只今ノ所申上ダ兼ネマス

次ハ土地ノ不足ノ問題ニ關聯シテ、第一ニ自作農創定ノコトニ付テハドウ考ヘテ居ルカ、自作農創定ハ出來ル限リ致シタイト考ヘテ居リマス、唯是モ財政上ノ關係、資金ノ關係等ガアリマス、思フ通りニハ參リマセヌケレドモ、此從來ノ方法ヲ尙ホ繼續ラシテ出來ル限リ致シタヤリタイ、又過去ノ自作農創定ニ要シタ資金ノ壓迫等ニ付テモ、前ノ臨時議會等ニ於キマシテ、是ガ緩和ヲスルヤウナ途モ開カレタ譯デアリマス

次ニ小作法ハ今度提案スルカドウカト云フ御尋デアリマス、小作法ハ先年來色ミ論議サレテ居リマス、又議會ニモ一度提案ヲ見テ居リマス、併ナガラ尙ホ考究ヲ要スベキ點ガ多アルト私ハ考ヘテ居リマス、今回ノ議會ニハ今ハ提案ヲ致ス見込ヲ有テ居リマセヌ

次ニ滿鐵ノ硫安製造ノ計畫ニ付テドウ云

フ考ヲ有テ居ルカ、是ハ池田君ノ仰セラレタルガ如ク、此滿鐵ガ特別ノ會社トシテ、硫安ノ製造ガ折角安價ニ、可ナリ多量ニ出來ルヤウニナリマスルナラバ、唯普通ノ營利會社ガ營利ノ目的トシテ硫安ヲ製造スルノト異リ、我國ノ一般農民ノ爲ニ安イ肥料ヲ供給スルヤウニ、努力ヲセラレンコトヲ特ニ切望致シテ居ル譯デアリマス

次ニ農村教育ノ問題ハ私カラ御答スルノ適當デナイカモ知レマセヌガ、農村ノ教育ガ農村ノ實狀ニ即シタ適切ナルモノトシテ行ハレコトヲ私ハ切ニ希望シ、又教育當局者モ左様努力セラレテ居ルコト、承知致シテ居ルノデアリマス(拍手)

○池田秀雄君 文部大臣ト、硫安ニ付テハ拓務大臣ノ答辭ヲ望ミマス

(國務大臣堀山一郎君登壇)

○國務大臣(堀山一郎君) 池田君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、農村教育ノ必要ナルコトハ夙ニ承知シテ居リマス、小學校教育ヲ地方的ニ、郷土的ニシタガ方宜シト云フコトハ一般ノ輿論デアリマシテ、左様ニ致シタイト思フテ居ルノデアリマス、併ナガラ小學校ノ教育ハ、中學校ニ入リタイト云フ希望ヲ有テ居ル兒童モ共ニ教育シテ居ルガ爲ニ、理想ハ郷土的ニシテ地方的ニ致シタイノデアリマスルガ、實際ニ於キマシテハ上級學校ニ行キタイト云フ希望ヲ有テ居ル兒童ヲ一緒ニ教ヘテ居ル爲ニ中々困難ナノデアリマス、隨テ農村教育ヲ本當ニ振興サセルト云フコトハ、實業補習學校ニ俟ツノガ最モ適當デアアルノデアリマス、實業補習學校ニ入學シテ居リマス者ハ、上級學校ニ這入レナイ可憐ナ兒童デアリマシテ、上級學校ニ這入レナイ爲ニ、其地方的ノ郷土的ノ教育ヲ

スルノニハ、最モ適當シテ居ル兒童ナノデアリマス、デアリマスルカラ實業補習教育ト云フモノヲ振興サセルト云フコトガ、極メテ現代ニ於テ適切ダト思フノデアリマス、實業補習學校ハ現在一萬五千位アリマシテ、一校當リ僅ニ千圓位ノ費用シカ使テ居リマセヌノデアリマシテ洵ニ貧弱ナノデアリマス、隨テ此實業補習教育ヲドウカシテ振興致サセタイト思ヒマシテ、文部省ニ於キマシテモ色、案ヲ立テ、居ルノデアリマスガ、マダ大藏當局ノ御賛成ヲ得ナイヤウナ次第デアリマス、ドウカ此教育ヲ振興セシムルヤウニ御協力下サランコトヲ切望致シマス(拍手)

(國務大臣永井柳太郎君登壇)

○國務大臣(永井柳太郎君) 滿鐵ノ硫安製造ノ計畫ハ、御承知ノ通り内地ニ於キマシテ硫安ガ非常ニ暴騰致シマシテ、其爲ニ唯サハ生活不安ニ襲ハレテ居リマスル農村ニ、一層深刻ナル不安ヲ與ヘルト云フコトニ鑑ミマシテ、滿鐵ガ其硫安生産ニ關スル設備ノ全能力ヲ發揮シテ、十八萬噸生産ノ計畫ヲ樹テルコトニナツタノデアリマシテ、此度ノ硫安生産ノ計畫ハ其當初カラ農村ニ對シテ、出來ルダケ貢獻ラシタイト云フコトガ、其動機ノ重大ナルモノ、一ツニナツテ居ルノデアリマス、デ政府ニ於キマシテハ只今申上ダマシタ方針ニ依テ、滿鐵ニ十八萬噸計畫ヲ大成サセルト云フコトニ致シタノデアリマシテ、其趣旨ニ基キマシテ、滿鐵ガ單ニ營利本位デ硫安ノ價格ヲ騰貴セシムルガ如キコトノナイヤウニ、將來モ設立當時ト同ジ目的ヲ以テ、出來ルダケ廉價ニ硫安ヲ農村ニ供給スルヤウニ、監督致シタイト思フテ居ル次第デゴザイマス(拍手)

○議長(秋田清君) 池田君宜シウゴザイマス

○池田秀雄君 宜シウゴザイマス

○議長(秋田清君) 加藤綱一君ヨリ議事進行ニ關スル發言ノ通告ガアリマス、議長ヲ介シテ議員諸君ノ前日ノ演説ノ趣旨ニ付キ釋明ヲ求メラル、意味ノ議事進行デアリマス、此場合之ヲ許シマス——加藤綱一君

(加藤綱一君登壇)

○加藤綱一君 議事ノ進行上極メテ重大ナルコト、信ジマスルガ故ニ、議長ニ對シテ御尋ヲ致シタイト存ズルデアリマス、我國ノ國論ハ上下一致致シマシテ、國際聯盟ニ對スル方針ガ帝國ノ既定方針ヲ貫徹シナケレバナラヌト云フコトニ纏テ居リマスルコトハ、本日ノ此議場ニ現ハレマシタル決議ニ依リマシテモ極メテ明瞭ナル事實デアリマス(拍手)然ルニ本日ノ新聞紙ノ報道スル所ニ依リマスルト、昨二十四日ノ「ジエネヴァ」ノ通信記事ガ掲載サレテ居リマス、此掲載記事ニ依リマス、斯ウ云フコトガ書イテアルデアリマス「政友會ノ外相攻撃ニ小國狂喜、日本ノ讓歩期待、政友會ガ内田外相ヲ攻撃シタト東京電報ガ全歐洲ノ新聞紙上ニ掲載サレ、聯盟ノ空氣ガ最高潮ニ達シタ際トテ、各方面ニ一大刺戟ヲ與ヘ、特ニ支那ヤ小國筋ハ、凱歌ヲ奏センバカリニ狂喜シ、日本ノ國內情勢ガ斯ク軟化セル以上、日本代表部ガ如何ニ頑強ルトモ結局ハ退却ノ外ナキニ至ルデアラウト看做シテ居ル」ト云フ記事デアリマス

諸君此記事ガ掲載サレマシタル所以ノモノハ、惟フニ一昨日ノ本議場ニ於ケル若田議員ノ質疑演説ノコトヲ指シテ言フタモノデ

アラウト思フデアリマス、故ニ本員ハ若田議員ノ質疑演説ヲ速記録ニ依リマシテ度々精讀ヲ致シタデアリマス

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○加藤綱一君(續) 此若田議員ノ御演説ヲ速記録ニ依リテ精讀ヲ致シテ見マスルト、之ヲ一貫シテ考ヘマシタナラバ、誰ガ考ヘマシテモ、讀ンデ見マシテモ此「ジエネヴァ」ニ於テ問題トサレタガ如キ、其意思ヲ以テ質疑演説ヲシタモノデナイト考ヘラレルデアリマス、特ニ演説ノ文句ニハ非常ニ注意ヲサレテ居ルデアリマシテ、一言ヲ引例致シテ見マスルナラバ「吾々ヲシテ忌憚ナク言ハシメルナラバ

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○加藤綱一君(續) 滿洲ニ對スル我が政府ノ施設ハ、外國ニ於テモ亦滿洲ノ現地ニ於テモ、幾多ノ批評ヲ招イテ居リマス、本員ハ一々之ヲ指摘スルコトガ必ズシモ我國ノ利益デハナイト考ヘマスルガ故ニ、姑ク之ヲ指摘スルコトヲ差控ヘマス」云々ト云フヤウナ場合ニ、言ヒタイコトモ十分ニ注意ヲシテ、我國ノ不利益ニナラナイヤウニ心掛ケラレタモノト吾々ハ讀ムデアリマス、併ナガラ斯ウ云フ言葉ガ、言外ニ何カ大キナ意味アルヤウニ響イテ居ルカモ知レマセヌ、又此演説ハ各通信員ガ、思ヒニ全部ノ演説ノ一貫シタル精神ヲ理會スルコトニ努力セズシテ、部分的ニ、抽象的ニ報道致シマシタコトガ、此過ヲ生ジタル所以デアルト思フデアリマス

(發言スルモノアリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニナサイ

○加藤綱一君(續) 諸君、通信員ノ中ニ於キマシテハ、或ハ政友會ノ代表演説デアリマスルト云フヤウナ意味ヲ使フテ、通信ヲサレタノモアルト云フコトデアリマシマスガ、是ハ政友會全體ノ意志デモ無論ナイト私ハ信ズルデアリマス(拍手)今日ノ新聞紙ノ夕刊ノ報ズル所ニ依リマスレバ、此演説ガ「ジエネヴァ」ノ日本ノ全權ニ對シマシテ非常ナル衝動ヲ與ヘタガ爲ニ、松岡全權ハ電報ヲ以テ、鈴木政友會總裁ニ其内容ノ問合セラシテ來タト云フコトヲ報ジテ居ルデアリマス、諸君、事程左様ニ結果カラ見マスルト、我國ノ不利益ニナタト考ヘナケレバナラヌデアアル(拍手)吾々國民ノ代表者ガ、此國民代表ノ府ニ於キマシテ、國家ノ不利益ニナタト思料セラレマスルトトヲ默テ居リマスコトハ、國民ノ代表者トシテ、完全ニ責任ヲ盡ス所以デハナイト考ヘルノデアリマス(拍手)故ニ吾々ハ斯ウ云フ問題ニ對シマシテ、議長ハ我國ノ國際聯盟ニ於ケル立場ヲ有利ニ展開セシメルガ爲ニモ、亦吾々國民ノ輿論ノ一致シテ居ルコトヲ國際聯盟ニ知ラシメル意味ニ於キマシテモ、私ハ斯ウ云フ演説ノ内容ハ、或ハ取消シ、或ハ釋明ヲスルコトガ、本院ニ於ケル適當ノ爲サナケレバナラヌコトデアルト信ジマスルガ、議長ハ若田議員ニ對シマシテ、取消又ハ釋明ヲサセルノ御考ハナイカドウカト云フコトヲ御尋ヲ致スデアリマス(拍手)

又同日ノ演説ニ於キマシテ、同ジク民政黨ノ松本君ヨリ、國論ノ一致シテ居ル點トハ考ヘラレナイ、相當我國ニ不利益ナル結果ヲ與ヘルヤウナ御演説ガ現レテ居リマス

(拍手)諸君、松本君ハ長イ間加藤高明伯ノ秘書官ヲシテ居ラレマシタガ、加藤伯ハ外交上ノコトヲ政爭黨爭ノ具ニハ斷ジテ使ハナカッタデアリマス(拍手)此加藤總裁ニ長ク仕ヘテ居ラレマシタル松本君ガ、我國ノ不利益ニナルヤウナ言議ヲ此壇上ニ於テサレタト云フコトハ、國民ノ欲セザル所デアルト信ジマスルガ、此松本君ノ演説ニ對シマシテモ適當ノ……

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○加藤綱一君(續) 釋明若クハ取消ヲ爲サシメルガ爲ノ御取計ヲ爲サル御考ハナイカドウカト云フコトヲ、議長ニ御尋スル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 加藤君ノ議事進行ニ關スル只今ノ御發言ニ御答致シマス、御發言ノ御趣意ハ、議員諸君ノ過日ノ質疑演説ニ對シテ釋明ヲ求メラントスル御趣意ニアリテ存ジマス、若田君果シテ之ニ應ゼラレルヤ否ヤヲ知リマセヌガ、議長ハ加藤君ノ御希望ノ要旨ヲ若田君ニ取次ギマセウ、尙ホ若田君ノ問題ガ片付キマシタ後ニ於テ、松本君ノコトニ付テ御答ヲ致シマス、此際若田君ニ御交渉致シマス、御聽ノ通りノ次第デアリマスガ、若田君ハ此際釋明ノ爲ニ發言ヲ求メラレル御意思ガアリマスカ

○若田均君 議長

○議長(秋田清君) 若田均君

○若田均君 只今加藤君ノ議事進行ニ關スル發言ニ對シテ一身上ノ辯明ヲ致シタイト思ヒマス、「ルーター」通信員ノ發シタ電報ガ、眞ニ加藤君ノ指摘セラレタ如キ意味デ

アルトスルナラバ、是ハ大イナル誤解ニ基
イタモノト信ジマス、私ノ質疑演說ガ斯様
ナ誤解ヲ惹起シタトシマスルナラバ、本員
ノ言葉ガ徹底ヲ缺ク點ニアツカモ知レマ
セヌ、本員ガ述ベマシタル趣意ハ、政友會
ノ國際聯盟ニ對スル既定ノ方針ニ基イテ聯
盟ニ對スル政府ノ主張ハ之ヲ支持スルコト
勿論デアリマススケレドモ、併ナガラ聯盟ノ
行動ガ我國ノ重大利害ニ反スルモノデア
ラバ、是ハ斷乎トシテ脱退スベキデハナ
イカト述ベタノデアリマス、然ルニ近來我ガ
政府ノヤリ口ニハ斷ニ落チナイ點ガアル、聯盟
對策トシテ、大體內閣ノ當時ニハ聯盟規約第
十五條ノ適用ヲ留保シテ、之ニ基ク討議サ
ヘモ拒絕シタノデアリマス、現內閣ニナ
テハ、第十五條ノ留保ヲ撤シテ其適用ヲ認
メテシマツタ、サウシテ今尙ホ其適用ニ付
テ論議ヲ重ネテ居ルノデアリマスガ政府ハ
今日ノ場合大處高處ヨリ之ヲ政治的ニ解決
スル方法ヲ講ゼナケレバナラナイノデナ
イカ、ソレデナケレバ今日マデ奮勵努力ヲ重
ネテ來タ我ガ全權ヲシテ、自由ノ手腕ヲ振
ハシメルコトガ出來ナイデハナイカト云フ
趣意ヲ述ベタノデアリマス

又滿洲問題ニ付テハ、問題ガ我ガ國策ノ根
本ニ觸レルモノデアリマスルガ故ニ現內閣
ノ諸大臣ハ全力ヲ盡シテ其解決ニ當ラナケ
レバナラナイノデアアル殊ニ内田外務大臣ハ
當面ノ責任デアリマス、然ルニ本員等ノ見
ル所ニ依レバ、內閣ノ諸大臣モ、内田外務大
臣モ、全人格ヲ傾倒シテ之ニ當テ居ラレル
トハドウシテモ思ハレナイ、内田外務大臣
ノヤリ口ハ兎角自主外交ニ徹セザル嫌ヒア
ルコトヲ深く遺憾トスルコトヲ述ベテ、外
務大臣自ラ國論ノ先頭ニ立チ、國民ヲ指導

シテ此難局打開ニ當ルノ意氣ニ於テ缺クル
所アルコトハナイカト云フコトヲ指摘致シ
マシテ、外務大臣ノ奮起ヲ促シタ次第デア
リマス、斯様ナ意味ニ於テ述ベマシタル私
ノ質疑ガ全然誤タル形ニ於テ外國ニ報道
セラレタト云フコトハ洵ニ遺憾ナコト、思
ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 松本忠雄君ニ御交渉致
シマス、アナタハ前日ノ御演說ニ對シ此際
釋明ノ爲メ發言ヲ求メラル、御意思ガアリ
マスカ

○松本忠雄君 議長
○議長(秋田清君) 松本忠雄君

(松本忠雄君登壇)
○松本忠雄君 我ノ前日ノ此議場ニ於ケル
演說ハ、少クモ大多數ノ方々ノ誤解ハ招
カナカツタ存ジマス、併ナガラ少クト
モ私ノ尊敬スル友人加藤君ノ誤解ヲ招イタ
コトヲ洵ニ遺憾ト致シマス、畢竟私ノ演說
ノ趣旨ガ徹底シナカツタカラデアラウト思
ヒマス、私ノ演說ハ今日ノ外交當局ノヤ
テ居ル外交ニハ、兎角誤解ヲ招クヤウニ見
エル點ガアル、少クトモ局外者カラ、門外
漢カラ見レバ、ソコニ誤解ヲ起シ易イヤウ
ナ點ガアル、是ハ定メシ本當ハサウデハア
ルマイカラ、其點ニ付テ吾々局外者ノ誤解
ヲ解クヤウニ、明確ナル所ノ説明ヲ與ヘテ
戴キタイト、斯様ニ申シタ(拍手)唯遺憾ナ
ル哉、内田外務大臣ノ御答辯ハ、吾々門外
漢ノ疑ヲ解クニ足ルダケノ明確ナル御意見
デナカツタノデアリマス、隨テ誤解ヲ招ク
モノアリトスレバ、私ノ演說ニ非ズシテ、
私ノ演說ニ明確ナル所ノ答辯ヲ與ヘテ、多
數第三者ノ誤解ヲ解クコトガ出來ナカツタ、
内田外務大臣其人ノ説明ニアルカト吾々思

ハザルヲ得ナイ、殊ニ私ガ外交ノコトヲ内
政ノ犧牲ニ供サナイ……
(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○松本忠雄君(續) 外交ノ演說ニ依ッテ國
家ノ不利益ニナルヤウナコトヲ言ハナイト
云フコトハ、外務大臣其人ガ最モ之ヲ明確
ニシナケレバナラス答デアリマス(速記録
ヲ見ロ)ト呼ブ者アリ)私ハ速記録ニ於テ外
務大臣ノ御演說ニ依ッテ、ソコニ非常ナル
所ノ誤解ヲ起シ易イ事實ノアツコトヲ承
知シテ居リマス、唯私ガ其點ニ及バナカラ
タコト、少クトモ裏面ニ於テ私ガ其間ニ或
力ヲ致シタコトカラ御考ヘラ戴イテモ、私
ガ外交ノ内政ノ犧牲ニ供シ、若クハ之ヲ國
家ノ爲ニ不利益ニ導クヤウナ意思ノナカ
タト云フコトハ、少クトモ外務大臣其人ハ
十分ニ理會シテ下サルコト、私ハ信ジマス
(拍手)是ハ敢テ多數ノ人ノ誤解ヲ起サナカ
タト存ジマスガ、加藤君カラ私ノ名前ヲ指
摘シテ御言葉ガアリマシタカラ、是ダケ
ノコトヲ申上ゲテ置キマス(拍手)

(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ——加藤君、議
事進行ニ關スル發言ハ二回ニ互ラザルコト
ニ……小山谷藏君……
(外務大臣ガ發言ヲ求メラレテ居リ
マス)ト呼ブ者アリ)
○議長(秋田清君) 外務大臣ハ發言ヲ求メ
ラレテ居リマスカ——小山君一寸御待チ下
サイ
(國務大臣伯爵内田康哉君登壇)
○國務大臣(伯爵内田康哉君) 只今松本君
ノ御話ニ世ノ中ノ誤解ヲ自分ガ招イタノ
ハ、其責任ハ自分ノ責任ニアラズシテ、外

務大臣ニ在リト云フ御言葉ガアリマシタガ、
此責任ハ私ニ於テハ取ルコトハ出來マセヌ
(拍手)
○議長(秋田清君) 小山谷藏君
(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ
(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ——
(小山谷藏君登壇)
○小山谷藏君 諸君私ハ財政經濟政策ニ對
スル吾々國民ノ疑惑ヲ晴サンガ爲ニ、暫ク
此演壇ヲ拜借致シタイノデアリマス、過日
來政民兩黨ノ代表質問演說、之ニ對スル懇
切丁寧極メタル政府ノ御答辯、殊ニ高橋
大藏大臣ハ老軀ヲ提ゲテ此經濟國難ノ衝ニ
當ラレテ、赤誠ヲ披瀝シテ此難局打開ニ當
ラレテ居ル所ノ其誠意ニ對シテハ、先以テ
多大ノ敬意ヲ表サナケレバナリマセヌ、併
ナガラ齋藤總理大臣ノ施政方針ニ關スル演
說ヲ拜聽致シマシテモ、亦高橋大藏大臣ノ
財政演說ヲ拜聽致シマシテモ、質問應答ニ
關スル御答辯ヲ拜聽致シマシテモ、吾々國
民ノ所謂財政不安ニ關スル疑念ハ何等除去
サレナイノデアリマス、(拍手)唯單ニ除去
サレナイノミナラズ、或ル意味ニ於テ其不
安ヲ一層濃厚ナラシムル嫌アリトスルニ
至ッテハ、私ハ議會ノ權能トシテ之ヲ明ニ
スルコトガ、吾々當然ノ責任デアルト信ズ
ルノデアリス、(拍手)
先ヅ第一ニ首相ノ演說ニ力點ヲ置カレタ
所モ、亦大藏大臣ノ財政演說ノ重點モ、成
程今回議會ニ提案シタル豫算ハ空前ノ大ナ
ルモノデアアル、併ナガラ政府ノ施設ハ漸次
其效ヲ奏スルデアラウ、即ち段々ト景氣モ

直ルデアラウ、隨テ政府ノ收入モ漸次増シテ來ルデアラウ、又其時ニナ、タナラバ増稅ヲスルコトモ決シテ不可能デハナイ、又一方ニ政府ノ所謂臨時支出ナルモノハ、是ハ年ヲ逐ウテ遞減シテ行クノデアアル、故ニ本年ノ豫算ハ成程空前ノ大豫算、之ニ對スル十億ニ垂テトスル空前ノ大公債ヲ以テ、其收支ノ均衡ヲ保ツヤウニナ、テ居ルケレドモ、是ハ本年限りノモノデアアテ、是ハ決シテ憂フルニ足ラヌト、斯様ニ説明セラレテ居ルノデアアル、私ハ斯ル説明ガ却テ吾々國民ノ此財政計畫ニ對スル不安ヲ濃厚ニナラシメル所以デアアルト信ズルノデアリマス(拍手)何トナレバ成程二十二億四千万ト云フガ如キ此空前ナル大支出ヲ、此儘コ、數年ニ跨リテ繼續スルモノデアルトハ思ヒマセヌ、サリナガラ今日ノ政府ノ動モスレバ誇テ言ハレル景氣ノ恢復ト云フコトハ、一體何ノ爲デアアルカ、一ツハ爲替ノ暴落ノ爲ニ貿易上ニ現レタ所ノ好景氣、一ツハ「インフレ」政策ガ色々ノ方面ニ反映致シマシテ、成程景氣好轉ノ兆候ハ現レテ居ルノデアリマス、此爲替ノ暴落ヨリ生ジタル所ノ貿易上ノ好景氣ト申シマスノモ、亦「インフレ」政策ノ爲ニ物價昂騰ヨリ生ジタル所ノ好景氣ノ影響ト申シマスルモノモ、總テ是レ「インフレ」景氣ノ結果デアリマセヌカ、即チ總テ景氣ハ好クナルデアアラウ、隨テ政府ノ收入モ増スデアアラウト云フ、其原因ハ「インフレ」政策ガ作テ居ルモノデアルト云ハナケレバナラヌ、是ガ原因デアアルニ拘ラズ、

カ、私ガ申上ゲル迄モナク、「インフレ」景氣ノ如何ニ恐ルベキモノデアアルカ、其反動ノ如何ニ恐ルベキモノデアアルカト云フコトニ付テハ、高橋大藏大臣ハ最モ苦キ經驗ヲ自ラ有テ居ラレル筈デアリマス(拍手)

最近亞米利加ノ「インフレ」政策ニ對シテ元伊太利ノ大藏大臣デアッタ「フランシスコ・ミツチー」ト云フ人ガアル、是ガ歐洲大戰當時、並ニ戰後ニ於テ、アノ伊太利ガ動モスレバ共產革命トナラントシタ、ソレガ急轉直下シテ「ファシヨ」革命トナタ、其當時ノ大藏大臣デアアル、即チ「インフレ」政策トシテ最モ大ナル體驗ヲ有タレテ居ッタ「ミツチー」ガ、亞米利加ノ所謂「インフレ」政策ニ警告ヲ與ヘタ、「インフレ」政策ノ如何ニ恐ルベキモノデアアルカト云フコトハ今更言フ迄モナイ、而シテ其最モ大ナル弊害ハ、中産階級ノ全滅デアルト云フコトヲ言、テ居ルノデアリマス(拍手)私ハ斯ノ如ク、政府ガ總テ「インフレ」政策ハ止マルノデアアル、其時分ニハ景氣ガ好クナルカラ、收入モ増スノデアアル、我國財政ノ將來ハ、決シテ心配スルニ當ラナイト云フ總理大臣ノ此昭和八年度ノ財政ニ對スル御説明及大藏大臣ノ御説明、此自家撞著矛盾ノ甚シキ説明ヲ以テ、財政不安ヲ一掃セント欲スル内閣ノ其態度ニ、多大ノ疑問ヲ有ツ者デアリマス、私ハ昨年ノ三月十五日亞米利加ノ議會ニ於テ所謂赤字財政ヲ整理センガ爲ニ増稅案ヲ審議中、「フーヴァー」大統領ガ議會ニ演說ヲ致シマシタ、其演說ノ一端ヲ此處ニ引證スルコトヲ許シテ戴キタイ「フーヴァー」大統領ハ「豫算ノ均衡」ハ景氣恢復ノ要諦デアアル、故ニ是非トモ收支ヲ合セ、赤字ヲ抹殺セナケレバナラヌ、若

シ是ガ出來ナケレバ、財界回復ノ爲ニ執ツタ幾多ノ手段ハ其效果ヲ奏セナイデアラウ、何トナレバ人心ノ不安ヲ一掃スルコトハ出來ナイカラデアアル、而シテ收支ヲ合セル唯一ノ方法ハ増稅ヨリ外ニ途ハナイト云、テ居ル、若シ財政不安ヲ一掃シヨウトスルナラバ、「フーヴァー」大統領ノ此演說ハ、吾々ノ最モ有益ナル參考トシナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、獨リ米國ノミデハアリマセヌ、英國ニ於キマシテモ、或ハ獨逸、佛蘭西等ニ於キマシテモ、景氣ノ回復ヲ要求スル前提ト致シマシテ、先以テ政治家ガ渾身ノ努力ヲ拂、テ居ルコトニ付テハ、高橋大藏大臣ノ最モ能ク熟知セラレル所デアリマス(拍手)成程我國ノ國情ハ、亞米利加ヤ其他ノ諸國トハ同一デハアリマセヌ、同一デハアリマセヌガ、此人心ノ安定ナクシテ景氣ノ回復ヲ望ムコトハ、絶對ニ不可能デアリマス、而シテ人心安定ノ根柢ハ財政ノ基礎ガ鞏固デアルト云フコトデナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス(拍手)

然ルニ政府ハ空前ノ大豫算ヲ提案セラレ、國ノ收入ガ減ズル、已ムヲ得ズ公債ヲ以テ之ヲ賄フ、而モ公債ノ利息ニマデ公債ヲ濫發シテ、其公債ハ不換紙幣デアルト云フニ至テハ、財政不安ノ念ヲ國民ガ懷クノハ、是ハ當然ノ結果デアルト謂ハナケレバナリマセヌ、斯ノ如ク政府ノ御説明ハ自家撞著デアリ、益、財政不安ヲ濃厚ニシ、人心不安ヲ助長シツ、アルハ、已レヲ欺クモノデアアル、政府ハ翻然トシテ其態度ヲ改メテ、而シテ此財政不安ヲ一掃セントスル覺悟アリヤ否ヤト云フ點ニ付テ御尋ヲ致シタイノデ

マス、若シ不景氣ノ原因ガ生産ノ過剰デアリ、消費ノ減退デアルトスルナラバ、何故ニ斯ノ如キ消費ノ減退ヲ生ジタカ、斯ノ如ク生産ノ過剰ノ状態ニナリテ參々タカト云フコトニ付テ、一步進メテ御考ヲ願ハナケレバナライノデアリマス(拍手)

申上グルマデモナク近代ノ産業發達ノ狀況ハ、消費ノ最大ノ根源ヲ爲ス勞働者ニ對スル所ノ分配ガ、科學ノ進歩、機械力ノ應用ノ益、發達スルニ從テ、其分配ハ減殺サレツ、アルト云フ此事實ハ、想フニ高橋サント雖モ御認メニナラナケレバナライノデアリマス(拍手)私ハ「マルクス」ヲ信ズル者デハアリマセヌ、信ズル者デハナイケレドモ、彼ガ指摘シタル所謂資本主義機構内部ニ於ケル所ノ此分配ノ矛盾ト云フ、此真理ニ對シテハ、之ヲ認識セザルヲ得ナイト思フノデアリマス(拍手)即チ段々ト文明ガ進ミ、科學ガ進歩スル、其進歩ノ度毎ニ、消費ノ根源ヲ爲ス勞働者ニ對スル所ノ分配ハ減殺サレ、資本所得ハ年々日々ニ増加シツ、アルト云フ、此事實ヲ認メナケレバナライノデアリマス、勞働者ニ拂ハレタ所ノ賃銀ハ、主トシテ消費市場ニ散布セラレテ、所謂消費ノ減退ヲ緩和スルニ反シ、資本所得ハ主トシテ或ハ生産設備ニ振向ケラル、ニアラズンバ、今日ノヤウナ不景氣ノ場合ニハ、是ハ貯蓄トシテ蓄積サレモノデアリマシテ、何等消費ノ市場ニ現レルモノデハアリマセヌ(拍手)即チ若シ今日ノ不景氣ノ原因ガ斯ノ如ク現在ノ資本主義機構、生産機構、而シテ消費ノ減退ト云フコトガ其主ナル原因デアリマスルナラバ、此資本主義財閥ノ手ニ蓄積サレタル所ノ所謂資本ヲ、政府ノ手ヲ以テ之ヲ國庫ニ徵收シ、

政府ノ手ヨリ再ビ之ヲ消費市場ニ散布スルト云フコトガ、此不景氣ヲ打開シ、此行詰リヲ打開スル最モ重要ナル政策デアルト言ハナケレバナライノデアリマス(拍手)私ハ斯カル見地ヨリ高橋大藏大臣ガ此不況ノドン底ニ於テ増税スルト云フ如キコトハ、總テ芽生エントスル所ノ景氣ノ好轉ヲ排除スルガ如キモノデアッテ、其時期デナイト云フ此御説ニ對シ、遺憾ナガラ其所見ヲ全然異ニスル者デアリマシテ、私ハ寧ロ此不景氣ヲ打開センガ爲ニ、斯ル際ニハ増税ヲ斷行シテ、以テ消費ヲ旺盛ニスルト云フコトガ、當然ノ政策デナケレバナラスト確信ヲ致ス者デアリマス(拍手)私ハ私ノ最モ尊敬スル、而シテ此國難打開ノ爲ニ赤誠ヲ披瀝シテ其衝ニ當ラレテ居ル所ノ高橋先生ニ對シ、若シ私ノ今御尋致シマスル此觀察ガ誤ラデ居ルナラバ、誤ラデ居ルト云フ所ヲ指摘シテ、懇切丁寧ナル御答辯ヲ與ヘラレンコトヲ切ニ御願シテ置クノデアリマス(拍手)私ハ斯ル根據カラ出發致シマシテ、寧ロ今日ノ如キ場合ニ於キマシテハ増税ヲ斷行スルト云フコトガ、此不景氣ヲ打開スル最モ重要ナル政策デアルト信ズル者デアリマスルガ、更ニ進ンデ増税ヲ斷行セント欲シマシテモ、若シ國民ニ増税ノ能力ナシト致シマスレバ、是ハ假令理論ノ上カラソレガ當然ノ處置デアリマシテモ、事實其實行ハ不可能トナルカ、頗ル困難トナルノデアリマス、是ニ於テ政府ニ御尋ヲシテ見タイ、成程今日ノ如キ不景氣ノドン底ニ於テ増税ト云フコトハ、餘程ノ決心ト、勇氣ト、強キ信念アルユアラズンバ、之ヲ實行スルコトハムヅカシイノデアリマスルガ、今日ノ我が日本國民ハ其擔稅能力、即チ政府ノ此理論的

政策ニ堪ユルモノデアアルヤ否ヤト云フコトニ付テ、吾々ハ更ニ一段ノ考慮ヲ進メナケレバナライノデアリマス、私ハ如何ニ不況デアルトハ申セ、政府ノ所得稅收入ハ御承知ノ通り段々減テハ參リマシタケレドモ、尙ホ一億數千萬圓ノ所得收入ヲ取テ居ル、此所得ノ元本ハドレダケカト云フコトヲ計算シテ參リマスルコト云フト、少クモ我が國民ニハ今日尙ホ十數億ノ所謂所得收入ガアルト云フコトハ明瞭デアルト考ヘルノデアリマス、久米博士ノ計算デアッタ思ヒマスルガ、國民ノ貯蓄ハ毎年十五億以上デアアル、如何ナル不況ノ際ニ於テモ十五億ヲ下ラナイモノデアルト云フ計算ガ發表セラレテ居リマス、シテ見レバ此不景氣ノドン底ニ於テモ、國民ノ一部ノ方面ニハ、相當擔稅ノ餘力ガアルモノデアルト見ルコトハ、決シテ不當デナイト信ズル者デアリマス、(拍手)英吉利ノ或ル學者ノ計算ニ依リマスルト云フト、世界列國ノ國民ノ中央費並ニ地方費ノ有ユル負擔、全世界ノ有ユル國民ノ有ユル租稅トシテノ負擔ト、其國民ノ所得トヲ比較シタ其計算ヲ見マスルコト云フト、獨逸ガ一番重イノデアリマス、獨逸國民ハ獨逸國民ノ國民所得ノ二割六分ヲ中央並ニ地方稅トシテ負擔ヲ致シテ居リマス、其次ガ伊太利デアリマシテ、國民總所得ノ二割四分、其次ガ佛蘭西デアリマシテ二割、英國ガ一割九分デアリマシテ其次ニ位シ、日本ハ更ニ下ッテ一割二分ニナリテ居ルノデアリマス、固ヨリ斯ル計算ハ頗ル困難デアリマシテ、悉ク之ヲ信憑スベキ數字デアルト云フコトヲ信ズル者デハアリマセヌガ、大體ノ世界主要國ニ於ケル所ノ國民所得ト其負擔トノ比例ハ斯ノ如ク、我國ハ之ヲ獨逸ヤ伊太利

等ニ比較致シマスレバ、マダ餘裕綽々タルモノアリト斷言ヲ致シテモ決シテ不可デハナイト考ヘルノデアリマス
斯ノ如ク我國國民ニハ尙ホ擔稅ノ餘力綽々タルモノアリト考ヘテレノミナラズ、今日ノ所謂難局ハドウシテ起タノデアアルカ、申上グル迄モナク、滿洲國ノ承認、又之ニ伴フ國際關係ノ窮迫、隨テ過日ドナタデアリマシタカ、此壇上デ指摘サレタ如ク、軍國豫算ト言ハレルガ如キ状態ニナリテ參々デアリマス、吾々ハ全國國民ノ輿論ニ依リテ滿洲國承認ヲ致シ、之ニ伴フ國際政局ノ進展ガ此豫算ノ大膨脹ヲ來シタモノデアルトスルナラバ、而シテ國民ノ擔稅能力ガ只今御話致シタ如ク、尙ホ其處ニ餘裕アリト致シマシタナラバ、若シ政府ガ其方針ヲ以テ、其決心ヲ以テ國民ニ臨ンダナラバ、日本全國國民ハ喜ンデ其負擔ニ甘ズルモノデアルト斷言ヲ致スコトヲ憚ラナイノデアリマス(拍手)政府ハ直チニ其態度ヲ改メテ、此方針ヲ執ラレト云フ御考アリヤ否ヤ、此點ヲ御尋シテ置キタイノデアリマス(拍手)
過日來同僚諸君ノ御質問ニ依リマシテ、私ガ御尋致シタイト思フ點ハ、大分盡サレテ居ルノデアリマスルカラ、私ハ成ベク其重複ヲ避ケテ、而シテ成ベク簡明ニ御尋ヲ致シタイト存ジマスルノデ、尙ホ一點ガ爲替問題ニ關シテ政府ノ所信ヲ伺テ置キタイノデアリマス、吾々ノ承知スル所ニ依レバ、政府ハ今期議會ニ爲替管理ニ關スル法案ヲ御提出ニナルト云フコトデアリマス、爲替管理ガ果シテドレダケノ效果ヲ齎スデアラウカト云フコトニ付テハ、多大ノ疑問ヲ抱クノデアリマスルガ、今日之ヲ御尋スル

設定ヲ求メタ時ニ亞米利加ノ金融業者ハ英國政府ニ對シ、若シ英國ノ財政ノ基礎ヲ非常ナ危險ニ置イテ居ル、アノ失業者當ニ對シテ、相當ノ決意ヲ爲スニアラズンバ、幾ラ「クレヂット」ヲ設定シテモ、英國ノ磅ノ安定ハ不可能デアラウ、斯ウ云フ警告ヲ亞米利加ノ財團カラ「マクドナルド」内閣ハ受取ツノデアリマス、此警告ガ原因デアッタカ否カハ私ノ知ル所デハアリマセヌ、サリナガラ御承知ノ通リ英國政府ハ、當時ノ勞働黨内閣ハ、アノ

私ハ今日ノ我國ニ色々ノ重大ナル問題ハアリマスルケレドモ、爲替相場ノ安定ト云フコトヨリ外ニ、ヨリ大ナルモノハ多クハナイト考ヘルノデアリマス（拍手）對米二十弗ニ暴落シタト云フコトハ、是ハ非常ナ事デアリマス、高橋サンガ金ノ再禁止ヲヤラレタ時ニ、ヨモヤ二十弗ニ落チルト云フコトハ、全ク政府ノ夢ニモ御考ヘニナラナカッタコトデアルト云フコトヲ確信致シマス、若シ不幸ニシテ是レ以上暴落スルト云フ如キ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ
ナイカト呼フ者アリ
○小山谷藏君(續) 私ハ最後ニ此豫算ハ實行ノ出來ルモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス(拍手)以上御話致シマシタ如ク、所謂財政不安、爲替不安、人心不安、政府ハ今日株式市場ハ沸騰シタデハナイカ、物價ハ騰貴シタデハナイカ、好景氣恢復ノ曙光ヲ見テ居ルデハナイカト仰

セラレルノデアリマスガ、成程其通りデアリマス、併シ此所謂「インフレーション」政策ノ結果、景氣ノ恢復ト云フコトハ總テ本格的ノ物價騰貴ト云フモノガ伴フモノデアルト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、私ハ今回提案サレタル所ノ諸般ノ政策ノ中、例ヘバ内務大臣ノ御所管ニナテ居ル、所謂時局救済算ノ如キモノガ、果シテ豫算通り實行サレル確信ガアルヤ否ヤト云フコトニ多大ナル疑ヲ有ツノデアリマス（拍手）

又陸海軍兩當局ニモ御尋ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、斯ル不安ナル所ノ財政計畫、ソレニ伴フ物價ノ暴騰、爲替ノ暴落ト云フコトヲ、財政計畫ソレ自身ガ産シタル此物價騰貴ヲ前ニシテ、陸海軍當局ノ最モ重大ナル關係ヲ有ツ、特ニ所謂海軍並ニ陸軍ノ兵備ノ充實ト云フ如キモノハ、私ガ申上ゲル迄モナク此爲替暴落、財政計畫ト一番直接ニ響ク所ノ物資原料トシテ、其兵備ノ充實改善ヲヤラナケレバナライノデアリマスルガ、例ヘバ鐵デアルトカ、鋼デアルト云フヤウナ如キ物ハ、今日既ニ五割乃至十割ノ暴騰シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、斯ノ如キ政策ヲ以テ果シテ所期ノ目的ヲ達成シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、吾々國民ハ多大ノ疑惑ヲ有ツノデアリマス、私ハ此點ニ關聯致シマシテ更ニ御尋ヲ進メタイト思フノデアリマスルガ、今日ハ此程度ニ止メマシテ、以上御尋致シマシタ數點ニ關シテ政府ノ懇切ナル御答辯ヲ御願致シマシテ降壇致シマス（拍手）

○國務大臣（高橋是清君） 小山サンニ御答

致シマス、頻ニ初メカラシテ「インフレ」政策ト云フコトヲ言ハレル、ソシテ攻撃ヲ爲サルヤウデアリマスガ、私ハ「インフレ」政策ト云フコトヲ致シテ居ラヌノデアリマス、ソレ故ニアナタノ御議論ハ當ラナイ、ソレ故ニ小山君ノ御説デ云フト、政府ハ一方ニ「インフレ」政策ヲ施シテ無暗ニ物價ヲ騰貴サセル、サウ云フ考デ通貨ノ膨脹ヲ圖リテ居ルヤウニ仰セデスガ、決シテソナナ譯デハナイ、故ニアナタノ仰シヤルヤウニ政府ハ自ラヲ欺キ、人ヲ欺クト云フヤウナコトハ毛頭ナイノデアリマス、此御議論ニ對シテハ或ハ意見ノ相違ニナルカモ知レヌガ、御答ヲスル必要ハナイ、分リ切リテ居ル、決シテ政府ハ「インフレ」政策ヲヤツテ居ルノデハナイ、ソレヲヤツテ居ルト云フテ御議論ナサルノハ無理デアル

ソレカラ次ニ増税ノコト、是モ再三私ガ述ベテ居ルノデアルカラ、更ニソレヲ繰返ス必要ハナイ、併シ念ノ爲ニ唯數字ノ上カラ幾ラデモ増税ヲスレバ金ガ取レルヤウニ御考ヘニナツテ居ル、中々實際ハサウデナイ、例ヘバ茲ニ第三種ノ所得税ノミニ付テ數字ノ上カラ調ベテ見マシテモ、此總數ハ第三種ノ所得税ヲ納メル戸數ガ五十二萬八千餘アル、其中五千圓以下ノ所得者ノ所得税ヲ納メル者ガ戸數ニシテド位アルカト云フト、五十二萬八千ノ中、四十七萬戸ト云フモノガ斯ウ云フ少額ノ所得者デアアル、ソレデ一箇年ニ五千圓以上ノ所得ノアルモノハ全國ニ於テ五萬七千五百十九戸、ソレ故ニ今日ノ第三種所得税ノ總額ガ七千三百七十五萬九千八百十六圓、其中カラ五千圓以下ノ人達ノ税額ヲ引クト云フト、千七百萬圓餘デス、戸數ハ四十七萬戸、其税額ガ千七

百八十一萬千六百五十三圓、之ヲ差引クト云フト五千圓以上ノ所得者ガ今日納メテ居ル税額ハ五千五百九十四萬八千六百六十三圓ト云フコトニナル、如何ナル増税ノ場合デモ、何處ニ於テモ十割ノ倍額ノ増税ナドト云フコトハナイ、假ニ倍ニシテ見タ所デ一億一千万圓、ソレ程ノ無理ナコトハ出來ナイ、今日ノ場合ハ私ハ決シテ増税ヲシナイト云フノデハナイ、時機ガ來レバスルノデアル、併ナガラ今日ハ未ダ其時機デナイ、今日増税セントスルノハ所謂木枯ノ冷酷ノ風ニ襲ハレルヤウナ感じヲ國民ニ持タセル、今日ハ木枯ノ冷酷ノ風ニ當テルヨリハ、太陽ノ溫暖ナル輝キニ浴サセルト云フノガ今日ノ政治ノ必要ナ所デアアル、ソレ故ニ増税ハ今日其時機ニアラズト云フコトヲ申スノデアアル、ソレカラ後ハ大抵一昨年カラ昨年アタリニ掛、ケテ歐米ノ學者等ガ色々新聞ヤ雜誌ニ述ベタ説ヲ又新シク聞クヤウナ感じガシマシタ、不景氣ノ原因ハ生産過剩ナリ、消費力ノ減少ナリト云フコトハ、今日ハソナナコトヲ言フ人ハナイ、一昨年カラ昨年ノ中頃マデハ中々其論ガ強カッタ、併ナガラ其後ノ實情ハドウデアアルカ、生産過剩ノ弊ハモウナクナツテ居ル、生産ヲシタクテモ出來ナクナツテ居ル、マルデ世ノ中ガ變テ來テ居リマス、ソコデ我國ニ於テハ世界ノ何處ノ國デモ見ルコトノ出來ナイヤウニ生産ガ殖エテ居ル、殖エテ居テ同時ニ世ノ中ガ明ルクナツテ來テ居ル、是ガ世界ニ餘リ例シナイ狀況デアアル

ソレカラ今度ハ外國ノ例ヲ頻リニ舉ゲラレタ、兎ニ角此不景氣、不安ノ原因ハ小山サンノ御説デハ財政ノ收支ノ權衡ヲ得ナイ、公債ガ無暗ニ出ルカラダト云フコトニナル、是

モ外國ノ例ヲ頻リニ言ハレタ（或ハ倫敦ノ「マクドナルド」ノコトヤ何カニ中々御詳シイガ、我國ハサウ云フ狀況ヲ備ヘテ居ラヌノデアアル、前ニモ申シタコトガアルヤウニ覺エルガ、歐羅巴ノ諸國、英國或ハ獨逸、佛蘭西ニシテモ亞米利加ニシテモ、外國ニ對スル經濟上ノ信用ヲ失フト云フコトガ一番氣掛リナノデアアル、ソレハ何故カト云フト、信用ノ厚イ處ニハ必ズ餘所ノ國カラ長期ニシテモ短期ニシテモ金ガ這入ッテ居ル、ソレガ信用ヲ失フテ一朝外國カラ這入ッテ居ル金ガ外ニ出テ行クト、内ノ財界ヲ攪亂スル、不景氣ニ導ク、サウ云フコトノナイヤウニスルノニハ、外國ニ對シテ其國ノ財政經濟上カラシテ、通貨ガ價ヲ落スト云フヤウナコトガナイヤウニ、力一杯努メナケレバナラヌ狀況デアアル、ソレ故ニ何ハ措キテモ毎年ノ豫算ニ於テ赤字公債ノ出ナイヤウニ、出ナイヤウニト努メルガ、如何ニ努メテモ事實ニハ勝テナイ、御覽ナサイ、彼等ノ豫算ノ中ニハ取レルカ取レナイカ分ラヌ所ノ戰債ナドモ這入ルモノトシテ豫算ヲ立テ、居ル、サア今度ハ債務國ガ拂ハヌトナルト、俄ニ赤字ガ出ルノデ騒イデ居ル、増税ヲヤル、或ハ行政財政ノ整理ヲヤル、俸給ヲ減ラスト云フヤウナ様々ナ苦痛ヲ今日當メテ居ル、左様ナコトハ我國ニハナイ、ソレハ我國ノ國情ガ他國ト異ナテ居ルト云フコトガ、外國人ノ間ニマダ能ク知ラレテ居ラヌ、外國人ノ間ニ知ラレテ居ラヌバカリデヤナイ、日本人ノ間ニサヘ知ラレテ居ラヌノガカラ驚ク、爲替相場ガ頻リニ氣ニ掛ルト言ハレルガ、私ハ初メカラ爲替相場ガ幾ラニナルトカ、是ヨリ下ッテハナラヌト云フコトハ、金再禁止ヲシタ時分ニハソ

シナ考ハ少シモ持ッテ居ラナカッタ、今日爲

替相場ハ所謂放任主義ヲ執ッテ居ル、成ベク

貿易商人ヤ、何カニ不便ノ掛ラヌヤウニ心

掛ケテ居ル、併ナガラ世ノ中ニハドウモ國

家ノ利益ナドハソツチ除ケデ、自己ノ利益

バカリ圖ッテ居ル我利々々亡者ノ多イコト

夥シイ(笑聲)是等ガ國ノ害ニナルコトモ願

ミズシテ、唯己レノ一時ノ利益ヲ圖ラント

スルヤウナ行動ガ澤山アルカシテ、之

ヲ取締ル爲ニ、先以テ此資本逃避防止法ト

云フモノヲ設ケタノデアル、今日デハ餘

程サウ云フコトハナクナッテ來マシタ、併

シ世界各國ノ有様ハドウカ、イツ何時

ドウ云フコトヲ爲替貿易ニ於テ我國ニ對シ

テ施ス國ガナイトモ限ラナイ、此場合ニ於

テ之ニ報復スルノ力ガ我國ガ有ッテ居ラニ

ヤナラヌ、ソレニハ今ノ資本逃避防止法デ

ハ足りナイデアリマセウ、故ニ今度出サウ

ト云フノハ、サウ云フ場合ニ於テ適當ニ政府

ガ直チニ處置ノ出來ルヤウナ權能ヲ議會カ

ラ承認ヲ得テ置キタイト云フ趣意ニ過ギナ

イ、實際ノ實行上ニ於テハ殆ンド今日ト變

ルモノハ餘リナイノデス、ケレドモ今後ド

ウナルカ、御承知ノ通り國際間ノ經濟會議

ナドト云フモノガ起リ、色々目論見モアル

ガ、見透シガ付カナイ、果シテ彼等ノ努力

ニ依ッテ世界ノ互ノ貿易關係ナドガ改善シ

テ來ルモノデアルカ、或ハ關稅ノ障礙ガ段

段取レルヤウニナッテ行クノカ、或ハ國際

間ノ共通ノ通貨ガ定マルモノデアルカナ

カ、サウ云フ根本ノ問題ガ少シモ見透シガ

付カナイ今日デアリマスカラシテ、總テサ

ウ云フ如何ナル變化ガアッテモ、之ニ應ズ

ルダケノ備ヘハ我國デハシテ置カナケレバ

ナラナイ、其爲メノ爲替管理法案デアリマ

ス(モウ宜シ)ト呼フ者アリ)

モウ宜イト仰シタルナラ是程嬉シイコト

ハナイケレドモ、御尋ニナッテ御方ニ對シ

テ相濟マスカラ、モウ少シ辛抱シテ聽イテ

下サイ、ソレデ外人ノ見ル所ハマダ十分デ

アリマセヌガ、段々分ッテ來ルヤウナコト

ハ、是ガ事實ニ於テ少シ認メ得ルト思フノ

ハ、今日國際聯盟ノ關係ト云ヒ、歐米ノ間

ニ於テハマダ日本ノ正シイ人道ニ適ッテ所

ノ國策ヲ十分ニ理會スルコトガ出來ナイデ

色々又反對國ノ宣傳ヤ何カニ矢張乘ッテ居

テ、サウシテ疑ヲ以テ我國ヲ見テ居ル、從

來ナラバ今日ノヤウナ外交上ノ國際聯盟ナ

ドノ關係ニ於テハ、直チニ爲替相場ガ先ヅ

下ラナケレバナラヌ、先達ノ山海關アノ事

件ニモ、矢張アノ時ノ下落ハ、全クアレガ

因ニナッタト云フコトハ後ノ歐米ノ新聞ヲ

見デモ明デアル然ルニ今日ハアレガ響カヌ、

却テ昨日アタリハ爲替相場ガ慥カ二十一弗

位ニナッタト云フ話デアル、上ル方ノ強味

ガアル、其強味ハ何處カラ來テ居ルカト云

フト、紐育ノ方カラ來テ居ル、是ガ漸ク段

段分リ掛ケタノデセウ、日本ノ爲替相場ガ

下ッテ見タ所デ、己等ノ損スル所ハモウナ

イ、彼等ハ日本ニ資本ヲ投ジテ居ルノデハ

アリマセヌ、是ハ金解禁ノ時ニ日本ノ人ガ

矢張己ノ日本ノ金ヲ以テ弗買シタヤウニ、

彼等ハ自分ガ日本ニ持ッテ來タ金ハ將來圖

ノ維持ガ出來ルヤ否ヤ疑ヲ起シタカラ、サ

サト持ッテ歸ッテシマッタ、今デヤ彼等ハ持ッ

出ル者ハナイ、日々ノ輸出爲替ヲ購入スル

ケレドモ、外國銀行ハ甚ダ不自由ヲ感ジテ

居ル、却テ今日ハ圓買ヲ始メテ居ル、圓ヲ

買フ、是ガ今日ハ影響シテ居ル、是等ガ爲

替相場ノ今日強イ原因ニナッテ居ル、サウ

シテ見ルト成程日本ト云フ國ハ外ノ歐羅巴

ヤ亞米利加、英吉利トハ違フ、外國ノ資本

ガ其國ニ移サレテ居ッテ、其資本ノ出入ニ

依ッテ日本ノ財界ガ衰退シタリ、盛ニナッ

リスル、動カサレルモノデアルト云フ

其懸念ガ餘リナイ國ダト云フコトガ分リ出

シタデアラウト思フ、ソレ故ニ、今日ハ

爲替問題ノ背後ニアル政策、即チ此財政ノ

收支ノ權衡ヲ得ルコトニ、大決心ヲ有ッテ増

稅スルヤ否ヤト云フ御質問ニ對シテハ、斷

ジテ今日ソナ考ハナシ、又ソレヲスル必

要ハナイト御答シテ置キマス

ソレカラ最後ニ此豫算ノ實行ガ出來ナ

イ、何故出來ナイカ、是カラ「インフレ

ション」政策デ物ガ高クナッテ來ル、サウス

ルト豫算ニ積ッテ居タ金ダケデヤ實行ガ出

來ナクナル、今日ニ始ッタ事デハナイ、是

迄モ物價が大ニ高クナッタリ、大ニ下落シタ

リスルコトハ、屢、經驗シテ居ル、米ダッテ

サウデハアリマセヌカ、一石六十圓ニナッ

テ騒イダ時モアリ、或ハ二十圓ヲ潛ッタト云

テ騒イダ時モアル、此物價ノ騰落ト云フモ

ノハ常ニアルノデアル、併ナガラ何時デモ

ソレガ爲ニ豫算ノ實行ガ出來ナクナッタト

云フコトハナイノデス、是ハ餘計ナ御心配

デアル、是ダケ御答シテ置キマス(拍手)

○小山谷議員 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ拜

聽シマシテ、幾多ノ疑問ガ益、濃厚ニナッ

ノデゴザイマスガ、是等ハ何レ改メテ豫算

委員會ニ於テ御高教ヲ仰グコト、致シマシ

テ、今日ニ於ケル質問ハ是デ打切ト致シマ

ス

○上田孝吉君 國務大臣ノ演說ニ對スル質

疑ハ、此程度ニ於テ終局スルコト、シ、本

日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ終

局致シマシタ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御

通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時五十八分散會

官報號外

昭和八年一月二十六日

衆議院議事速記第六號

一〇二